臺灣日日新報 夕刊
三月三十日
夕刊定價一部貳錢
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

民意の達成に努めよ

總督、統治の方針を示す

◇顧みて以ふに帝國の理想は、明治大帝の夙に世界の不和に惱々たらせられ友邦の交誼に便々としたまひし以來、今に一貫して渝はる所なし、然も不幸にして隣邦との間に一時の齟齬を生じたりと雖帝國の公明なる態度は今や漸く國際の誤解を除き各般の誤謬を排して國運進暢の前途を瞭如たらしめ東洋の平和に貢任する帝國の使命は爲に愈々其重きを加へり

◇台灣は此の際を以て不肖大命を拜し[illegible]國防に承く、職責の極めて大なるものあるを念ふこと切なり、今來て此の地に[illegible]治道に盡くし力を政務に致し諸子と共に精研[illegible]念々要務の備を致し以て理想の萬一に酬い奉らんことを期す

◇顧念ふに本島は帝國南門の要樞に當り之が施設經營は深く思を[illegible]べき所なり唯夫れ大本は必らず之を明徵ならしむるを要す本立て道通ず故に群黎衆民の必らず知悉すべきは先に本島領有の精神に在り一視同仁皇澤を布き遍く內地に於けると軒輊なからしむるもの即ち是れなり[illegible]島民の福祉を增進して我君上至仁至慈の盛意を透徹せしめ剛健なる國民精神を涵養して內外人齊しく融和し[illegible]同じく康寧を享けしむるは正に本島治務の要諦たり、然れども此の事たるや[illegible]至難に屬し歷代の總督能く此の精神に[illegible]其の實效を收むるに[illegible]たりと雖も尚未だ充分の成果を得るに至らざるを遺憾とす、蓋し風土人情錯綜し言語習俗文化[illegible]にして指導誘掖の至難なるに由るものあらむ、然れども本島領有の精神にして苟も[illegible]かれ司諸僚は固く之を信じて何等疑惧する所なく、又事の難きを思ふことなきを得べし是を以て力行勵精一意趣旨を奉體し各自[illegible]たる意氣を以て剛健なる精神を練り進て民衆の思想を[illegible]醇厚中正の風を涵養し以て統制治化の根軸[illegible]り期して俟つべきなり

◇顧みれば本島改隸以來僅に三十有七年其の間官民能く協心戮力以て其の開發に努め近時行政司法の施措共に大に備はり教育[illegible]に行はれ產業著しく興りて交通衛生亦發達の觀るべきものありと雖今後世に諸般の制度を[illegible]して運用の妙を盡さしめ自治の機能を擴充して民意の暢達を圖り資源を開發して本島の富力を積み近隣の誼を敦ふして貿易を伸張し教育を振興して民衆の[illegible]更に本島地理上の位置に稽へ國際交通の要衝たる必然の使命を完うするが如き今後の努力に俟つべきもの寔に多からむとす、諸子宜しく時勢の趨勢に鑑み事理を闡明して能く人情風俗に順應し[illegible]常に本島の實際に適切なるを期すべきなり

◇抑々事の成ると否とは人に在り殊に職を公に奉ずるものは常に其の本分を恪守し[illegible]能く品位を保ち[illegible]人に接し[illegible]に處し、常に公私を甄ちて情實に泥まず[illegible]言論を愼み[illegible]秩序を正しくし禮儀を尚み和衷協力を[illegible]以て[illegible]の意氣あるべし

◇希くは諸子能く相促して大に[illegible]を振起し相戒めて恪勤勵精益々邦家の進運に貢獻するあらむことを

兩神社に參拜して 總督が初登廳

會議室で高等官以上に訓示

二十九日着任した南總督は三十日午前九時官邸を出て新任廳の日程についた、この日天候は[illegible]絕好の日和であつた、隨行は池田秘書官、小川秘書、鈴村通譯で先づ九時十分臺灣神社に到り、先着の安武文教局長、石黑社會課長等の出迎を受け山口宮司の先導で拜殿に到り神前に進み、恭しく本島鎭護を祈願して山口宮司より神社のことにつき色々の說明をきき後一旦社務所に入り少時休憩の間芳名帖に署名して同三十三分發、同四十五分建功神社へ到着、[illegible]の案內に依り本島開拓の

功勞者

に敬意を捧げここでも休憩所で署名をなして十時總督府へ到り平塚長官、官房各課長の出迎を受けて初登廳をなした、南總督は先づ公室にどつかり腰を下ろして長官、各局長、官房各課長と會見の後十時十分會議室に參集せる府內高等官、各地方長官、在北の各官衙長に對して別項の如き

訓示

を爲して南統治の第一聲をあげたのに對して平塚長官は一同を代表して

閣下を本島にお迎へしたことは島民一同の感激致してゐる所であります。只今は御懇篤なる御訓示を頂きまして我々一同感激に堪へません。今後御訓論に從ひまして懇命の努力を致し度く念じてゐる次第であります。閣下の御指導と御援掖を偏にお願ひする次第であります

と謝辭を述べ十時半終了した

外國領事團が 總督に祝賀の挨拶

能澤秘書課長が午後 總督代理として答禮

南總督が二十九日着任したので在臺外國領事團林民國總領事、ケプチヤム英國領事、ジレーダス米國領事、ファンデルスター和蘭名譽領事、松尾米國領事館通譯官の諸氏は一同打連れて三十日午前十一時總督府公室に新總督を訪問し挨拶をなしたが能澤、池田兩秘書官、鈴村通譯同席、先づ林總領事は一同を代表して

閣下先に臺灣總督の大命を承けられ今般御赴任の所本官は臺灣駐在外國領事館を代表し茲に閣下に親しく就任の祝賀と歡迎の意を披瀝し得ますことは本官の欣幸に存する所であります。閣下の御在任期が偉大なる功績を以て終始せられ、その結果日本臺灣並に閣下御自身の上に幸福の數々を齎さんことを確信するものであります。本官はこの機會に於て臺灣に於ける外國人と[illegible]との間に從來常に存在した至極めて友誼的關係を更に一層[illegible]ならしめんが爲めの一切の案件に對し吾々一同が協調するものなることを茲に確言致します

と歡迎の辭を述べ鈴村通譯之を通譯し次で南總督は同じく鈴村氏の通譯に依り

今般臺灣總督の大命を拜しまして昨日着任致しましたが早速駐臺外國領事各位の御來訪を受けましたことは本官の頗る欣幸とする所であります、本島文化產業の進展につれまして諸外國との通商貿易關係は逐年緊密の度を加ふるに至りましたことは同慶の至りに堪へません小官は幸に貴領事各位の御援助御協調に依りまして各位の御希望に副はんことを期待致します、重ねて御來訪を感謝致します

と謝辭を述べて同二十分會見を終つたが、同日午後一時能澤秘書課長は總督代理として鈴村通譯を同行各領事館を歷訪同日の來訪に對して答禮した

森書記官長 留任に決定

【東京三十日發電通】森書記官長の辭任問題は犬養首相、鈴木內相鳩山文相より極力慰留に努め室內有志代議士も亦留任を希望し殊に犬養首相その他各方面もこの際辭任する事の不可なるを說き留任を求めた結果、森官長は[illegible]の情况を考慮して留任するに決したがこの留任は外交問題に關する森官長の意見が犬養首相に容れられた事も關係してゐるのである

その日その日

○[illegible]大英國民が絕叫した樣に日本も「光榮ある孤立」に進んで甘んずるか――

○とは云へ孤立を好むものではない、然し支那流の國際聯盟協調主義が是認さるゝ場合、致し方はない

○聯盟を脫退してもアジアに還れ――の日本國民の聲に少くとも米國だけは[illegible]云へぬ筈

○今迄の支那の遣り方が國際的に認められるなら、日本はもう何も言はぬ、後は自主獨往のみ

○聯盟會議では英米佛等も支那の[illegible]振りを見て臨機するだらう、好いチャンスだ

○無駄と解り駄目と知りつゝやつて見ないと氣が濟まぬのはお隣の方々、代表もその代表的人物

○金をやつて[illegible]をおだて滿洲の平地に少しばかり波瀾を起させるソレが大局上一體何になるのだ

○政友會も內訌や[illegible]だけでは國民の信を失ふ事に漸く目がさめた、遲いけれど悟らぬよりは好い

○政策本位で邁往せよ、ソレが國民の信賴に酬ゆる公黨の態度だ

○本當だ、臺灣で砂糖の生產過剩に苦しんでゐるのに北海道の甜菜糖業に補助するなんて自殺行爲だ

○こんなホコトンは未だ內地にも臺灣にも澤山ある、斷然改めたい

○蓬萊米の人氣は素晴らしい、却つて鮮米が流入するなどとは[illegible]やうな話、[illegible]も耳を開から

けふの豫算閣議 相當紛糾の模樣

特別議會は五月二十日頃

【東京三十日發電通】二十九日の閣議で高橋藏相から提示された明年度實行豫算は意外に緊縮され各省要求と相當の隔隙あるため三十日の臨時閣議における論議は可成紛糾するものと見られる、政府としては政友會の政策實行に關し多少たりとも豫算を計上したき意向であるが高橋藏相としては七年度においては赤字を出さぬ方針をもつて進んで行くため積極的に事業の出來ぬ事は當然である、從つて特別議會に提出され得るものは極めて小額の追加豫算にすぎないこととなる、而して特別議會の召集に關しては二十九日閣議で各閣僚間に意見の交換があつたが大體五月二十日頃召集の意向で一致を見た、右は滿洲事件費は四、五兩月分の豫算協贊を要するため五月中には同議會を召集すべく又新規の經費支出の承認を要すべく豫算提出の事務的準備のためそれ以前に召集不可能の爲めである

尚は前途には 幾多の難關

【上海二十九日發電通】停戰會議散會後支那代表郭泰祺氏は語る「第一條停戰實行に關する條項は確定した、同第二條の撤兵時期撤兵地區に關して討議したがこの點に觸らず、三十一日更に續行することになつた、前途には尚幾多の難關が横たはつて居り樂觀は許されぬが絕望でもない、この上は唯雙方の努力に依り何とか解決したい」

實行豫算中に 二億餘の公債

電話公債を減額し 道路事業公債增額

【東京三十日發電通】明年度實行豫算編成に於て電話事業公債は二百七十二萬圓を減額され道路事業公債は產業開發計畫の下に三百萬圓を增額されたので各種事業公債總額は二千七百三十八萬五千圓となり不成立豫算の計上に比し二十八萬圓の增加となつた之をもつて昭和七年度實行豫算十五億三千百七十三萬四千圓の中には二億三千萬圓と云ふ巨額の公債が含まるる譯である

新國家の「蔭」に活躍した 熱血の日本女性

奇怪な馬賊の言葉と行動

（四）

本社奉天通信員 小濱生

「もう駄目だツ」悲壯すると恐ろしい銃口も眼に[illegible]は入らなくなつて來た。私は飛び上つた。と戲れの窓から一發の火を吐いたと見る間に又も轟然と一發 「待てッ俺は日本人だッ―――」

私は落ち着いて叫んだ。然し[illegible]にはなかつた。その時馬賊は[illegible]を馬車から引下した。その[illegible]

と支那語で云つた。その一言に安心をした私 「金は[illegible]」 金で濟むならば、強いて抵抗する必要はないので、ポケットの現大洋百五十元餘りを掴み出して[illegible]といふと[illegible]よく調べて一人がポケットへ入れると、他の一人が何か[illegible]

日本人の家まで來て吳れ、其處に落着きさへすれば、外套の一つ位はやるから」 私は强くなつたり、弱くなつたりして、斯う云ふと他の一人が「本當に向ふの日本人の處へ行くのか」と聞いた 「さうだ」と答へると、一同か私から離れて何事か囁き合つて[illegible]日本人[illegible]

ホット して馬車に乘つた。すると二人の馬車夫は「[illegible]」と私の中が引繰り返つた……」と私を苦笑させて馬に一鞭當てると驅け出した。それから約十五、六丁も走つたと思ふ頃、赤い灯がチラ〳〵遠くに見えて來た 「彼の灯の向ふが日本人の家ですよ」と云つて自分もヤレ〳〵と思つたのだらう私へ告げた 「さうか……」と云ひつゝ見上げて[illegible]灯を發見した私も心から[illegible]を感じたのだつた時又復バラ〳〵と現はれた三人連れ、ピストルを突きつけて馬車へ飛乘つた。そして、一人は直ぐ馬車を止めた。然し、既に馬賊退治の[illegible]を受けてゐる私は、[illegible]に驚かなかつた。[illegible]「向ふの日本人の家へ行くのだ」と落ち着いて云ふと、三人連に[illegible]

「日本人か」と反問した。「さうだ、今君達の仲間と向ふで會つて來たのだ」 私の此の言葉を聞くと「行け」と簡單に私を片付けて向ふへ行つてしまつた。まるで、內地の非常線に遇つてゐる樣な氣がした。馬車は再び走り出した。

それにしても

奇怪な のは馬賊の言葉と行動だ彼等の殘忍性については屢々聞かされもし、被害事實も見て來てゐるので今私と會つた馬賊の[illegible]のやうな行動が不審でならない。「日本人の馬賊ぢやないか知ら」とさへ思はせた。馬車には小さな支那犬が[illegible]入つた。すると人の肉を食つて生きてゐる支那犬が私達人間の香を嗅ぎつけて馬車を追つて來たのだ。[illegible]喰つて終ふのだから始末が惡い今私達三つの人間を狙ふ野犬は執拗に追つて、遂には[illegible]馬車の踏み臺に飛びついて來る、馬賊の危險から逃れた私は、今又支那犬の群に襲撃されて身は全く危險となつて來た。「さうだ拳銃だ」私はポケットの拳銃に手を著くや恐らく五、六十匹に[illegible]えてゐる犬の群へ所かまはず續けさまに二發ぶつ放した。と忽ち「キヤーン」と悲鳴を上げて倒れる犬もあつたが、銃聲に激怒したか猛然と突撃して來た。私は十發射ちつけた。遂に獰猛な支那犬も參つたか何處かへ散つて終つた。馬車夫は車を止めて犬の死體を拾ひに[illegible]。[illegible]すると三頭の大きい[illegible]を拾つて來て、何うするのだと聞くと肉を喰つて皮は外套にするのだといふ。それから約半時間も走つて村の中頃に來たと思ふと馬車を止めた。此處が日本人の家だといふ（つゞく）

滿洲內地間に 商船の增船實行

滿鐵でも商船との 貨客連絡に最善を期す

【大阪二十八日發本社特電】大阪商船が滿洲內地間の輸出入貨物及び船客の增加を見込み四月以降滿航船を四隻から六隻（中一隻は新造船）に增し從來の月十航海を十五航海に增加することにしたが一方滿鐵にても旅客吸收上商船と協力することとなり埠頭と大連驛間に連絡列車を運轉して國際急行列車との接續を圖り更に大連海關では此の連絡列車運行中の[illegible]間に手荷物携帶品の稅關檢査を施行することとなつた

米日爲替 强含み

【ニューヨーク二十九日發電通】昨日三十三弗[illegible]に引越した米日爲替は本日更に强含みを呈し引値は[illegible]三十三弗[illegible]となつた

新政策を確立して 黨の更生を圖る

民政黨の政策轉換

【東京三十日發電通】民政黨は金輸出再禁止に伴ひ政策轉換の必要に迫られ、先日の議員總會席上若槻總裁より之に言及して黨の意向を明らかにし二十九日の幹部會に於ても之に就き意見の交換を行つたが從來の民政黨のインフレーション政策を改め現在の新しい事態に適應した政策を樹立することにある。それには財政、金融、產業等の各政策に就き轉換を行ふ必要ありとの意見行はれ、右に依り具體案を作製して臨時議會に臨まねばならぬとの意見有力となつた、要するに政策の樹直しは民政黨の更生として頗る重大なるをもつて愼重に研究することに決し、永井幹事長は二十九日午後五時半幹部會の經過を齎し若槻總裁を自邸に訪問し至急具體化を圖る樣進言する所あり總裁は近く首腦部の意向を徵し速かに新政策の樹立具體化に努めることとなつた

高等專門校長 異動發令

【東京三十日發電通】高等專門學校校長は卅日左の如く發令された

任山口高等商業學校校長（二等） 大阪商科大學教授 [illegible]
任和歌山高等商業學校校長 和歌山高等商業學校教授 岡本一郎
任德島高等工業學校校長（二等） 德島高等工業學校教授 松本[illegible]太郎
依願免本官 山口高等商業學校校長 [illegible]
依願免本官 德島高等工業學校校長 小濱[illegible]

英佛兩首相 近く會見

ロンドンで

【パリ二十八日發電通】聞知する所に依れば佛國首相タルヂュ氏は來週月曜（四月四日）ロンドンでマクドナルド英首相と會見し、ダニューブ河畔の中央諸國の經濟救濟問題に付き親しく協議する筈

人事

▲[illegible]氏（明治製糖常務取締役） 三十日來北（吾妻）
▲大井清次氏（日糖臺灣支社營業部長）

▲土井昌彥氏（日糖月眉製糖所長） 三十日夜行にて歸社
▲川端昇太郎氏（辰馬商會監查役） 二十九日來臺（吾妻）
▲龜森雄太氏（臺東製糖專務） 二十九日來北（吾妻）
▲三浦光次氏（馬公街長） 三十日來北（吾妻）
▲中村五九郎氏（花蓮港） [illegible]委員六名と三十日來北（萬屋）一日朝[illegible]氏と共に臺南へ
▲[illegible]太郎氏（臺南） 三十一日內地へ
▲松井榮太郎氏（臺北市場組合長） 內地視察團一行八名三十一日內地へ
▲濱田正氏（日本鑛業技師） 三十一日內地へ
▲南新總督 三十一日臺灣神社正式參拜
▲梅谷修三氏（新竹東部長） 三十日赴任

無絃琴

◇大場前文政や平山前高北とせた大和丸は十九日門司著、平山君は盛んにハシャグが大場君は姿を見せず、探して見ると船室に引込んで浪花節、お國自慢の追分けか何かに[illegible]▲大場切りの身輕な平山君は門司に上陸して了つた、東京で待つてる人もない、出來るだけおそく東京へ着かうといふ方寸の下に汽車は一番のろいのに下ノ關から乘り同日午後二時廣島へ下車、すると急に宮島へ參詣したくなつて同列で詣で、其晩は宮島泊り、同地の[illegible]でカキ料理をウンと[illegible]めた、一方大場君は船客にもぐり込んだ儘で神戶まで白河夜船▲あくれば二十日だ、平山君の方は日が永いなアとあつて、公職のある岡山へ下車した所が、皆散の金比羅樣へは海路一時間と聞き[illegible]こんな話で、瀨戶內海の潮風な好い氣になつて遊びながら、サアこの先きどうしたら早く東京へ著けるか知ら、東海道を中途から信州路へ飛び込んでしまふかナ、と迷ふために一苦勞▲大場君は二十日早朝神戶へ著いて、サッサと東上の客と成る、[illegible]の氣樂さに、[illegible]氣分で車窓からのぞくと一瞬お先きに神戶の人となつて[illegible]た小栗元內務が、ヤアとばかりに汽車を見送る、このところ今次の[illegible]運動中、內地の[illegible]といふところ。（神戶にて[illegible]生）

火の鳥

（54）

中村星湖作
吉本雅生畫

春遠からず（七）

秋山がまつ青な顏をして、ドアをあけて玄關に入つた時には、二階からあわてて駈けおりて來たオルタンスが、廊下の女主人の部屋へ飛び込むところだつた。間もなく年寄つたマダムが、オルタンスと一緒に現はれた。マダムは手に小さく四角に疊んだ紙片を持つてゐた。

「ムシュウ・アキヤマ、昨日お留守にこれが參つてをりました。昨晩はお歸りになるだらうと思つてオルタンスを二度ばかりお部屋へやつてみましたが、たうとうお歸りになりませんでしたね？」

年寄りは、滅多によそへ寢泊りしたことのなかつた秋山の昨夜の不在を、別に非難するつもりもなかつたらうが、秋山としては何となく極まりわるかつた。かれは友達のところで[illegible]なつて、引留められるままにあちらに泊つてしまつたことを、詫びるやうに言つてから、マダムの差出す電報を受取つた。

ふるへる手で披らいて見ると、いよ〳〵博士號を授與することになつたから至急來てくれといふS――大學からの電報だつた。

まつ青だつたかれの顏は、忽ち赤味を帶びて目まで明るく輝きだした。だが、[illegible]も、前より一そうはげしく慄へて、暫らく何んな言葉も出て來なかつた。

「どんなお便りですか。もしや奧樣が……」と年寄りは眼鏡越しにかれを覗き込むやうにして訊ねた。

「いいえ！」とかれは力を籠めて言つた。「これは[illegible]の知らせではありませんでした。僕もてつきりさうだとばかり思つたのですが、さうではなかつたのです。これはS――大學から、いよ〳〵博士號を與へるから來いといふことなのです。」

「おお！……博士號！……博士！……」

それだけきれ〳〵に言ふと、年寄りはだしぬけにかれに飛び付いて、兩腕でかれを抱いた。そしてかの女の[illegible]は幾度かかれの額に觸れた。それは[illegible]、子供思ひの母親が、その子供の成功を祝福する時の樣だつた。

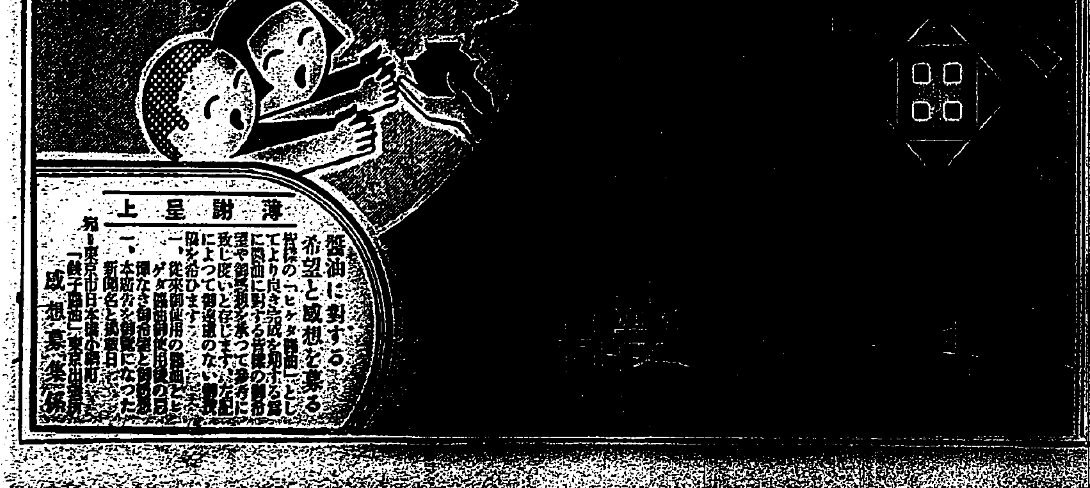
「あなたの才能とあなたの勉強でなら、きつと好い成績を得られるとは思つてゐるました。第一論文が素晴らしいものだつたといふから博士號は間違ひなく與へられると思つてゐたが、それでも何うか？といくらか心配しないではなかつたのです。お博士！醫學博士の最高の名譽！わたしは今日からあなたを博士と呼ぶことが出來ます。この國の學者たつて滅多には得られない博士號を、若い外國人のあなたが授けられるとは！わたしも近所の人たちや方々の知り人に對しても鼻が高い。わたしのところで間借りしてゐた、ムシュウ・アキヤマは博士になつた、と言つて威張つてやれるんですよ。」

ひどく理性の勝つた、しつかり者のここの女主人が、こんなにまで昂奮したのを、秋山は未だ曾て見たことはなかつた。

「お國の方でも、奧さんが、あなたのお歸りよりさきに、その知せの來るのをどんなに待ちこがれてゐらつしやるでせう。直ぐに電報で知せておやりなさいまし。うちの悴夫婦もこれを聞いたらさぞ喜ぶでせう。殖民地に行つてゐるあれらには、わたしから知せてやりますよ。ムシュウ・アキヤマが博士になつたら家ぢゅうでお祝ひをするんだつて、悴もまるで自分の事のやうに、あなたのこの好い知らせを樂んで待つてゐたんですよ。」

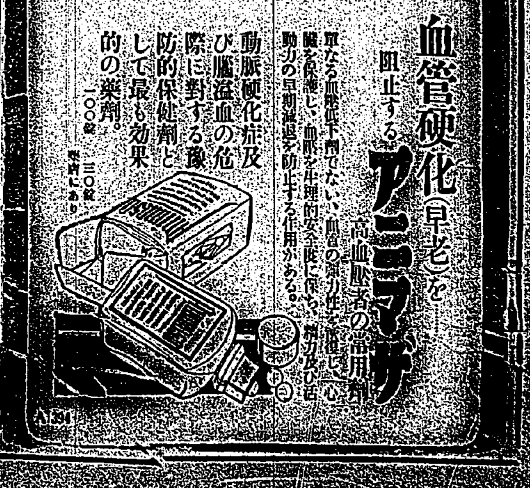
「有りがたう、奧さん、有りがたう！」

秋山もすつかり感激して、淚を流しながらあひ手の好意に禮を述べた。その時まで傍にたつてゐたオルタンスが、やはり心からの祝ひを述べてくれるのに、かれは今まで一度もかの女に對してしたことのなかつた握手で答へた。


醬油に對する希望と感想を募る
[illegible]
薄謝呈上
一、[illegible]
一、[illegible]
宛 東京市日本橋小網町 [illegible]
[illegible]

製圖用紙
青寫眞感光紙
[illegible]

經濟の上手な主婦は安いからつて、名の知れない石鹸や、聯門工場で作られてゐない石鹸は買つて來ない！
ツバメ石鹸
正價一個十錢


血管硬化（早老）を阻止する
アニマザ
高血壓者の常用藥
單なる血壓低下劑でない、血管の弾力性を恢復し心臟を保護し、血壓を生理的安全に保ち、精力及び活動力の早期減退を防止する作用がある。
動脈硬化症及び腦溢血の危險に對する豫防的保健劑として最も効果的の藥劑。
一〇〇錠 三〇錠
藥店にあり

胡漢民を盟主とし西南五省が獨立計畫

停戰會議の終了を待ち 中央反對の通電を發す

【漢口二十九日發電通】廣東、廣西派對南京政府の關係は蔣介石の獨裁復活以來極度に惡化せるも、上海に於ける日支停戰會議の爲め牽制され小康を保ち居るも停戰會議終了を俟つて胡漢民を盟主とする廣東、廣西、雲南、四川、貴州の西南五省聯盟で中央反對通電を發し愛國の名に依つて中央政府攻撃の火蓋を切り獨立を宣布する段取となつてゐること確められた、これが爲め過日當地から南京に赴き蔣介石と密議せる何成濬は歸途安慶で陳調元と五省獨立運動の對策を協議し二十九日漸く當地に歸還した、停戰會議で支那側が強硬なる態度を持するはこれ等內部の獨立運動に脅かされてゐる爲めと解せらる

南總督の神社參拜と登廳

（上）臺灣神社參拜（中）建功神社參拜（下）初登廳後公室て

通遼北方の匪賊と敗走兵匪が合體

在留邦人引揚に決定

【新京二十九日發電通】我飛行機の偵察に依り洮安附近の匪賊は殆ど南走したが洮安一帶の危機は依然として去らず南走した匪賊は通遼北方の匪賊の大部隊と合流し形勢險惡の形勢にあり一夜を全く不安の裡に過ごした在留邦人六十名は斷然引揚に決定し二十九日午後三時洮安を出發トラックで新京に向つた

匪賊の包圍を逃れ 邦人窰門に到著

一行はやつと蘇生の思ひ

【新京二十九日發電通】洮安を出發した邦人避難民一行六十名は途中[illegible]附近で約六百の匪賊の襲撃を受けたが全速力でトラックを走らせ辛うじて匪賊の包圍を逃れ午後五時二十分東支鐵道窰門に到著し一行は漸く蘇生の思ひをした[illegible]は語る 二十八日夜は二時間に亙り死ぬ覺悟で防戰した、賊退却後も一夜中まんじりともせず不安に襲はれました、匪賊は一向に到著せぬので遂に在留邦人三十七名と二十三名の[illegible]が維護しつつ引揚げて來ました

上海兩租界の戒嚴令解除

三十一日から

【上海二十九日發電通】共同租界及び佛租界當局は三十一日より戒嚴令を解除するに決した之は上海事變の常態復歸に對する公式行動の現はれである

武漢の人心平靜となる

鹽澤司令官の來著て

【漢口二十九日發電通】[illegible]官の來漢と共に我軍は日本租界周邊の警戒網[illegible]し我陸戰隊も一切の[illegible]砲隊地點の軍隊に撤退を命じたため武漢の人心漸く平靜に歸しつつある

基隆市廳舍落成式

けふ舉行さる

【基隆電話】新裝全く成つた基隆[illegible]に於て[illegible]

霞ケ浦、館山から九十餘機帝都訪問

天長節當日空から奉祝

【東京二十九日發電通】本年特筆[illegible]霞ケ浦館山兩[illegible]航空隊の九十餘機は四月二十九日天長節[illegible]帝都[illegible]

安武文教局長初登廳して訓示

理想を視、現實に即した兩方面から最善を盡す

安武新文教局長は三十日初登廳したが暑ら預のガッチリした面持も頗る樵り家らしい

「自分は文教は初めてで、來て見て案外難しいと思つた、臺灣の事情には通じないが充分研究して大いにやり度いと思つてゐる」と記者に語り[illegible]に[illegible]

【[illegible]】[illegible]には難かしい事かも知れぬが私は必ず出來るものと信ずる、五百年かかつても千年かかつてもやりとげる[illegible]らしい、安武局長は[illegible]する[illegible]局長を集め左の如く訓示をなした

[illegible]は此度文教局長の重任を拜し[illegible]たが實際其の重責に堪へ得るか何うか內心恐懼に堪へない、何卒各位の充分の御助力によつて職責を果し得る樣に願ふ次第である、文教局の任務たる教育、社會事業の各種の形態、分野に就いては實際、研究の上、上司の指揮監督を仰ぎ最善の努力を[illegible]

努力を

[illegible]が各位に於ても充分研究調査し御助力を乞ふ次第である、先刻總督の訓示に於て非常に重要なる意味を教育に置くと言はれたが私は此訓示を聞き職責の益々重きを痛感する、私は此際教育、社會事業が如何にあるべきかを申上げるよりも從來職務遂行上割り來りし態度を述べ諸君の賛成を望む、世の中の事は理想を視つめて進むべきであつて然らずんば向上がない、又何が理想なるかを視るには充分の研究を要する理想を實現する爲めには現實を知らなければならぬ然らずんば空想に走る、理想を視、現實に即するといふ兩方面から最善を盡す、而して其の際には全般の傾向を視、他の聯繫を調和にして矛盾なからしめ、一意熱心、熱情を籠めてやらなければならない、私の

尊敬す

る在[illegible]の劍道の先生は「[illegible]劍道を[illegible]勝し前に[illegible]する者が少くないが斯くの如き[illegible]の上達、[illegible]の明朗[illegible]と云ふ事を望まずに文字通り眞劍に行ふべきものである」と說いて居るが、此の敎へを受けた私の友人は[illegible]も屢々勝つ、之は眞劍で行くからである、以上の如く熱情を以て眞劍に職務を盡すべく不斷の研究調査を怠らずに勤めなければならぬ、斯くの如くして文教局が全く一家一丸となつて能率の增進が期待せられる次第である

山地開發の調査隊

月末迄に臺州

【臺南電話】既報の如く漸く著手の[illegible]となつた臺南州產米調查會の主要事項たる山地開發に關しては先に調査決定を見た新化、曾文、新營、嘉義の四郡に對し州郡職員をもつて調査班を組織し、本月二十二日より大體十日間の豫定で夫々現地方面に出張中であるが、三十一日中には所要事項の調査を終へ臺州の形となるべく、右に基き報告を調製しその取まとめを終つた後、主要部の打合せによつて著手事項の先後を定むる筈で目下[illegible]の緊張味を見してゐる

[illegible]臺中、高雄市尹、[illegible]州郡守、坂本商銀、佐藤副助役其他から寄せた祝辭を朗讀し閉宴[illegible]少時林[illegible]の音頭で一同萬歲を三唱乾盃して散じたが工事報告によると工費二十萬圓を要した、[illegible]大廳舍は[illegible]な[illegible]下[illegible]の[illegible]と[illegible]壯麗な割合に安く出來上がつてゐる式後一同は展覽會陳列品を縱覽したが何れも[illegible]の[illegible]を稱讚した

山口宮司は留任に決定

長官から裏和氏に事情を說明

臺灣神社の宮司山口透氏は前總督時代に[illegible]を提出中であつたが、一方臺北の[illegible]長及び氏子[illegible]の有志は留任を熱心に希望し屢々督府當局を訪問陳情する外、東京の關係各方面にも電報を以て[illegible]まで其の留任方を懇請したが右の運動功を奏し山口氏の留任は決定を見、その發表は[illegible]される事になつた、右につき平塚長官は三十日午前[illegible]長中の一人裏和擔當部氏を官邸に招き山口宮司の留任問題につき[illegible]人の意見を[illegible]且つ周圍の事情や市民の同宮司留任に對する熱心なる希望等を[illegible]し當局の態度を[illegible]に決定し同宮司の留任を見ることになつたから大樣留任は總督が變つたから急に辭めたといふのではなく、一度[illegible]された辭表に對し那から引續き前の方針を變更して斯く決めた[illegible]種の事情を[illegible]と考慮し研究した結果自然に留任と云ふ事になつたものであるから批判は[illegible]て明かにして置きたい

との意味を言明した由で同氏は其の意を[illegible]とするところ共に當局の斡旋を深く謝して引取つた尚この決定に就ては[illegible]長その他關係各方面に對し改めて說明される筈

留任に決した山口宮司（寫眞）

飛機墜落し名越大尉慘死

米國の水上飛行場で

【ニューヨーク二十九日發電通】デラウエア洲、ニューキャッスル市[illegible]新聞社の太平洋逆コース無著陸飛行の壯舉を完成すべく準備中であつた陸軍航空兵大尉名越[illegible]氏は二十九日朝橫濱に向け試驗飛行をなすべくマロイ飛行士と共にニューヨークにあつてドベンネット水上飛行場を出發したが三百呎の高度に達するや突如機體に故障を生じたものの如く同飛行場中の[illegible]水に墜落し[illegible]に突つ込んだ、これを目撃した[illegible]

出發前から故障

飛行場係員は[illegible]を[illegible]さず[illegible]したが名越大尉は既に事切れてゐた、墜落の原因は未だ不明であるが名越大尉は嘉義市出身で今年三十四歲である

【ニューヨーク二十九日發電通】既報死した名越大尉の使用機はプロイドベンネット飛行場出發の當初から故障があつたらしく時々機體を[illegible]て飛出してから一度地上にバウンドした後急角度でジャマイカ灣の入江の上に機首を打付け機體大破すると共に猛烈な火焰を吐いた沿岸に出動した海軍機關兵は救援に向つたが大尉は既に無殘な慘死を遂げて居た同遺骸はブルックリン埋葬地に送られた

春・街で拾つた話（三）

エロの尖端を行すぎ

モダンマダムの悔いの淚

「[illegible]木は醜く鳥に飛び人を自然の開かさに浮かれて踊らうと云ふのに稽古時代を經過して鈍くも夜に入つた臺北大小のダンスホールのエロはこれからであると云ふのだ、それにしても夜ダンス・ホールを中心に發生したエロ事件で遂に北署の恐い目のおやさんに曝げられ[illegible]一個に處せられた[illegible]は[illegible]

騷ぐロの出來事――、大稻埕の一角にあるPダンス・クラブへこのクラブの定連である永樂町の[illegible]（假名）（三）と云ふステキなシヤンで粹なモダンマダムがその良人と打ち連れて現はれた、さてダンスの中途でどう云ふ風の吹き具合かその良人がマダムを[illegible]に[illegible]して[illegible]

下で待ちわびてゐたらしいロイド眼鏡のモボさんと何か意味深い合圖をしてからこの暗い階段からその顏姿を消してしまつた

× ×

それから幾日か順調に進んだがそれから半時間も經たない八時半頃彼女が[illegible]して北署に引き立てられ恐い目のおやさんの前で後悔の淚を流してゐたのだ

× ×

渋十分も立てば彼女は彼女の良なる良人の遊んでゐるPダンス・ホールへ行く事になつてゐたのに遂にこのモダンマダムはその夜一夜は北署の汚ない留置場で一夜を明かしその翌日科料十二圓に處せられて釋放された彼女の元の良人との間には[illegible]の子があると[illegible]

[illegible]

[illegible]

いつもはその夜は八時より翌朝の午前三時にかけて臺北州下各所で一齊に[illegible]が行はれたのだそして網にかかつた下奎府町の勝とか云ふ[illegible]の奥まつた所を襲つた結果一組の男女を發見したので有無を言はせず北署へ引き立てたその女がモダンマダムの彼女である

家出した嘉義中學生

對岸から送還さる

【基隆電話】三十日午前八時基隆入港の[illegible]丸で[illegible]の天地に憧れて日本刀を攜へ出し對岸を[illegible]して[illegible]學年の[illegible]書を[illegible]に[illegible]た嘉義中學生井上[illegible]男（[illegible]）の兩名は[illegible]から[illegible]されて[illegible]に送り返されてきたが家出の動機は對岸風物等を[illegible]

舟船を見失ひ漂流中に救はる

下と語つてゐた

【基隆電話】基隆郡萬里庄[illegible]漁船[illegible]丸（[illegible]）乘組漁夫四十一名は廿九日午後二時頃[illegible]沖合十二カイリの所で十二隻の小舟に分乘[illegible]漁中突如[illegible]れて[illegible]を見失ひ[illegible]流中をたまたま[illegible]航行中の大刀丸（[illegible]）が發見一同を救助し午後五時[illegible]

漁夫廿餘名行方不明となる

永寧庄から出漁して

【臺南電話】臺南州新豐郡永寧庄[illegible]一九七三番大退外八名は二十六日午後四時頃二隻の竹筏で同庄下鯤鯓七一八[illegible]外十四名は二十七日午後三時頃同じく竹筏五隻に分乘夫々部落海岸より

東石沖に出漁したが

之等は何れもその翌朝には歸來する筈のものが二十九日夕刻に至るも歸つて來ないので出漁者の家族及び同部落民は大いに氣を揉みその筋に屆け出でその後の搜索の下に附近海岸一帶を隈なく搜査中であるがまだ彼等の行方は杳として知れず乘組員の安否を

氣遣はれてゐる

右は二十七日同海岸一帶に暴風起り沖合はかなり荒れた爲め難破したものと見られてゐるが目下引續き搜査中である

中小商工業者の新金融機關

愈よ高雄市に設置

【高雄電話】高雄市では豫て中小商工業者の金融機關を設置して金融の圓滑を期すべく計畫を進めてゐたが、右につき市勸業課長商工業部の幹部其他關係者と協議をとげ、更に[illegible]

町委員

の參集を求めて組合員の參集に取りかかる手筈であるが、組合の名稱は有限責任組合と決定し、組合員は差當り百名位を勸集し、一口の出資は五十圓とし一人の持株は十口の見込み、出資總額は一千五百圓を見込んで[illegible]

三百圓

を限度とし、日歩は三錢以內とし[illegible]組合が設立して[illegible]

上野の發明博で大成功を收む

山本博士と高柳教授のテレヴイジヨン

【東京二十九日發本社特電】テレヴイジヨンについては東大の山本忠興博士、濱松高工の高柳教授が夫々研究を續けてゐるが大體に於いて實用に供する程度に研究がとげられ、目下上野の發明博で大成功を收めてゐる

放送者

は先づ明るい[illegible]部に立ちその動作は直徑一米一分間二千八百回轉の圓板に渦卷狀にうたれた六十餘の穴を通して光電子管に作用し、これが波長百六十九米の電波で受信機に送られ、受信機はラヂオのスピーカーの代りに直徑一尺餘のブラウン管が使用され、映像は一尺四方で鮮明に現はれ成績良好である

映畫の

少しボケたもの

と同程度の成績で、又放送者の裝置は光の反射に就き研究中である[illegible]

本紙付錄の船車發著表

四月上旬發行

毎月二十五日本紙付錄として發行の船車發著表は今回陸上交通の改正があり本月中には決定の筈であるから四月上旬發行に變更した

臺中州下の退職教員

【臺中電話】臺中州下の各小公學校教員にして三月末退職したものを各郡市別にすれば左の如し

臺中市五人、大屯郡一人、豐原郡八人、東勢郡四人、大甲郡五人、彰化郡九人、員林郡十一人、北斗郡九人、南投郡八人、新高郡三人、能高郡四人、竹山郡五人

右の通りであると

臺中州の新教員配置

【臺中電話】四月一日から臺中州下[illegible]に於いて[illegible]

臺北州の警察招魂祭

四月一日に舉行

臺北州警務部主催の警察招魂祭は四月一日午前九時より東門町同招魂社前に於いて舉行、友部警務局長、[illegible]警務部長の他に各部長[illegible]參列[illegible]

遞信講習所卒業式

賣出しの剩餘金を獻金する

【花蓮港電話】花蓮港廳下の酒類小賣人組合一同は昨年[illegible]賣出しの剩餘金二百圓を兵器獻納費として獻金することとなり二十九日街役場に[illegible]

山梨大將事件判決言渡

四月四日に

【東京二十九日發電通】山梨大將外五名にかかる朝鮮疑獄事件は[illegible]東京地方裁判所で審理中の所四月四日判決を言渡すことに決定した

天氣概況

▲天氣豫報（卅一日）

第一區 [illegible]

第二區 [illegible]

第三區 風向定らず[illegible]

臺北地方 [illegible]

各地氣溫（二十九日）

[illegible]

●風ならキット治る

[illegible]

ヴェルカム

進入學の靴は 大正堂

[illegible]

商況

米況

[illegible]

大阪期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戶期米

[illegible]

米安の原因

[illegible]

東京國債

[illegible]

株況

[illegible]

殘月譜 (142)

志乃田䌷司作
清水三重三畫

捕りもの（四）

「親分！そろ〳〵奴が向いて來ましたぜ」

新公が首をすくめて云つた。

「けはゝ、いゝ獲物さ」

馬道の鐵六も、そろ〳〵と氣取つて歩き出した。

「だが、新公、今夜も賊三の野郎め、自由にして置るかと思ふと、どうもいけねえ」

「けはは、親分、我孫子を江戶から放いて居ちや、ちと過ぎますぜ」

「明日にでも出掛けやうか」

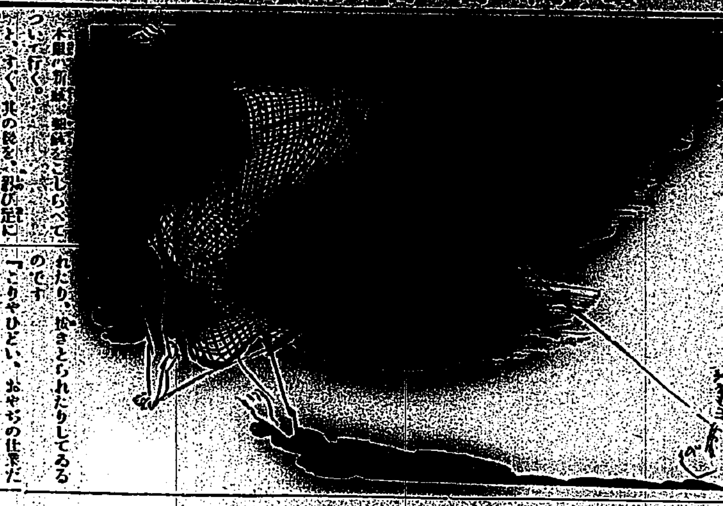
「へい、合點でがす」

「へへへ、親分に行つて頂きや百人力でさあ」

「調子が揃つたな」

「どうだ、前祝ひに、一つ、景氣をつけ込むか」

「話せるね、へい」



木鼠の新錢、襲錢をこしらへて、ついて行く。すぐ其の後を、忍び足に追つて居るものがある。

先刻酒屋で、飲んで居た、商人風の男だ。

木鼠の新錢、ちつとも氣がつかないらしい。

「親分、あつしは惡いことを大分して來ましたが、親分も、少しは惡黨らしい所があるやうですね」

「とんでもないことを聞いて困る」

「ふふん、己にも覺えは惡にも強し、かな」

「へつ、親分、己にや一の方だけ、惡事ぢやありませんか、恐つちやいけませんぜ、へつへつへつ」

「新公、お前の樂しみの通りさ、俺だつて無理往生のしろものだあ――ね」

商人風の男は、二人の會話に聞耳立て乍ら、巧に尾行してゐると、その商人の後方へ、又、尾けて居るものがある。

ぴた〳〵、ぴた。

二人の會話が物騒い位だつた。

片側町の邊りへ來ると、商人風の男、氣合を詰つて。

「えいつ！」

と投げ繩だ。

見事に、きまつて、首をぐいと後方に引かれた木鼠の新錢。

「何をしやがる！」

と、懷中から忽ち合口を出して捕繩を、ぶつつり。すつてんころり、と商人風の男は轉んだ。

「親分！」

「新錢！」

手が廻つたと見た二人は、ぱつと暗闇へ走り込まうとした。

「待てッ！御用だッ！」

商人風の男が叫んだ。

「あッ！鍋町の親方かッ！」

聞いたのが、低い力强い聲で云つた。

「木鼠新錢だッ！[illegible]」

「よー來たッ！」

鍋町の御吉親方の後を追けて出た二人の影は忽ち、すつ飛んだ。と、木鼠の新錢の前へ、ぴたりと足を止めて。

「おい！神妙にせい！」

「御用だつ！」

十手が、きらめいた。

「親分！逃げて！そして、今の話しを頼んだぜつ！」

新錢が大聲だ。

「おつと、承知！」

馬道の鐵六、まつしぐらに走る。

「さア來いつ！」

木鼠の新錢、片肌ぬいで構へた。

童話　情深い農夫の話

石黑つゆ

いつものやうに朝早く山の麓の畑を見廻りに來た次郎作は思はず「あツ」と聲をあげました、せつかく丹精して實らせた、きびが一晩のうちに、すつかり踏みにじられたり、拔きとられたりしてゐるのです

「こりやひどい、おやぢの仕業だな」

熊の惡戲

一日みて次郎作はだといふことが分りました、北海道の人たちは熊を「おやぢ」と呼んでゐます、しかも親熊と仔熊の大小の足跡が丸い柔かい土にハッキリついてゐます

次郎作はさつそく、村一番の獵師の直吉を呼んでふたりで熊狩に出かけました、熊は明け方ちかく引きあげたらしいのでまだそんな遠くは行く筈がありません、足跡をたよりに[illegible]辿りつめると白く泉色に光りながら音立てながれてゐる川が見えました

すると、直吉が「あッ、ゐるゐるぞ」と指さしながら云ひました、こつち岸の河原の大きな岩の周圍を親熊と仔熊がしきりに歩いてゐます、熊たちは澤蟹をとつてゐるのでした、ふたりは樹のなかを、はふやうにしてすすみました

きつと蟹は熊の足音にあわてて岩の下にみんなもぐつてしまふのでせう

思ふやう

につかまらないものと見えて岩の下をのぞいたりしてゐましたが、仔熊はすつかりくたびれてしまつて、足を前に投げ出して河原の砂利の上に坐りこんでしまひました、そこで親熊も立どまつて岩を睨みつけてゐましたが、いきなりそれへ太い前足をかけて何十貫目もありさうな大きな岩をゆすつて渾身の力でささへました、すると仔熊は待ちかまへてゐたやうにその下にもぐりこんであわてて逃げ廻るかにを捕へてはおいしさうにたべてゐました

「占めたぞ、もうこつちのものだ」

直吉は銃をかまへ狙ひをさだめました、そのとき

親熊は忽

ち二人に氣づいたらしく岩をささへながら、ぢいつと見つめました

「見つかつたな」

すんでに引金をひかうとしますと

「待て、直吉」

あわてて次郎作が叫びながら銃を押へ

「可哀さうだ、勘辨してやらうよ」

直吉は村きつての獵師の名人です、ましてこのときは落ちついて狙ひを定めたので、うち損じはありません、あの大きな石を力一杯ささへてゐる親熊に彈があたれば、なんにも知らずに、かにを探してゐる仔熊は、きつとその石の下になつて死んでしまふのです

[illegible]、熊でしたが、銃を向けたとき親熊がこつちを向いて哀れみを乞ふやうな樣子を見ては、次郎作は、殺させる氣にはなれませんでした、直吉はおかしな次郎作だと思ひながら又銃を取直しました

「逃がしてやつてくれ」

直吉の銃を取つて次郎作は云ふのでした

やがて、親熊は人間がするやうに仔熊をおぶつて川のなかに入りました。そして流れをかきわけながら向ふ岸に辿り着きました、そしてこつちへ向いて幾度もお辭儀をしながら林のなかに姿をけしました

その樣子を見つめてゐた農夫の次郎作は直吉をつれて村をくだりました

それ以來、次郎作の畑は熊に荒らされるやうなことがもう全くなくなつてしまひました（をはり）

臺日俳壇

木問樓選

雜詠、句數無制限、何れも投句し得、宛名は木問樓

△透る小雨にしつぽり濡れて落ちたは果報者　臺北　熊山

△変り代りに桃李櫻咲いて笑ふ春なれば　臺北　無常

△露の節理を思へと祈る今朝の大眼白妙に　羽成町　木屁

◎島の都がふんはり霞の奧の夢に浮ぐ　嘉義　森嶺浦

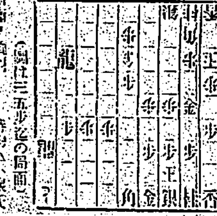
（評）白粉の匂ひもありさうぢやありませんか

名家敗退將棋（一一九）

（小泉氏二回勝三人目）

六香落　△六段　小泉兼吉

▲五段　堀内宗吾



（圖は三五歩迄の局面）

持駒▲小泉氏[illegible]　△堀内氏　香香香歩歩歩桂歩

△五三歩成▲二四香△同金▲同歩△四二と▲五三銀△三一と▲三八桂△同歩▲五九角△三四銀▲三三金△二五桂▲同歩△五三龍迄にて小泉氏の勝

▲堀内五段曰く　二四香で敵玉が却々に堅いので淺く一手であるし三五金を得れば攻めにも樂じ易い

▲小泉六段曰く　四二と、は少しでも武器を得ないと損切となる惧れがある自玉に攻めつけられても急には寄らない考へであつた

▲堀内五段曰く　三六桂は他に碌い手がない爲歩と取らし五九角と出る考へである

▲小泉六段曰く　敵に五九角と出られて非常に惱いたがよく讀んでみると三四銀と必至を掛けて[illegible]

▲大崎八段總評　本局は上手序盤に於て七五歩と突き七八飛と穩やかに受け過ぎし爲め敵に香落の徳を發揮せられ苦境に陷つたは[illegible]に富む小泉君としては無理であつた、下手は此の際に乘じ順序よく攻めて優勢であつたが形に因はれ五一金よるの惡手を指し其爲め變化を生じ殊に終局となつて三五桂と先を利かせば必勝となるべきを四四歩の緩慢な運びを指して手得となり敗れたはよく味ふと興味ある[illegible]

新刊紹介

◇教育問題研究（三月號）　學年末となり、卒業試驗入學試驗の[illegible]に關係する子を持つ親達の心を[illegible]時であるが、本誌は色々な意味において、世の親に對し又教育者自身に對し、問題と暗示とを含む何といつても子を持つ親達の惱みは子供が學校を無事に卒へたら、旨く就職が出來るかといふ事である、學校に入りさへすれば又之を卒へさすればといふ時代は既に過ぎたけれども、今尚漫然と學校に入れる親達が少くない「社會的現實生[illegible]

[illegible]交見達に（小原國芳）[illegible]出版協會發行定價四十錢

◇漫談經濟學（小汀利得著）　本書は事業界を繞る座談會、[illegible]經濟の内幕、[illegible]の話相、混沌[illegible]物價等の内容によつても知られる通り、時事問題を極めて平易に且つ興味本位に叙述したものである、金再禁止の如きも少し理解に[illegible]所もあるにはあるが全く讀み易い、同り易い所に著者の苦心がある（四六版三四〇頁定價一圓五十錢千倉書房）

松竹蒲田映畫

原作…牧逸馬氏（大阪每日連載小說）

脚色…清水宏氏

七つの海（處女篇）

（三月三十日新世界館上映）

配役

役	俳優
白枝 神谷	岩田祐吉
三輪子	若水絹子
弓枝	川崎弘子
百代	高峰秀子
八木橋建之助	武田春郎
妻　雅子	鈴木歌子
兄　武彦	岡讓二
從弟　謙	江川宇禮雄
妹　緋佐子	泉博子
大平六吉	宮島健一
妻　お俊	高松榮子
桐原彩子	村瀨幸子
その父	野寺正一
高杉政義	水島亮太郎
娘　珠子	伊達里子
山岡	新井淳
娘　晶子	若水照子
宗像一郎	結城一郎
居住不二男	小桜田正一
辻	南條康雄
ペリー	藤野秀夫

梗概　實業家八木橋建之助の息武彦が外遊の途[illegible]歸朝をなしたので同家の親族關係者は東京驛に出迎へに[illegible]くて武彦は叔父大平より[illegible]弓枝を[illegible]された、弓枝は武彦の[illegible]の[illegible]と[illegible]であつた、武彦が[illegible]社に勤めて居る女、謙の友人で通[illegible]を開いて居る宗像一郎氏も來た

×　×

武彦は弓枝の美貌を見[illegible]の大半を通し弓枝に結婚の申込みをした、彩子は或日デリーメルの新[illegible]ペリーが結婚を申込んだが[illegible]悲觀した爲ペリーは極度に悲觀して自殺した其騒ぎで健康勝れず[illegible]に母と共に保養に赴いた其時宗像一郎は彼女を訪れた時さ子は自分の氣中を[illegible]に打明けた

×　×

一方大平は武彦の愛を離隔すべく八木橋夫人に會つた、弓枝の一家は病める父[illegible]妹百代の苦しい生活で家事は姉の三輪子が見て切り廻して居た、彼女と武彦との間を知りながら八木橋夫人は我子可愛の爲に弓枝に武彦との結婚を強いたので弓枝は[illegible]謀たされたが武彦は彼女を種々と慰めた、弓枝は悄然として家に歸り此事を父に告げた、[illegible]は恐つて八木橋家を訪れ詰問した、謙は其室に居合して[illegible]起つた[illegible]人々に送られて我家に歸つた時に父は既に絶えて居た、姉の三輪子は[illegible]事に發狂して遂に入院する身となつた、謙は[illegible]に[illegible]して叔父の家を出て弓枝を訪れ唯一の相談者となつて居た

×　×

一郎はその事を知り山高を介して八木橋家に武彦と弓枝の結婚を纏めるべく申込んだので八木橋では大平をして金三千圓を贈つた、弓枝は謙に[illegible]事とは知りつつ姉の急場を救ふべく其金を受取つた、謙は總てを犠牲にして弓枝の家を離れるべく決心した、然し無邪氣な妹百代は謙を慕ふので彼は百代を連れて表へ出た、弓枝はこらえきれず泣き入つた

公開欄

本欄は讀者の自由投稿欄▲中傷は不可▲行數は十五行以內▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係に一任あり

醫師の本分と醫官への希望

南門居士

◇醫は仁術にありと聞く、醫者たるの道は單に投藥とメスに依る解剖切開にのみ存するものではない、醫の醫たるは其の精神的方法を勿論其機とするも更に之を生命づけ之を活かす所謂仁術の大精神がなければならないと思ふ

◇かかる大精神に立脚して初めて醫者たるの本來の面目と、其の榮譽とが認められ世の尊敬を受くるわけである、古來より醫道に携はる者は武術より色々の意味で尊ばれて來たが、其の謂は全く仁義を旨として斯道に研鑽し世の爲人の爲につくして來た所にある

◇古への武士が武よりも其の精神を尊び大義名分に終始し「武士」たるの名を辱しめない爲に文武兩道に努力したと其の軌を一にしてゐる、要するに古人の道に術の巧拙よりも其の奥にひそむ、精神的修練を第一とされた樣である

◇近時醫道に志す者とみに多く既に名醫大家として、世の尊敬を受くる者多きは喜ぶべきながら他面寒心に堪へない方もある

◇之を市井に求むるより官設の大病院に多きは如何なる次第か、官設の醫院に於て近頃種々批難の聲あるは、全く其の診察處置が事務的一片で其間に親切と慰藉の缺除に歸因するものではないか

◇官設だからとてこれを運用すべき理由にはない、寧ろ第一線の[illegible]を拂ふべきで一日も早く患者を安心させてやるべきである、醫官も文官吏であれば官吏として當然の精神を發揮せねばならない、更に國民の福利を計る爲で何くなる國費を投じ之が經營するは[illegible]人的利益の爲に設置したものでない、國家本來の目的を考へ更に國家本來の精神所謂仁術の心神を以て其の重大なる職責を全うされたい、上官しければ下級官吏一[illegible]にかつものは一層の努力注意が肝要である

臺日案内
[illegible]
ぴたりとまる　わきが藥　ネオ・エルビン
安生堂息丹
にんにくエキス
醫院　梅野醫院
內地土産
芭蕉煎餅　下九商店
下宿屋　御下宿　福井館
製靴商　ヒコウ運動靴
紙文房具　萬年筆大勉強
洋畫材料は小塚支店
運送業　勉強引越運送
料理屋　ビックリぜんざい
旅館　[illegible]温泉
治療所　土肥タンク　平川鍼灸院
雜件　まさかや　大理石各種　土地建物管理
職業
バイオリン尺八
臺日の卓球用品
本邦唯一の精良品
男女防寒ゴム
サック
丁子堂

チタニウムを主劑に特殊の成分を配合せる
サーワ白粉
薄絹に包んだ珠玉の様な生きた美しさ

今流行のサーワ粉化粧
先づミツワ石鹸で地肌をキレイに洗ひます。其理由は、作用が緩和で、洗つた肌膚に些しも石鹸分を殘さないからです。次にはサーワ・ヴァニシングクリームを薄く地肌へ擦込みます。それから今度はサーワ粧白粉をパフに含まして一面に打込みます。或は更にサーワ水白粉を其上に附けるのもまた結構です。從來に無い生きた艶と、自然なお化粧上りが、容易く得られます。

新刊小形本「白粉の常識」御申越次第進呈

サーワ白粉は
其分子が特別に微細いから、何方のお肌膚にも必ず緊密と適ひます。荒い白粉で塗つぶしたのとは全く違つて、極自然な、それこそ生々として美しいお化粧のできる所以で有ります——

種類と定價
固煉（白・肌色）金六十錢
同（舞台用・大器入）金一圓
煉（白・肌色）金三十五錢
水（白・肌・桃色）金五十錢
粉（白・肌・桃色）金四十錢
クリーム白粉　金五十錢
化粧水　金四十錢
白粉下　金三十錢
同（舞台用大器入）金一圓
ヴァニシングクリーム　金五十錢
コールドクリーム　金七十錢
頬紅　金三十五錢
口紅（箱入・携帶用）各金三十五錢
（內地以外は關稅實費を加ふ）

Ⓜミツワ石鹸本舗　東京兩國　丸見屋商店

漢文臺灣日日新報

臨時閣議定必紛糾
藏相所示豫算意外緊縮
臨時議會按五月二十日頃

三十日東京電。二十九日閣議。高橋藏相。提示明年度實行豫算。意外緊縮。與各省要求。相差懸隔。三十日臨時閣議。議論定必紛糾。政府與政友會政策實行。於來臨時議會。欲多少計上豫算。高橋藏相。於七年度。以不出赤字方針而進。故事實不能積極進行。自不待言。而僅以提出臨時議會者。不過極小額之追加豫算而已。而關於臨時議會之召集。二十九日閣議。各閣僚間交換意見。大體豫定五月二十日頃召集。意見已一致。右乃滿洲事件費。四、五兩月分。已得議會協贊。五月中須求開後經費支出之承認。又因豫算提出之事務的準備。不能於五月二十日以前召集云。

明年度實行豫算
大藏省原案

二十九日東京電。二十九日豫算閣議。明年度實行豫算大藏原案如左。（單位千圓）

歲入	一、三八八、六三〇
歲出	一、五三一、七三四
歲入不足	一四三、一〇四

歲出各省別如左。

皇室費	四、五〇〇	外務省	一九、五二四
內務省	一四三、九九〇	大藏省	三一七、二九六
陸軍省	二二六、五二六	海軍省	二三九、〇六四
司法省	三二、五三一	文部省	一三二、八五八
農林省	五四、六五七	商工省	一〇、三二三
遞信省	三三八、一九七	拓務省	一二、三六三

高橋藏相說明

二十九日東京電。二十九日定例閣議。高橋藏相。說明明年度實行豫算大藏省原案。即明年度實行豫算總額。歲入十三億八千萬圓。歲出十五億三千萬圓。對一億四千萬圓之歲入不足。將以赤字公債補填之。又須計上八千六百萬圓之滿洲事件費。及各種事業公債。特別會計事業公債。今後若考慮滿洲事件費。則須發行相當巨額之公債。然預金部及金融市場公債引受能力。自有限定。故歲出不得不削減。此點希原諒之。爲之姑定承認之新規增加額。七千八百萬圓。歲出之中。實行豫算十四億五千萬圓。追加豫算七千萬圓。以上藏相說明。有二、三質問。各閣僚俱於二十九日午後。及三十日午前開省議。審議大藏省原案。復活要求後。三十日午後一時半。開臨時閣議。擬決定明年度實行豫算。又大藏省主計局。二十九日午前十時。邀各省會計官。內示各省歲出豫算原案。

奉天兵工廠
學良別働隊
二百襲來

二十九日奉天電。二十九日午前四時半。奉天城大東門街兵工廠。約二百學良別働隊。忽然襲來。同廠內我守備兵應戰擊退之。我一等兵一名戰死。其他三名輕傷。

退避農安
邦人六十名
夕刻到窰門

二十九日新京電。從農安出發之邦人避難民一行六十名。在郭家店附近受匪賊六百襲擊。乃乘全速力驅自動車疾走。幸免匪賊包圍。午後五時二十分。抵東滿鐵道南部線窰門。一行始有蘇生之概。豐增務部話左。二十八日夜。亙二時間。以必死覺悟防職。賊退却後。一夜不安。府援不到。居留邦人二十七名。乃由二十二名警官擁護。避難而來也。

民政黨確立新政策
藉謀黨之更生
因金輸禁止後
政策須再轉換

三十日東京電。民政黨以金輸再禁止。政策須轉換。今於前日議員總會席上。由若槻總裁言及。表明黨內意向。二十九日幹部會。將交換意見。其意在乎改從來民政黨之通貨膨脹政策。財政。金融。產業等各政策。必須轉換。照此作製具體案。以臨臨議會也。此意見甚有力。要之。政策之改換。乃民政黨更生策。頗稱重大。決慎重研究之。永井幹事長。二十九日午後五時半。訪問若槻總裁於自邸。報告幹部會數道。懇其至急謀具體化。總裁近將徵取首腦部意向。謀新政策確立具體化云。

上海兩租界
戒嚴解除
三十一日起

二十九日上海電。共同租界及法租界當局。自三十一日起。將解除戒嚴令。此乃對于上海事態。常態復歸之公式行動也。

農安兵匪
將再來襲
邦人決定退避

二十九日新京電。我飛行機爆擊。農安附近匪賊。殆已潰走。然農安一帶危機。依然未去。潰走匪賊與通遼北方匪賊大部隊合流。有再度襲來之形勢。決定斷然退避。二十九日午後三時。出發農安。將赴新京云。

電話公債減額
道路事業公債增額
實行豫算中
公債發行二億三千萬圓

三十日東京電。明年度實行豫算原案。電話事業公債減二百七十二萬圓。道路事業公債。因謀產業開發。增三百萬圓。各種事業公債總額二千七百三十八萬五千圓。比不成立豫算之計畫。增加二十八萬圓。爲此昭和七年度實行豫算十五億三千百七十三萬四千圓。中包含二億三千萬圓之巨額公債云。

胡漢民氏爲盟主
西南五省謀宣布獨立
俟停戰會議終了後
發中央反對通電

二十九日漢口電。廣東。廣西兩派對南京政府之關係。自蔣介石氏獨裁復活以來。極度惡化。後因上海日華停戰會議所牽制。得保小康。然俟停戰會議終了。胡漢民氏將爲盟主。廣東。廣西。雲南。四川。貴州之西南五省將聯盟。欲發中央反對通電。以實倒之名。攻擊中央政府。宣布獨立。爲此日前自當地赴南京。與蔣介石氏密議之何成濬氏。歸途至安慶。與陳調元。協議五省獨立運動對策。二十九日始歸當地。停戰會議。中國持強硬態度者。乃爲此等內部獨立運動所威脅也云。

世界觀光船
卅一日入港

世界觀光船。約乘觀光團三百名。於三十一日。由香港入基隆港。午前八時五十五分。搭基隆岸壁發臨時貨切列車。於午前九時五十八分抵臺北驛。照例視察龍山寺。植物園。博物館。然後在鐵道旅館午餐。自由行動。午後三時。搭臺北驛發貨切列車向基隆云。

鹽澤司令官到漢口
日華戰備撤去
武漢人心漸歸平靜

二十九日漢口電。鹽澤司令官來漢。我軍命日本租界周圍鐵條網。土壘及保壘等撤去。中國亦撤去一切戰備。野砲陣地派遣軍隊撤退。武漢人心。漸歸平靜云。

七年度實行豫算
應如議會解散要求
公債三百萬或容認

據二十九日總督府接電。總督府七年度實行豫算。因六十議會解散。而以不成立提出案。新規要求分。則爲追加要求。似照原內容施行。而對歲入減之採算。則依臺灣事業公債法。增額公債發行。爲是豫算而公債借入金。對前年五十萬圓。增加二百五十萬圓。爲三百萬圓。應受容認云。

嘉南大圳
本年總會
開於州會議室

嘉義大圳組合。本年度定期總會。自今川知事就任爲管理者以來。總會具體的準備告畢。又該組合總務課長高原州地方課長。爲豫算案及其他。欲得督府當局諒解。明二十七日夜行赴臺北。三十日歸州。訂來二十一日在州廳會議室。開本年度總會。自午前十時起。開常務委員會附議昭和七年度歲入出豫算案。組合費賦課方法。工事用品特別會計歲入出豫算。組合起債。（借換低利資金）變更組合規約等。下午一時。始開總會。據開本年度。諒平穩。決不至似前回之較鬧云。

宜蘭製糖糖分
一成四分三

昭和製糖會社宜蘭工場製糖。分先壓搾早植不良甘蔗。故本月中旬。糖分稍低。而該不良蔗壓搾略完。數日前糖分。已昂至一成四分二三釐。比中南部成績尤好。然原料一億七千九百萬斤。尚殘有九千萬斤。該製糖終了期。諒在五月二十日云。

入學兒童頓增
學級不增
市民非難當局

臺南州下入學兒童增加。致不能全部收容。因其對策。爲從來絕成豫算上唯一難問題。此較本年度。臺南市內卒業生及入學兒童數如左。

▲卒業生　小學校兩校。男一八八、女一六二、二及公學校男四九六、女二九八、計七百四十九名

▲入學生　小學校同男一九七、女一七二、公學校同男九六二、女六四六、計一千六百八名

此外尚有入高等科。並公學校追加入學者。除卒業生學級數以外。入學者尚有一千名。入學兒童。如是增加。本年度不見增加一學級。一般市民。頗非難當局之無關心云。

滿洲情形（甲）

陳文山

一、地理

▲東三省　滿洲位於中國之東北部。廣袤凡三十六萬五千方里。括奉天。吉林黑龍江三省。華人稱之爲東三省。北以黑龍江。與西伯利亞分界。西與東部蒙古之大平原。犬牙相錯。地面頗爲遼闊。東與俄之沿海州爲隣。東南則以鴨綠江與朝鮮分界。南瀕黃海及渤海灣。

▲氣候　滿洲位於北緯三十九度與五十二度三十秒之間。居中緯度中。有西班牙。法蘭西。及意大利各一部份。然滿洲之氣候。則與此三國。迥異。滿洲之氣候。爲大陸氣候。受溫度極端升降之影響。冬季嚴寒。夏日酷暑。大連每月之平均溫度。自一月至八月間。華氏表達二十四度乃至七十六度。大連以北。冬季較寒。而夏日之溫度。則不若是之高。例如哈爾賓一月間之平均溫度常在零度左右。而七月間平均在華氏七十二度間。受蒙古平原以來季節風之影響也。滿州雨量。遠遜於日本。惟以全部論。可謂氣候適宜。便於農事。其平原鉅野。土壤肥沃。現在開墾之二千七百萬英畝。產巨額之豆。麥。玉蜀黍及紅白高粱。據所開統計調報。一九三〇年。東三省種植地爲一八六、九八九、〇〇〇畝。約二千八百餘萬英畝。

▲地形　縱貫滿州有兩大山脈。兩山之間。土質肥腴。中部低陵。爲南北天然分水嶺。諸山皆饒林鑛。尤富於煤。水則可通航運。達數千哩。鐵路未興之前。水道爲行旅之要途。水之大者北有黑龍江。松花江及烏蘇里江。南有圖們江。鴨綠江及遼河。諸水流域。土地肥沃。頗適於墾殖。內蒙之東部（按即今之洮南區及熱河一部）頗似北部。惟亦有廣大之平原。草野與沙漠。密調多風。其地尚未墾殖。遊牧部落居焉。

▲人口　東三省及內蒙東部之人口。向僅能爲大略估計。是區向無詳確之戶口調查也。約計之。最近人口有三千萬左右。滿蒙境內。滿漢雜居。蒙古者。則日人麕集。居東半島。多數爲蒙族。及邊塞之漢人。此外僑寓滿蒙古者。尚有高麗人約百萬。俄人約十萬。滿州平均人口。每方里五十三人。與美國之米梭里州人口相同。然較之美國全部人口每方里僅卅五人者。則故差多矣。奉天省（遼寧）內每方里居民一百二十九人。約與愛爾蘭相埒。按此數目。滿洲人口之密度。實遠過於一般人士所預料者也。且滿洲人口。增加頗速。自鐵路築興。現代之教育文化。及實業輸入斯邦來斯土者。愈覺其親切。一如故鄉。每年自山東來此之工人。傭作於田間及鐵路上者。自三十五萬人乃至四十五萬人。及秋後回家者自二十二萬乃至三十三萬。其餘則居留滿州。竟永久之職業。（未完）

司令官
視察烏山頭
卅日晚歸北

阿部司令官。臨時檢閱島內各部隊畢。司令官換穿輕裝背廣服。偕其女公子及宮內副官夫婦。視察鵝鑾鼻歸途。廿九日下午零時三十四分。抵臺南。在東屋旅館費發。同一時半。由大塚保安課長嚮導。乘自動車。視察烏山頭貯水池。同五時半。歸臺南一泊。三十日午前七時半。由佐佐木市助役嚮導。正式參拜臺南神社。次視察安平港及赤嵌樓。搭上午九時五分發急行車歸北。

分教場廢止
設高小學

臺北第一師範學校附屬小學校新店分教場。限至三月三十一日廢止。以後由新店庄承繼。改設爲新店尋常高等小學校。訂來四月一日午前十時。在同校舉開校式云。

臺南州水產
總代會

臺南州水產會。本年度總代會。去二十九日午前九時。在州會議室。開評議。

統治根本方針不變
諸問題實觀後建策
南新總督車中談

南新總督。於二十九日午後二時五分抵臺北驛。而在基隆臺北間車中。對出迎記者所談之概要如左。已如前報。臺灣統治根本方針。從來以內地延長主義及一視同仁主義一貫。此根本方針迄無變更意思。領臺後閱三十餘年間。一切制度完備。此去俟實地十分調查後。依時勢變遷。及事情之變化。可改則改。又如天然資源等之天與資源。欲立十分利用方法。要之須完全利用臺灣之熱與光。以立臺灣產業之政策。滿蒙新國家。與臺灣有密的提携。余爲中央滿蒙協會一員。概就內地與滿蒙之產業的均衡調查。例如樺太。北海道之製紙原料。此去現在不滿內地需要。或求于吉林與地之森林。及防止美棉輸入。而求于滿蒙者。臺灣勿論要與內地滿蒙。經濟的提携不息。臺灣砂糖。已苦于生產過剩。若北海道甜菜糖業。爲莫大補助。則爲自殺的行爲。此種無理行爲。宜早中止。對滿蒙亦以此意味。將來須大提携之也。以外對於記者。問對自治制見解。總督答云。此非十分調查。不能遽爲言明之也。

森官長決定留任
因其外交問題意見
見容於犬養首相

三十日東京電。森書記官長辭任問題。因犬養首相。鈴木內相。鳩山文相極力慰留。黨內有志代議士。亦希望留任、荒木陸相其他各方面。亦謂此際不可辭任。[illegible]其留任、結局森官長考慮[illegible]、決意留任、爲外交問題。[illegible]森官長之意見。見容於犬養首相。[illegible]留任原因之一云。

臺南放送局
開局記念放送
四月一日起五日間

臺南市大南門告成之臺南放送局。業定四月一日起放送。臺灣放送協會。自四月一日起五日間。爲開局記念放送。全部放送臺南之地元。每日自午後六時。放送順序如左。第一日臺南。第二日高雄。第三日屏東臺南。第四日嘉義。第五日臺中。此五日間。爲祝開局。全部由臺北中繼。南部方面殊見勇躍。自一箇月準備練習。顧若此五日記念放送完了。再照舊主以臺北臺南中繼之。又臺南放送局。爲一基羅放送。波長四一七。周波數七二〇基羅。與臺北區別。呼出符號。與臺北同樣云。

新竹警官招魂

新竹州警察協會。定來四月一日上午九時起。對州下爲殉職警官。在新竹公園忠魂碑前。由內海州知事臨場。舉警察招魂祭。

霧社復興計畫
長官巡視及知事抵任後
不久諒得實現

霧社事件勃發以前。三十餘年努力苦心之理蕃政策。即治安。化育。產業各方面其基礎之樹立。自該事件勃發以來。悉成水泡。事件當時。水越臺中州知事。命能澤內務部長。計畫復興。內如電化。遊園地。記念館。記念碑。櫻溫泉復活。其他等。既得成案。然該經費。由蕃人與殉職者遺族之慰問金中。抽出三萬圓充用。將欲實施之際。水越氏。負該事件責任退官。又能澤氏亦轉任。後任之太田知事。拒絕地方民之熱望。該三萬圓。現尚死藏。然有一部分。謂該施設費。理宜歸國庫負擔。前太田知事。謂若霧社復興計畫實現時。懼將來該地方留有惡印象。此點尚要考慮。此回平塚長官。初巡視霧社。聽取該經緯。而且竹下州知事亦云俟後日考慮。如是則該復興問題。不久諒得實現云。

竹州新學期
增級學校十校
學級數十三

新竹州下學校。四月一日新學期。增級學校十校。級數十三。詳細錄左。新竹二公一學級。女公一學級。湖口庄下北勢分教場。二學級。新埔公學及關西。大溪。竹東諸公學。各增一級。竹東小學及大湖公學各增一級。苗栗第二公學增加二級。苑裡農補學校增加一級。

專賣臺南支局
轄內煙草小賣
重新指定

專賣局臺南支局轄內之煙草小賣人。指定期滿。其局則已派員慎重調查。至去二十七日。俱已決定。除成績不良者取消外。大多重新指定。就中有欲使其自覺。整頓者。則指定一箇年。以觀其向後成績。餘無事故者。仍指定三箇年。月初或月杪。將召集新營。由出張支局長訓示後。乃交付指定書云。

勇於私鬪
兩家總動員
被派出所拘去

嘉義市元町。嘉義稅務出張所雇員張旋。年四十四。妻楊氏英。年同。次男楊傳。年二十二。去二十八日午後七時。與同所人楊天從年四十五。妻楊游氏春。年三十八口角。後用武。雙方各負傷。被該管派出所巡查。俱拘入司法室留置。原因爲楊天從時常戲楊傳妻。是其禍端云。

錐人胸部
傷重暈絕倒地
用亞鉛線錐

羅東郡五結庄二結人許自金。年三十六。業工夫。去二十七日午後八時頃。與同庄二結人楊德立。年三十一。因聘金問題口角。[illegible]用亞鉛線錐。刺入楊之胸部。深寸餘。當場暈絕倒地。被害者昇入羅東街嘉普醫院。受林醫師治療。因重要部位。生命甚危。加害者。尋被陳刑事。拘往羅東郡警察課。現尚留置同課內。由須藤司法主任。嚴重訊問中。原因爲楊之妻。最近被楊原因爲聘金未納。及許欲楊之子女爲許之家。故發生此傷害事件云。

加俸減之愁雲一掃
陳情團不日解散
陳情運動金殘額決定獻金

去年植民地官吏加俸減案發表當時。臺灣諸官吏。奮起反對。組「植民地在勤加俸減額阻止陳情」之請願團。其實行委任團。以財務局一部爲指導。連日夜集在督府大食堂討論。終決議若不許其要求。則斷行總辭職。辭職願以騰寫版印刷。更出街頭。欲開大會。其後減俸問題。全國一律實行。然加俸減則照舊。今也。政府欲取消往日之減俸。故此加俸減之杞憂。自然解去。爰是去二十九日。全島二千六百名陳情團實行委員。代表委員。[illegible]藤田正義氏爲代表。在財務局長室與陳情團解散之磋商。近日中應以何等形式舉解散式。又依當時決議由全加盟員醵出之阻止陳情運動資金。殘額千餘圓決定充爲愛國號建造費一部。向當局獻出云。

鳳山郡下某庄蔡某。年六十左右。去二十日午後三時頃。被某派出所巡查毆傷。喉中出血。頗覺重態。苗發要三星期間。月二十三日提出告訴。原因蔡之媳婦某。在庭前飼牛。隣牛闖過。走往與之爭吃。巡查責女不愼。蔡出爲賠罪。以爲語不通。因而誤解。其後又以挾恨。挪某常務之子於地。使之一時人事不省。望上官嚴辦之。（庄民激昂）

義竹某富人。三月二十四日。被親族二人。用臺灣刀砍傷。生命危篤。原因聞係爭恨。（如是我聞）

告某郡下某理事。少得財。便意氣揚々。無視貧苦組員。使之飲泣而然却害巴結。有劣夫之綽號也。（果然是劣）

高雄州下
米穀商
計畫視察內地

高雄州下米穀同業組合內地視察團。日前已出發。諸團僅高雄州下不參加。其理由係視察地。謂南部米穀同業組合員。並屏東米友會員。豫定二十名。計來七日頃。赴內地視察。有補助旅費關係。及米友會。已決定。視察地。第一爲沖繩縣。次即九州地方。人選略順赴京阪關東方面云。

新莊

郡守莅任

新任新莊郡守眞室幸大氏於三月二十八日午前九時到任。多數官民之迎接。到任後。即時登廳。集郡下街庄長及郡職員于會議室。並一場訓示。

舉修了式

新莊街青年教習所。于三月二十九日午後七時。在新莊一公講堂。舉第一回修了式。

警官招魂

新莊郡依恒例。定來四月一日午前九時。假當郡武道場執行殉職死歿警官招魂祭。

女講募生

新莊街教化聯合會所主催之女子國語講習會。豫定四月上旬。舉發會式。講師內定元二公女訓導葉氏廢油。當一切指導教習之任。現準備募集會員。

桃園

無料治療

新竹州慈惠院。此次囑託桃園街同生醫院主張溫流氏。照左記期日場所。爲一般無料巡回治療。即三月二十九至三十一日在龜山役場。四月一日至二日在八塊役場。四月三日至四日在大園役場。

舉修業式

桃園街役場女子國語練習會。去二十八日在公會堂舉行修業式。街長視學助役講話後。開學藝會。至午後四時半散去。

大圳會議

桃園大圳組合。去二十六日在該組合樓上開通常評議會。十時起開會。小松氏提出水租修正案。節省通水租。每甲要減五五圓五十錢。和組長反對。後一任組長處置。下午四時散去。

虎尾

競技入賞

虎尾庄主催深耕犁競技一節。去二十三日開催。入賞者氏名如左。一等賞大屯子王來成。庶使蔡見將。過溪子林風列。二等賞牛埔子王江中。庶使林福。過溪子周烏內。三等賞北溪厝黃金水。大屯子廖信義。庶使黃朔。庶使子學。過溪子周世。廖倉。其他四等五等止云。

歡迎郡守

曾根原虎尾郡守。昨三十日著任。郡下官民如例。於同日正午合開歡迎會。於日新和樂館。

會事

▲新羅東郡守梅谷修三氏。去二十八日。自臺北赴任。是日午前十時起。在公室與姿沼郡守。引繼事務。至午前十一時。集庶務課及警察課職員。在同郡役所樓上。由姿沼郡守送別詞。新郡守致詞。又同郡下街庄長發起。定來四月一日午後一時。假羅東公會堂。開新舊郡守送迎會云。

▲臺南市方面委員。去二十八晚六時。假市公會堂舉月例會。因同日適值今川知事新任披露。不能參與。乃再延至三十一晚。仍開於同所。而社會事業助成會總會。亦豫定同時。決議昭和七年度豫算所屬云。

人事

▲[illegible]來遊中南畫大家小室翠雲氏。訂本三十一日上午八時二十六分臺北驛發列車。赴基隆。搭同日出港之太和丸歸京。氏此行遍歷日月潭。阿里山。鵝鑾鼻。及東臺灣太魯閣峽谷斷崖絕壁諸名勝。到處賦詩。據聞東京來月二十日南畫展開會。氏欲以南國所得風景陳列。故急於歸去云。

▲嘉義市榮町南瀛新報嘉義支局長黃新慶氏。今回與同市南門町賴目氏長女賴氏締婚姻。去二十八日迎娶。二十九日午後六時。在公會堂。招待市內各界人士約二百名。開披露宴。

▲彰化施梅樵氏。二十九日。自宜蘭歸北。搭三十早急行車歸去。

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行所 臺灣日日新報社
[illegible]

石鹸王妃

永遠の若さを保つ
化粧石鹸の覇王

おいしいお米
大家族向には
一般家庭に
[illegible]

Ⓟ白米
入荷

臺北市[illegible]　電話[illegible]
Ⓟ[illegible]米穀店

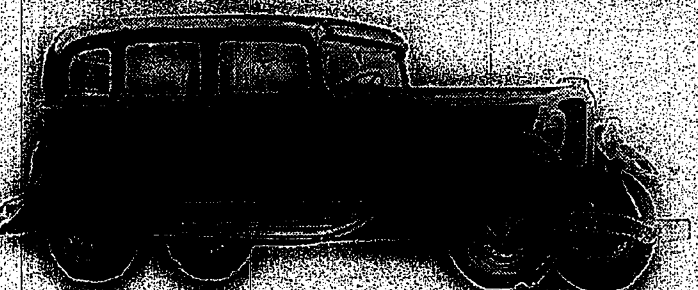
「あなたも……そう！
「あたしも……よ！

とお二人共
大の仁丹石鹸黨！
目下の大懸賞を御利用下さい

パームオイル製
仁丹石鹸
正價十錢

風藥の代名詞
福福カゼ藥
發賣元　南門藥局

劃期的な新ハドスン・エイト
1932年のペース・メーカ



ハドスン三窓セダン

安樂、華美な客間同様！

新ハドスンには、調節自在なレッグ、ルーム及安樂な肘掛を設備してあります。シートクッションには縦型コイル式スプリングが併用されて居りますから震動は絶對に感じません。

窓は大きく、外景は廣々と見る事が出來ます。扉も大きく、ドアー、ハンドルも非常に開閉し易く出來て居りまして、乘心地を殺ぐ様な物は一つもありません。

一九三二年型ハドスンには同社技師に依つて、實に八十一の機械的改良、車體改善が施されて居りまして、是等改善改良は他の八氣筒車には絶對に見る事の出來ないものばかりであります。

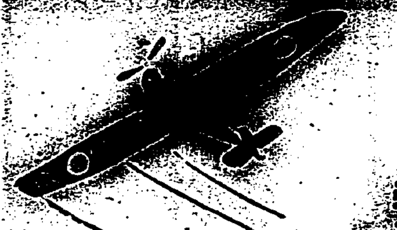
臺灣總代理店
臺北市本町一丁目八十八番地
廣合洋行

HUDSON 8

Hudson Motor Car Co.
Detroit Mich. U. S. A.

II—S1

支那事變



負傷戰士を勞りませう！

滿洲や上海で御國の爲め名譽の負傷を受けた我が忠勇なる戰士を心から勞りませう

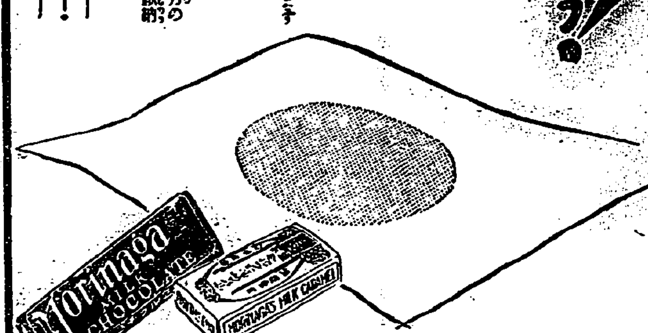
森永の外函（ミルクキャラメル ミルクチョコレート 大・小）が負傷戰士の慰問金になります

—方法—

★外函投入函は全國菓子店や加盟新聞社、其他便宜の處にあります
★集つた外函や外裝紙は大二厘・小一厘の割合で森永が買受け陸海軍省に献金します

森永ミルクキャラメル・ミルクチョコレート大小一ケ月の生産約千五百萬個　これが全部回收されると一ケ月の献納金は貳萬貳千五百圓！

廢物利用で愛國運動！



主唱　支那事變傷痍軍人後援會　後援　全國加盟新聞社　森永製菓株式會社

ア—3

世界知識　四月特別號

科學画報　十週年記念號

讀書界人氣の焦點　號を追ふて洗錬された此出來榮えを見よ！

滿洲國の成立と其將來　大西齋
滿洲國の中心に躍る人々　香取桂一

世界の財界
▽米國のインフレーション轉回運動　森田久
▽對日經濟封鎖と金融資本家　棟尾松治
▽世界の關税戰爭と其將來　森田敏
▽世界經濟界復活の曙光見ゆ　倉橋藤次郎

世界的發展の五大運動展望
ファシズム運動の發展　中谷武世
民族主義運動の現勢　米田實
最近の共産主義運動　赤松克麿
シオニズムの世界的運動　安江仙弘
歐洲合衆國運動の正體　稻原勝治

米國々務卿スチムソン　本野亨三

上海事變特輯
▽上海事變の經過と批判　石丸藤太
▽支那に毒する軍閥の勢力　榛原茂樹
▽上海事變と國際的波紋　稻原勝治
▽上海と列國の勢力分野　高木陸郎
▽支那の軍隊と其素質　長野朗

世界展望
▼佛國の軍縮提案
▼二つの軍縮案
▼佛内閣の更迭
▼上海事件其他

世界常識
▼世界一週の日數
▼世界一週の旅費

支那新聞の見た上海事件　金子二郎

最近一ケ年間の南米七大革命　刈岡巴宇郎
チェコスロヴァキアを語る　鈴木福治
メノニット宗徒の理想郷　淡島涙夫
東アフリカ奥地踏破記　莊司茂樹

誌齡十を算えて本誌の權威益々加はる！

本號特價八十錢　送料四錢

東京市神田區錦町一ノ一〇
新光社
振替東京四三二四〇番

アインスタイン博士の新學説
宇宙は膨張收縮する　理學博士　竹内時男

無限と思はれてゐた宇宙に有限性を附與したアインスタイン博士は、其後絶へざる研究で又此新學説を成すに至つた。實にこれ宇宙觀人生觀の一大革命。詳細本號に發表された。

出産時の瞬間寫眞　中島精

神秘より生れる瞬間を一々寫眞化して之に科學的解説を試みた本誌獨特の讀み物。

戰爭科學
▽上海戰特有の市街戰　柴田善治郎
▽陸戰隊の組織と活動　石丸藤太
▽國産鐵兜と防彈衣　菊池麟平
▽吳淞砲臺爆破の威力　黒木剛
▽戰陣の外科醫學二三　橋爪檣郎子

龜ノ瀬隧道の地辷問題　堀内佐一郎

最近に於ける人類研究展望
▽人類の祖先は果して猿か　石川千代松
▽人類の發源地は何處か　西村眞次
▽動物學上から見た人類　丘英通
▽人類に特有の心理現象　桑田芳藏
▽日本古代に住んだ人類　八幡一郎
▽人種の相違と新分類法　大島昭義
▽人類の將來と其運命　永井潜

國産六千馬力ディゼル機關　小川芳太郎

世界の不可能としてゐた機械工學上の一大業績は遂に完成された。正に世界に誇示するに足るものである。詳細は本號に發表された。

世界最新知識
▽大西洋の新快速船　井園貢
▽電氣自動剃刀の出現　渡邊軍次
▽巨大へ進む機械文明　大手町銹次
▽世界最大の大鼓橋　藤田行毅
▽精巧な巨船の砲塔　小澤彰輔
▽獨逸の組立式新戰車　宮里良保
▽帝都に誇る新高架鐵道　川口利雄
▽高速度の自動復寫機　冨村[illegible]

▼長篇講座
模型飛行機の製作　加藤正世

理論と實際兩方面より模型飛行機製作の方法を通俗平易に説いたもので作者は飛行家で模型界の權威者

御園

女学校を卒で　られる方へ—

お化粧のスタートを誤らぬやうに……

スポーツで鍛へた健康のお肌は御園クレームを下地にして御園ごな白粉を引いた爽かな淡化粧からお初め下さい……この二品はいつまでもあなたの若さを保持致します

御園白粉本舗　伊東胡蝶園

C—1

金[illegible]ライ[illegible]石[illegible]
新發賣
[illegible]
斷然超一品

ホプラ・インク

學生として新人の嗜好にピッタリ！

家庭常備藥
化粧と外傷
オシレータム

臺灣貯蓄銀行
[illegible]
昭和七年三月二十八日　臺灣[illegible]銀行

●財團法人登記公告
●財團法人臺北仁濟院（變更）理事[illegible]昭和七年參月貳拾八日退任　同日臺北市明石町貳丁目八番地中[illegible]新任　右昭和七年參月貳拾八日登記　臺北地方法院

●財團法人學租財團（變更）理事池田破六、大場鑑次郎ハ各昭和七年參月拾五日退任　右昭和七年參月貳拾八日登記　臺北地方法院

●財團法人新竹慈惠院（變更）理事[illegible]松之助ハ昭和七年參月拾五日解任　同日新竹市新竹字東門外八番地ノ貳内海忠司理事ニ就任ス　右昭和七年參月貳拾九日登記　臺北地方法院新竹支部

●商業登記公告
●昭和拓殖株式會社（變更）取締役徐乃炎、監査役徐[illegible]ハ昭和七年[illegible]月[illegible]日[illegible]作所ヲ各[illegible]市宮前町[illegible]貳五番地ト變更

●[illegible]五商事株式會社（變更）取締役[illegible]ハ會社ヲ代表スヘキ取締役[illegible]次郎ハ昭和七年參月拾參日死亡　同月拾九日臺北市[illegible]町四丁目九番地[illegible]三ハ取締役ニ同合[illegible]輔ハ會社ヲ代表スヘキ取締役ニ各就任

●[illegible]商工合名會社（變更）昭和七年參月貳拾五日本店ヲ臺北市北門町七番地ヘ同日社員[illegible]之佐ハ同所同番地ヘ移轉

●安田生命保險株式會社（變更）（支店）昭和七年參月拾四日東京市牛込區納戸町拾四番地住野良三監査役ニ東京府[illegible]代々幡町大字代々木[illegible]六九番地竹下清松ハ取締役ニ各就任　右昭和七年參月貳拾八日登記　臺北地方法院

●大新自動車株式會社（變更）監査役林[illegible]ハ[illegible]任期滿了ノ爲昭和七年參月貳拾[illegible]日各再選重任ス　右昭和七年參月貳拾九日登記　臺北地方法院新店出張所

●合資會社[illegible]興商店（解散）昭和七年參月貳拾九日總社員ノ同意ニ依リ解散　右昭和七年參月貳拾九日登記　臺北地方法院桃園出張所

●合資會社（設立）商號合資會社永[illegible]商行　本店桃園郡桃園街桃園字武陵七四番地　目的米穀砂糖肥料石油其他海陸物産ノ買賣運送ニ關スル業務不動産賣買及賃貸並ニ有價證券買賣物品委託販賣代理業及其他附帶事業一切　設立年月日昭和七年參月貳拾八日　代表社員ノ氏名[illegible]　社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任[illegible]桃園郡桃園街桃園字武陵七四番地金七千圓無限[illegible]同所[illegible]中南九七番地金七千圓

有限責任[illegible]四[illegible]同所九四番地金七千圓　同組合[illegible]存立ノ時期設立ノ日ヨリ滿貳拾ケ年　右昭和七年參月貳拾九日登記　臺北地方法院[illegible]出張所

便所くさみ止
特許[illegible]
[illegible]

タンタンは
風の妙藥
發賣元　東京小石川[illegible]　信生堂藥房
代理店　大阪東區[illegible]二丁目　大杢合名會社
同　[illegible]支店
▼各藥店ニ販賣ス

解傭廣告
事務員　千葉茂
右の者今般都合に依り解傭候に就ては自今當所とは何等關係無之此段廣告候也
昭和七年三月三十日
臺北市[illegible]
富重造船鐵工所

訂正　[illegible]

大阪商船株式會社
[illegible]丸　四月七日
[illegible]丸　四月十二日
[illegible]丸　四月[illegible]日

日本郵船株式會社
大吉丸　三月卅一日
日[illegible]丸　四月五日
[illegible]丸　四月九日

わが糖業の統制について　保護政策の矛盾を考へたい

一

世界經濟の行き詰りを打開する爲めには、着眼を新たにし着想にたても新機軸を工夫いたさねばならぬ。二十九日着任した南新總督は、此の點につき一つのヒントを與へ、殊に滿洲新國家と臺灣との經濟的提携に對する所見を明かにした。その中に「臺灣が砂糖の生產過剩に惱んで居るのに北海道の甜菜糖業に莫大な補助をして居るが如きは正に自殺的行爲で、あんな馬鹿なことは早く止めねばならぬ」といふ一節があつた。之を玩味すると天惠豐かに生產費の安い臺灣で產糖を制限し反對に天惠の乏しい生產費の高い北海道で莫大な補助を與へつつ甜菜糖の增產を圖つて居るのは甚だしい矛盾であり我國に統一的產業政策のないことを表白して居るものである、と云つた意味が多分に含まれてゐるやうである。之は心ある糖業者が強調してゐるばかりでなく吾人も亦我が國糖業政策に斯る矛盾、斯る缺陷あることを知つて居るので南總督から此の言を聞くことは總督自ら本島に於ける糖業の地位、使命をよく理解し且つ糖業事情に通じてゐる事を知り得ると共に大に我が意を得たものとして深く共鳴を禁じ得ないものがある。

二

我が國の糖產地としては臺灣の外、沖繩、北海道及南洋群島がある。之等の中臺灣では過剩糖對策として七、八年期に生產費低下を目的とする原料代の切下げ其他經濟的犧牲を伴ふ產糖制限を斷行したが、內地の消費は依然不振の域を脫せず一方過剩糖の輸出も滿洲新國家の成立と共に漸く途が開けたと雖もその輸出を爲し得る會社は臺灣、明治、大日本の三大會社位のものでそれも當局、天非行を合せて本年中百五十萬擔乃至二百萬擔に止まり明年また二百萬擔位の輸出が行はれると假定しても明後年に尚三百萬擔內外の過剩糖を持越す形勢にあり之が爲め消費の行詰り打開が叫ばれてゐると共に糖業者の多數は引續き八、九年期も或程度に產糖制限の必要あり少くとも內地移出を制限して內的改善を伴ふ經濟的整理を斷行しなければならぬとみてゐるやうである。然るに沖繩其他の產糖地に於ては反對に增產方針をとり現在四十萬擔內外の北海道甜菜糖は二百萬擔を目標とし、又現在百十餘萬擔の南洋群島糖は百五十萬擔を目標として夫々增產計畫を樹て或は補助獎勵を行うてゐる。沖繩は臺灣よりも更に以上に砂糖を主產業とする土地柄だけにその增產方針も無理からぬところもあるが、それとて今日の內外糖業の實狀より見て果して適應してゐる政策と云へるか何うか問題である。まして北海道や南洋群島の產糖を此の際大に增產しやうといふことは我が國の產業統制といふ大局からみても又糖業の實狀からみても決して其の當を得たるものとは云へない。

三

思ふに滿洲新國家成立に伴ふ日本の經濟政策更新の必要な事即ち內地、朝鮮、臺灣と新國家との經濟的握手をなす必要上からみて臺灣の過剩糖輸出先唯一の輸出目標國を支那より滿洲に轉ずる事は當然の方策であつて之を阻止するが如き產業計畫、即ち滿洲に於ける甜菜糖の大規模企畫は宜しく絕對に中止させるやう特に新國家の理解と同意を得て置く必要がある。南總督の所見はこの點には及んでゐないが、その精神は恐らく斯る經濟的提携と領域經濟內の糖業統制の必要なることを認めてゐるものと察せらるる。

四

殊に滿洲に於ける甜菜糖業は氣候條件が全然不適で生育期の前半に雨のないこと、晝夜の溫度に適當な高低がないこと及び特殊病の多いこと、而して之を防遏する方法、例へば灌漑施設の如き、或は實用驅除の如き臺灣や北海道のやうに意の如く行かないことは帝糖其他の試作成績によつて明かに認められ滿洲の甜菜糖業は到底成功の見込がないと云はれてゐる。是等の事情から見ても新國家の成立と共に領域經濟の一主人公となつた日本の糖業政策は主產地を中心として合理的に統制されなければならない。南總督の抱負所見を聞いて大いに意を強うした吾人は總督の手腕と經綸に期待するもの多く特に我が國の糖業統制に就て所感を述べた次第である。

全島民に呼びかけて　總督、內臺融和を力說
きのふ盛大な總督歡迎茶話會

臺北市の官民有志發起にかかる官民合同南總督歡迎茶話會は三十日午後四時から鐵道ホテルに於て開催された、新總督出迎のため各地方長官はじめ地方の主なる有力者悉く出北してゐることとてこれ等も參加して參會者六百餘名に及びさながら全島合同歡迎會の觀があり最近に見ざる

盛大なる會であつた、定刻より少し遲れて四時三十五分會場たるホテル餘興場にて開會、南總督は池田秘書官を伴ひ臺北市尹の案內で臨場、導かれて中央の壇上に着席、佐々木市助役の開會を宣し、次で松木幹力社長は發起人總代として左の如き歡迎の辭を述べた

總督の文勳赫々
松木總代の挨拶

南總督閣下此度大命を拜せられ政務の爲め恐らく御繁忙、昨日を以て本島に御着任せらる、依つて本日茲に官民相寄り此の會場に御賁臨を辱うし、親しく御光來を拜するは最も光榮とし且つ欣幸とする所なり、總督閣下には夙に內閣書記官、行政裁判所評定官に歷任し、第一次第二次西園寺內閣に書記官長たり、又福岡縣知事となり累進して文部次官の顯職に就任國政の

樞機に參與せられ大に其の任を完ふせらる、越て大正元年貴族院議員に勅選せらるるや交友俱樂部の領袖として院內に重きをなすと共に院外に在ては日本俱樂部に談話會を組織し、多年政界に社交界に活躍せられたるのみならず其の間海外を巡遊し昭和四年親しく本島各地を巡察せられ、島情にも精通せられ、斯る國家に偉大の功績あり文勳赫々たるのみならず本島の實情にも理解と同情ある閣下を新總督として迎へたる島民一同の

歡喜は之を譬ふるに適當の辭なきを憾とす、今後の統治は閣下に俟て必ず一新生面を開かれ島務の發展すべきは吾人の信じて之を疑はざる所なり、今や時局は帝國をして國際上益々緊要なる地位に立たしめ、東亞に對する責任は彌々重大ならしむるに至れり、特に我臺灣は其の位置と特種的事情に鑑み官民一致和衷協調、內は防備の充實と資源の開發に努め、外は南支南洋の交通貿易を策勵し、依て以て自他の福益を增進し、相互の慶福を伸張せざるべからず、殊に我邦國を擧て滿蒙熱の

高調せらるるに際し、動もすれば南方殷賑の大因是を閑却せられんとするの傾向にあるは誠に遺憾とする所にして、此際本島の特殊的地位と其の重大使命とを力說強調し、大に識者の注意を喚起するの要あるを思はしむ、是れ時は擧て總督閣下の新經綸と大策とに俟たざるべからず、而前途洋々御自重御加餐親しく全島を巡察せられ、具さに統治の現勢に鑑み民心の微妙なる動きにも留意せられ、徐ろに百年の大計を樹てられんことを、茲に官民一同を代表して御臨場の榮を拜謝し謹て歡迎の誠意を表す

向上發展に驚異
南新總督の謝辭

次で南總督は滿場の溢れるやうな拍手に歡迎の謝辭を述られつつやをら起つて

本日は官民各位の懇篤なる御招宴を辱う致し衷心光榮の至りに存ずる次第であります、本官此の度畏くも此の地に受けまして本島統治の重任を拜したるに付きましては爾今各位の御協力に依り本島の發達民福の增進を圖りまして以て萬一の

報效を期し居る次第であります、曾ては瘴煙蠻雨の地として顧みられなかつた本島が領有以來歲を閱すること僅か三十有餘年なるに拘らず、文化產業各般の方面に亙り今日の如き向上發達を見ましたることは洵に驚異すべき事實であります、各國植民地の歷史に顧みましても誇りとする所であります、是れ偏に我皇恩の無邊なるに依ることは申すまでもない所でありますけれども、又官に民に歷代總督の施政その宜しきを得たると官民各位が一致協力能く本島の

開發に努力せられたるこの成果に外ならぬと信ずるのであります、本官亦本島の統治に當りましては先づ以て領有以來既に定まれる根本の方針に從ひ時勢に應じ、民度を計り必要適切の施設を講じまして以て明治大帝以來の偉業を益々振發せむことを期し居る次第であります之と共に官民各位が更に一層の御援助を與へられむことを切望して止まないのであります、申すまでもなく今日我邦は內外共に多事多艱の時に際して居ります

國民的覺悟は斯る時期に於て特に必要であらねばなりませぬ、我々本島に在る者はその官民の何れたるを問はず內外の誰れ彼れを問はず一致和合して此の時局に當るべきであります、殊に內臺の融和は今日に於て最もその緊要なるを思ふのであります、內臺融和といふ事に歷代總督の統治上常に主力を置かれた所でありまして、文教の制度も產業の政策も總て此の方針に順應して出發したものであります、而して內臺融和が終局の

理想とする所は本島が渾然として內地に融合するやうに相成るといふ事であります、併し之が爲めにはその制度施設の宜しきを得ることも勿論必要ではありまするが、更に重要なることは內臺人の完全なる精神的融合そのものであると考へます、此の精神的融合無くしては如何なる制度施設もその運用は實なる形骸に過ぎないのでありまして、本島の眞の發達は望み得ない所であります、本官は今日の

時局に顧みこの就任の初に當りまして先づ以て四百萬島民の渾然たる融合一致を期待する次第であります、是れ能く本島を益々隆昌に導き、且つ今日の多難なる時局に處して帝國の發展に貢獻する最善の方途であると考ふる所であります、以上聊か所懷の一端を述べまして御禮の辭と致す次第であります

と謝辭を述べた、同日午前中の總督府に於ける訓示が官吏に對する第一聲とすれば、之は南總督が

全島民に呼びかける最初の言葉と言つてよい、特に內臺人の精神的融合を力說したることは注目に値する、かくて四時五十分より大食堂及び南北兩食堂に分れて開催、松木幹力社長の首唱で一同總督の爲めに杯を擧げて健康を祝し、次で總督は一同の爲めに乾杯して五時二十分閉會した

新總督歡迎茶話會（寫眞は會場）

斷乎、所信に邁進する覺悟
總督信念を披瀝
新任披露晚餐會で

南總督新任披露晚餐會は三十日午後六時半より總督官邸に於て開催せられたが阿部軍司令官、幣原臺北帝大總長、各局長、州知事、市尹など在北勅任文官、在北軍部上長官、府評議員、民間

有力者など百三十名は定刻前續々官邸に到着、在臺外國領事團林民國總領事、ケワチャム英國領事、グレーヴス米國副領事、ファンデルスター和蘭名譽領事も來場し軈て宴は大食堂に於て開かれたが折柄の雨は披露宴に一入興を添へるもののやうであつた、デザートコースに入るや南總督は起つて

私は嘗て昭和四年に一度本島を視察致しましたが、本島の實際に對する知識は乏しいのであります、けれども我て本島の統治には多分の關心を持ち、又聊か

意見も持つて居たのであります、然るに今回圖らずも茲に大任を拜するに至りました事は私の衷心感謝に堪へない所で、同時に又能く御委託に副ふことが出來るか否やを只管恐れて居る次第であります、本島統治の根本精神が一視同仁の聖旨を汎く衆民に及ぼし四百萬島民をして等しく廣大無邊の聖澤に浴せしむるに在ることは申す迄もない所でありまして歷代總督の施政は何れも之が實現を圖るに在つたのであります、今日本島が各方面に亙つて

異常の發達を遂ぐるに至りましたのも實に之れに由るのであります、私に於きましても此の根本方針に對し微動だも加へるべきでないと存じまして、之に基き諸般の施設を講ぜんと期し居る次第であります、即ち文敎を興して島民の向上を促し或は產業を振興し、貿易を盛んにし、若くは交通衛生等施設を完備して福利の增進を圖り、更に地方制度に攻究を加へて島民の自治能力を發達せしむるに貢する等、時勢に應じ民度に稽へ其の宜しきを制したいと存じ居る次第であります、而も又一方苟も我國體に悖り國運の進展を阻害する樣な詭激不穩の言動に對しましては嚴に戒めて之を

中正に導き、賢しく忠良なる帝國臣民たらしむる事に最大の努力を拂はむとするものであります、之が爲め若し既成制度に不備缺陷がありと致しまするならば躊躇なく其の改善充實を圖るに吝かなるものではありません、要するに私は本島統治上一たび是なりと確信致しまする事に付きましては如何なる情實も制肘をも顧慮せずして斷乎として所信に邁進するの覺悟を持つて居るのであります、今日我邦は誠に多端なる時局に當面して居るのであります、既に帝國自衛權の發動と居留民保護との爲に異常なる決意を以て努力したる結果、今や列國の

誤解も一掃せられ、帝國の前途は洋々として何等の障碍なきことと相成つたのであります、此の時に於きまして帝國の南の領土たる本島に任を承けましたる私と致しましては特に責務の重大なるを痛感し居る次第であります、何卒閣下並各位に於かれましては將來一層の御援助を惜はらんことを切に希望致すのであります

と挨拶を述べ來客の健康を祝して乾盃すれば阿部軍司令官は一同を代表して

今夕御招宴を蒙りました一同に代つて御挨拶申上げます、南總督閣下には御着任早々御繁忙の所にも拘らず本席を御設け下さいまして親しく盛饌に接するを得る榮譽を與へ下さいましたる事に對し御禮を申上ます過去の官歷經歷など凡ゆる方面から見まして閣下の如き立派な總督を迎へ得ましたことは慶びに堪へない所であります、只今はまた親しく閣下より本島統治上の抱負の一端をお聽きする榮を得まして光榮と存ずる次第であります、本島は我帝國領土の最南端に位し島民は渾然融和して大海を小舟に乘つて渡る感があるのでありますから、總督閣下の御指圖によりまして官民一致協力して邦家のため進んで行きたいと存じます、願くば閣下に於かれても御自重御加餐あられんことを祈る次第であります

と大要右の如き答辭を述べ杯を擧げて總督の健康を祝し主客共に歡談に時を移したが午後九時散會した

南總督のけふの行事

南總督の着任第二日たる三十一日の行事は午前十時阿部軍司令官の訪問を受け、終つて登廳、事務引繼（之は今後數日間行ひ）あり十一時半軍司令部に軍司令官を訪問し正午官邸着、午後四時から官邸に官民主なる人々を招き披露の茶話會を開く筈

教諭教授　十二名退官

【東京三十日發電通】三十日左の如く發表された

府專賣局參事兼交通局副參事　丸岡　道夫
免本官兼任府交通局副參事　臺北高等商業教授　田中　誠吉
同　林　恒吉
府師範學校教諭　三木英太郎
公立中學校教諭　大森　國吉
同　奧村　幸嗣
同　小泉　辰一
同　熊谷寅一郎
公立高等女學校教諭　石垣六三郎
同　赤澤竹治郎
公立實業學校長　柳川　鑑藏
同　教諭　坂元　盛吉
依願免本官（各通）
公立中學校長兼教諭

依願免本官兼官　大木俊九郎
氣象臺技師　西村　傳三
任府測候所技師兼氣象臺技師（四等）　宮島　晴
任臺北醫學專門學校教授（七等）
總領事（在ハルビン）　大橋　忠一
依願免本官
大分高等商業學校長　山崎紐久太郎
第二高等學校長　[illegible]一郎
陸軍高等官十一等（各通）

民政黨の政策更新
意見を交換す

【東京三十日發電通】民政黨は三十日午後一時半政務調査會を開き政策更新につき若槻首相の說話に基き意見を交換し

一、現下の社會狀態に鑑み根本的な國策を確立し黨としてのスローガンを決定すべし
一、根本的國策も必要あるがその前に先づ金輸出禁止の下に適切なる具體的新政策を掲ぐべし

との兩說あり、特に具體的政策としては現內閣は既に金輸出禁止を斷行してしかもそれ以上一步も出てないので將來は物價が騰貴し金融逼迫の危險狀態に陷る虞れあり、從つて民政黨の新政策としては物價安定と財界回復のため逃避せる金を回收すると共に更に現在金貨を海外に逃避せしめぬことを主眼とせねばならぬと云ふのである

正式回答國　八國となる
滿洲國の建國通告に對し

【新京二十九日發電通】滿洲國の通告に對しロシア及びリトアニアは一兩日前それぞれハルビン總領事を通じ口頭をもつて新國家の成立に對し好意を有する旨を外交部に通報して來た、之で今日までの回答はイタリー以下八ヶ國となつた

諸國經濟問題會議　來週中に開催

【ロンドン二十九日發電通】フランス首相タルデュー氏は四月四日飛行機でロンドンに來りダニューヴ河沿岸諸國經濟問題會議を開くこととなつたが來週中に開催の豫定である

政友三總務幹事長　藏相を訪問

【東京三十日發電通】政友會の田邊七六、[illegible]、河上哲太の三總務及び山口幹事長は三十日午前九時半首相官邸に高橋藏相を訪ひ、政友會の產業五ヶ年計畫その他重要政策の遂行に伴ふ豫算關係に付き意見の交換を行つた

阿部軍司令官　三十日歸北

中南部地方各部隊隊務檢閱、初度巡視を終へて南部地方を巡察中であつた阿部軍司令官は官內副官を從へ三十日午後三時五十五分臺北驛着列車にて歸北した

辭令（東京三十日發電通）

任府測候所技師　氣象臺技師　西村　傳三
府技師（四等）
兼任氣象臺技師（四等）　西村　傳三
命中央氣象臺在勤

人事

▲笠原國民氏（北支那駐屯軍參謀）來臺中の所三十一日大連に向ふ
▲小池臺北州產業主事　二十九日歸臺
▲陳清秀氏（木屬公司支配人）三十日の廣東丸で廈門より歸臺
▲宮川次郎氏　三十一日出帆の大和丸にて滿洲視察の途に上る
▲小宮臺灣事業官　三十一日午前八時二十六分の列車にて臺北驛發同日基隆出帆の大和丸便乘歸京

シナチク

滿洲國をイの一番に承認したといふエストニアとはどんな國かといふと皮肉にも昔はロシアの一部で同國の西北に位してゐる、その面積は僅か一萬八千平方哩しかなく住民は臺灣の四分の一程度の百十餘萬といふ一小共和國である▲然し小國でもとにかく獨立國家であり滿洲國を眞先に承認したと云ところ案外に國際感覺が充分である、新京政府の要路連は喜んでゐるだらう▲勳二の旭日章が話題に上つた外山中將は[illegible]宮師團司令官が之を應用してゐるが、戰でいへば南總督の外に外山中將は戰史に殘る斯の有名な南滿城西北角の攻擊に陛下の外山聯隊を率ゐて敵を潰走せしめたもので[illegible]たるものがあつた▲濟南城攻擊には[illegible]第六師團が之にあたつて居たのであるが當時の[illegible]旅團を率ゐて[illegible]の戰線を突破して敵の大軍を壓走せしめたのであるが[illegible]であつたことは非常なもので[illegible]としたことものあつた[illegible]隊長といふのが[illegible]たのでバッサリと斬り二人[illegible]すてたとのことだ之は[illegible]出して當時出[illegible]である。

實行豫算原案に　多少數字の變更
追加豫算案の審議決定は　七日の臨時閣議で

【東京三十日發電通】三十日の臨時閣議は午後一時半開會、實行豫算案に付き高橋藏相の說明あり各閣僚と折衝を遂げた結果、多少數字の變更を爲して之を決定し、次で五月中旬臨時議會に提出すべき追加豫算に關し各閣僚より高橋藏相に對し要求を行つたが高橋藏相は之に對し七年度豫算は前年度豫算を蹈襲せる結果赤字補塡を公債に依つて行ふ外ない、而して最近の傾向において歲入に多少增收の曙光見えて來たから、政府として產業方面に若況を與へたならば八年度には赤字を出さぬことが出來ると思はれる、斯る財政狀態に置かれてゐるのであるから追加豫算に就てはその財源上各省の期待に副ゆることは殆んど不可能である、勿論緊急にして國家の財政經濟に若況を與へる必要なる產業政策に就ては如何にもして財政を考慮したいと考へてゐるが、各省のその他の要求に對しては今直ちに回答することは出來ないから今後大藏省と各省と折衝したいと述べ四月七日臨時閣議を開き追加豫算案を審議決定することとなつた

實行豫算の大綱

【東京三十日發電通】三十日の臨時閣議は各大臣の閣議要求豫算案に對して遂に追加豫算を決定し得ず、實行豫算の大綱のみを決定したに過ぎなかつた、更めて一日の定例閣議で實行豫算決定後の決定を行ふ筈であるが、決定せる實行豫算の大綱左の如し（單位千圓）

歲入

經常部	[illegible]
臨時部	[illegible]
前年度剩餘金繰入	[illegible]
公債金	[illegible]
計	[illegible]

歲出

經常部	[illegible]
臨時部	[illegible]
計	[illegible]
差引歲入不足	[illegible]

歲出各省別

	經常部	臨時部
皇室費	[illegible]	—
外務省	[illegible]	[illegible]
內務省	[illegible]	[illegible]
大藏省	[illegible]	[illegible]
陸軍省	[illegible]	[illegible]
海軍省	[illegible]	[illegible]
司法省	[illegible]	[illegible]
文部省	[illegible]	[illegible]
農林省	[illegible]	[illegible]
商工省	[illegible]	[illegible]
遞信省	[illegible]	[illegible]
拓務省	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

新實行豫算における公債財源左の如し（單位千圓）

人が言ふか　男女學生は斷然國益靴
運動靴
通學靴
世界一　マルK　嘉納
[illegible]

◆四月一日ヨリ五日間
愈々洗練された
夏物新柄大賣出し
今年流行の新鮮な色彩、品のよい柄のよい優良品を廉價に取揃へました
●十錢均一ストアー設置
賣出しのお土產として業界の尖端をゆく
特價奉仕品
手拭中形　一反　五十錢
東京染浴衣地　一反　九十五錢
モス著尺　一反　[illegible]
黑朱子帶　一本　[illegible]
銘仙　一反　[illegible]
錦紗小紋　一反　[illegible]
特製足袋　[illegible]
特賣　蛇の目傘　一本　八十錢
近江屋吳服店
臺北市京町　電話二四九八番

國民の生活線をおびやかすボウトウ鎭壓の爲に
◎我國の生命線は忠勇義烈なる皇軍に依つて確保せられました
◎止むべからざる物價のボウトウは今や我國民の生活線をおびやかしてゐます
◎買ひ煽り居る方々に賣り惜みをして生活必需品を不自然に暴騰せしむる者は[illegible]
私共は商賣に報國の誠意を以て物價ボウトウ抑制の爲に半額以下の感激發奮賣出しをさせて頂きます
◆四月一日ヨリ五日マデ
井の感激發奮賣出し
感激大奉仕品
新柄浴衣地　[illegible]
東京浴衣地　[illegible]
モス・小切レ　[illegible]
婦人子供服　[illegible]
キャラコ・天竺　[illegible]
ノーブル足袋　[illegible]
臺北京町
藤井吳服店

四月一日より五日まで
◉夏物荷揃大賣出し
あらゆる服飾藝術を網羅して一九三二年の流行は華かに展開されています
正絹ツボミ錦紗宣傳大會
宣傳のため發賣元より一反毎に特別景品進呈
新柄つぼみ錦紗著尺　一反　六圓八十錢
◉實用浴衣地大廉賣會
特別大奉仕品
手拭浴衣地　一反　二十五錢
松井石輪浴衣　[illegible]
同　[illegible]
モダン婦人服　一枚　[illegible]
タオル寢卷　一枚　九十五錢
防水マント　一枚　八十錢
東京高中形　一反　七十五錢
絞後染上布　[illegible]
モス著尺　[illegible]
本場銘仙　[illegible]
臺北市榮町　京町
松井吳服店
電四一一一・二二四五・二七八四

臺南市營洗濯所開所式に於ける淺村市尹の挨拶

溺死の漁夫 六名を乘せた竹筏
灣裡沖で救助さる

【高雄電話】高雄市哨船町日向吉郎所有の發動機漁船實榮丸は廿九日午前四時半頃高雄を出港し臺南州灣裡沖合で漁撈中遭難船らしい一艘の竹筏を發見近づいて見ると竹筏上には半死の狀態になつた本島人漁夫六名が横たはつてゐるのでこれを救助して船內に收容手當を施す一方竹筏を曳航して三十日朝高雄港に歸港かくとその筋に屆け出たがこの遭難竹筏は去る二十六日灣裡を出たまま行方不明となつた臺南州新豐郡永寧庄蘇大綿外五名乘組のものと判明した

畑の境界爭ひから 鍬を揮つて卽死さす
口湖庄日中の慘事

【臺南電話】二十九日午後二時頃臺南州北港郡口湖庄牛尿港部落西南方三丁の畑中で殺人事件あり被害者同所李春（三[illegible]）は鍬で前額部に一撃を喰ひ卽死したもので加害者は同所一六四李老（五[illegible]）と云ひその足で直ちに新港派出所に自首したが、原因は畑境界の事で口論喧嘩の末であると

市場と驛を根城の 二人のスリ捕はる
いづれも年若き曲者

【嘉義電話】嘉義市西門町三ノ八蔡水龍（一七）は幼少よりスリ專門で嘉義市中の持て餘しものとなつてゐたが二十九日午前五時頃市內西市場內にて擧動不審の廉で嘉義署の吉村刑事に逮捕され取調べの結果二月上旬より今日迄同所及び東市場內を根城として東石郡布袋庄布袋五七黃水逃外八名より金品約（十圓）をスリ取つた事判明目下取調べ中であるが、同日午前一時頃には右黃刑事の活動により外に本島人陳某を逮捕し取調べた所之亦スリ專門の斗六郡斗南庄斗南五二七陳大助（二〇）と云ふものと判明し嘉義驛構內を始め各所の驛構內にて乘降客よりスリ取つてゐた事判明目下取調べ中

新竹州辭令

新竹州にては二十七日から二十九日の三日に亘り左記小公學校訓導以下七十二名の異動を發表した

新竹三公訓導　杉本省三
通霄小訓導　森山秀男
大湖小訓導　桃井昇導
補新竹高等女學校敎諭
依願免本官

高雄州の定期昇給

【高雄電話】高雄州では三十一日付左の如く定期昇級を行つた

二級俸　敎諭　小林敏郎
四級俸　敎諭　野中松平
外一名
五級俸　訓導　石井張太郎　外二名
七級俸　訓導　臼杵知十　外一名
以下訓導七十名
三級俸　技手　平林愛民　外三名
四級俸　囑　山科忠次
五級俸　警部　袋井青之輔
六級俸　囑　尾方助內
警部　荻信一
外囑二十六名

魚市と野菜市場 蒔裡灣で白魚の大漁
澎湖に史蹟を探る……（九）

あくれば三月八日早朝馬公の市場に行つて見る、魚市の方には長さ六尺にもあまるマグロや鰆、大鱶などを盛んに陸揚げして居る

◇…蘭人 が此の島をアイランド・ピスカドア（漁夫島）と命名したのも無理はないと思ふ、野菜市場には大根、菠薐草、たまな、白菜など山の如くに積んで居る、殊に大根は臺灣本島には見られぬとても大きいふといもので時には之を共進會に出し、內地大根の走りと銘打つて出すこともあるとか、餘りの立派さに一本を買うて宿に持歸り風呂吹き大根に拵へてもらつて舌鼓を打つた、內地人の努力に依つて今やこの離れ島も

◇…野菜 飢饉から全く救はれることになつたわけである。

この日午前九時出發臨の自動車で大森警察署內の下に、風櫃尾半島井子垵の清國時代の砲臺跡を見に行く、半島は澎湖本島と大きな灣を隔てて東南に位するもので、馬公から約二里、菜園、嵵裡海岸、鐵線尾觀音亭を經て井子垵の海岸に行くと、砲臺跡があるが、今は殆ど何もなく、それと聞かねば少しもわからぬ位のもので、素より大したものではない、それより少し進むと嵵裡の部落がある、ここは一の小灣を成して居て蒼松は無いが一寸の

◇…白沙 に、ただやかなチョロ〳〵波が打ち寄せて居る、灣形も湘南の「由比ケ濱」と言はれるだけに海水浴には持つて來いの場所で夏場には老若男女が盛んにやつて來るといふ、丁度一行の行つた時は村の漁夫が大勢出て地曳き網を曳いて居た、古村君の指さすままに見るとその漁夫の中には例の和蘭の子孫と覺しきタイプの男が三四人も居た、網には鱗かさはらかと思ふと、さにあらで手に取れば溶けて消えさうな白魚が一杯入つて來たのも面白かつた、風櫃尾の尖端には俗に蛇頭半島に恐山があるやうに其の名も紅蠻山といふ

◇…草山 のとツタクリの如く禿て居るが、要塞地帶なので入れぬことになつて居るので遠くから見ただけでその儘引き返し正午頃に歸つた、午後は加藤君と共に島の煙草耕作人たる稲田岩一郎君を訪うて煙草のことについていろいろ聞いたが、矢張り不景氣の影響を受けて賣行の惡いのを歎つのであつた、偶々應接間に本島特一種の珍動物、大小二つの穿山甲の剝製を飾つてあるので、澎湖にも居るのかと聞くと、これは嘗て恒春で同じく煙草を賣つて居た際ふと親子の穿山甲一匹を手に入れて飼つて居たものだといふ、此の動物には大きい

◇…鱗が 全身を蔽りて居り、そのすべての鱗が立てて丸くなつて眠る。そして此所から甘い枯液を出すとその香りに誘はれて蟻共が手とは知らずにたかつて來て身體全部を蔽うてしまふ。時分はよしと頃合を見計らつて立てた鱗をグッとしめて蟻を壓殺しそれを食ふ。これが[illegible]り世渡りの術である。若し又た外敵が來たと見れば頭も尾も腹部に丸め込んで突然固い殻を張つた球となるので敵は手の出しやうが無くなる、生くるの道と防身の術を夫れ〳〵賦與した神の攝理誠に妙味があるものだとシミ〴〵思つた、此の動物は將に亡びんとする本島特殊の珍動物、これは是非法の手で

◇…保護 する必要があらう、話は横道に外れたが、それより三浦街長を街役場に訪ひ更に郵便局出張所をも訪うた（黃鳥生） 寫眞は下士集會所

新竹州自動車 組合賃金協定

新竹州自動車組合にては二十八日午後二時から總會を開き五年度決算と七年度豫算賃金協定等を附議し運轉手九名の表彰を行つたが自動車は五哩迄一哩毎に四十錢、十哩まで三十五錢、十哩以上三十錢、客待ち時間十分以內無料三十分まで五十錢以上一時間毎に一圓と云ふ事に協定した

開城丸送別會

高雄馬公間の定期船開城丸は四月以降は寶龍丸と交替するので今日迄經險なかつた同船最終二十六日午後三時から松島記念館に於て大岩船長、伊藤事務長其他高等船員を招待して馬公官民は盛大なる送別會を開いた席上主人側に金子郡守、木間醫長、木全大隊長、三浦街長、松永要港部先任參謀、鎮海副官、士平參謀、黑崎病院長等を始め地方官民多數であつた

臺中で公開する 映畫 肉彈三勇士
三十一日夜幸倶樂部にて

【臺中電話】臺中幸倶樂部では過般來北新公館で本社が公開した肉彈三勇士の當時の猛烈な攻撃戰の映畫其他を三十一日夜七時から同倶樂部で映寫するにつき多數の參觀を希望すると

大看板の下で 詐欺横領を働く

【屏東電話】鳳山街草店尾二二二南部商事株式會社支店と稱々たる大看板を掲げてゐた陳某（三[illegible]）は假取立や土地ブローカーで鳳山、潮州、恆春の三郡下に亙つて多額の詐欺横領を働いてゐることが此程發覺し三十日屏東署刑事課に捕致目下取調べ中である

六噸積トラックも 通れる大鐵線橋
裏南投道路に架設

【臺中電話】裏南投道路の烏牛欄の鐵線橋は四萬二千百八十圓の工事費で三月初旬から工事に着手したが竣功は來る七月下旬の豫定にして橋の長さは百十八米幅は五米で自動車も貨物自動車六噸迄は自由に通行し得るものであると

嘉義郡の優良庄 區委員表彰式

【嘉義電話】嘉義郡では三十日午後一時より會議室に於て管內各庄優良區委員表彰式を擧行し佐藤郡守より次の諸氏に賞狀を授與し來賓代表大林庄長蔡本火氏の祝辭、受賞者總代吳老牛氏の答辭ありて同二時盛況裡に散會した（水上庄）黃大招、陳清財（民雄庄）陳朝宗、吳老中（新港庄）黃章、黃嘉財（溪口庄）張讓、游天（大林庄）江福、張李走（小梅庄）吳春長、謝茂林（竹崎庄）李頭茲、林森（番路庄）張添、許友明（中埔庄）張新興、方富

霧社事件記念碑
石材は內地から取寄せ 近く建設に着手

【臺中電話】霧社事件の記念碑は種々の事情に制せられてそのままになつてゐたが埔里霧社間自動車道路改築のため通路不便だつた霧社方面に實地踏査のため入山してゐる臺中州土木課の所屬隊の手で同記念碑の建設に着手する事となつてゐるが場所は霧社分室後方高臺武德殿の所で工事費三千圓で記念碑の石材は內地から取寄せる事となつてゐると

初網入れ

【花蓮港電話】花蓮港に於ける本年度初網入れは漁場は二十二ケ所去月十五日頃加禮宛灣の平山漁場で初網入をなす豫定であつたが天候の都合で三十日初網入をなす由同年昨年殺人發覺の爲め閉鎖された大港口の漁場も本年開場すべく目下準備のため中田技手が出張中である

寄附金を 横領消費
取調べらる

【高雄電話】高雄市堀江町一丁目[illegible]は高雄在住の臺南州出身者をもつて組織されてゐる臺南州人會の會館建築委員を委囑されてゐるのを奇貨として、昨年六月市內堀江町外四十三名が寄附した建築資金七百八十圓餘りを横領して自分が經營してゐる精米所の營業資金につぎこんでゐた事が發覺しこの程身柄不拘束のまま州刑事課の手で取調べを受けてゐるが一兩日中に高雄署に留置さるる模樣である

花蓮港の ラヂオ勸誘

【花蓮港電話】臺北放送協會からラヂオ普及部員が花蓮港へ出張中であるが花蓮港、鳳林、玉里、馬太鞍の各地で三十日までに新規加入が七十臺の豫約申込があつたで花蓮港にて近日中二百臺に達することは容易で漸くラヂオの普遍化に入るであらうと係員は語つてゐた

氣遣はれた 出漁竹筏
無事と判明

【臺南電話】竹筏で臺南州東石沖へ出漁した儘歸らず遭難行方不明を傳へられた臺南州新豐郡永寧庄官佃一九七三蘇大綿外五名及び同庄下湖鶴七一八陳港外十四名は三十日夫々高雄港並に臺南州北門郡下及び澎湖島へ避難したるもので乘組員全部無事なる事が判明した

中壢の郡守
歡迎會計畫

【中壢電話】新任中壢郡守の歡迎會は郡下街庄長發起の下に來る四月三日正午中壢公會堂に於て開催するが會費一圓二十錢出席希望者は一日までに街役場へ申出られたしと

高雄州下 新校長任命

【高雄電話】高雄州では三十一日附州下小公學校訓導六十五名に及ぶ可成廣範圍の異動を行つたが主なるものをあぐれば次の如し

命阿蓮公學校長　本名賢隆
命右沖公學校長　岡嶋恩正
命社皮公學校長　尾山光雄
命高樹公學校長　吉利重隆
命長興公學校長　坂本源吉
命樹管公學校長　千頭直行
命里港小學校長　石井久太郎
命新北勢公學校長　中野義

屏東の送別會

【屏東電話】屏東郡[illegible]に於ては前佐賀郡務部長の送別と新任の鳳山郡務部長の歡迎をかね三十一日午後六時から屏東會館で歡送迎會を開催すると

―スケッチ―

新竹中學 合格者

新竹中學校に於ける七年度入學試驗合格者は左の如く受驗者三百六十一名中九十名で四人に一人の割合になつてゐる（受付番號順）

呂時[illegible]、林丹祥、木上正展、波逢省一、黃逢發、劉宗興、宋謙賢、古河昌[illegible]、蕭瑞麟、施佳成夫、可宮嶋、平山宗之、陳錦昌、[illegible]、張新發、陳錦川、秦山多利[illegible]、謝武興、黃榮泉、蘇冰欽、[illegible]、周陽榮、黃澤[illegible]、吳欣[illegible]、翁德知、李榮波、陳作森、陳鏡波、吳源福、吳安瀾、張炳侯、杜錦如、蕭振興、楊金海、林玉[illegible]、葉永彬、林福祥、杜懋生、張俊火、細野悦、河上德市、馮潤泉、成山八郎、辻兌己、大石田茂、向井太郎、片寄晴之、片山文一、禮鈍貴、吉岡宗男、飯田清重、宮原正義、成瀬哲郎、李追節、小川茂、鎌田昌三、木下登、關田正實、水野忠、面川勝人、三角務、金子太刀雄、相原宏一、余振川、松井重榮、黃乾來、陳開傳、出島廣良、澤田成二、梁一彥、谷口里男、中山瑞郎、豆田哲夫、南條和夫、影山敏夫、長島利郎、川上浩正、陳[illegible]勳、森高彥、河野準一、松崎明、松橋茂良、富岡金一郎、友田爲夫、蘇世昌、龜山春國、青木恭之助、佐々木恒雄、張興和、呂榮初

臺中の競馬會
四月二、三兩日開く

【臺中電話】臺中の春季競馬大會は四月二、三兩日の土曜日曜と九日十日の土曜日曜の兩回に分けて行ふ事となり練兵場の競馬場も從來の圓形を今回は楕圓形に新造し內地で購入した新馬十五六頭參加する事となつてゐると

―生れ出た―
嘉義小唄と 嘉義行進曲
四日『嘉義の夕べ』で放送

【嘉義電話】嘉義記者團で來る四月四日臺南放送局開所祝賀の『嘉義の夕べ』放送に當り夾竹桃の妓達をして放送せしむべき嘉義小唄、嘉義行進曲の歌詞を懸賞募集中であつたが、廿八日を以て締切り、應募者六十二名に達し二十九日午前九時より市役所に於て審査會を開き午後三時まで慎重銓衡の結果次の通り入賞者及び入選歌詞を決定發表した

嘉義小唄

二等賞　高雄　中川亀一

一、花が見たけりや阿里山櫻、深山紺霧にしつぽり濡れて、咲いた香のよさ色のよさ
二、男冥加に一度はおじやれ、嘉義は色街美人の郷よ、一日一よさ三味や絶えぬ
三、路ご來さもお目見え次第、嘉義を境の北回歸線、温い日もありや冬もある
四、嘉義の製材所東洋一よ、挽く木伐る木も杉や松お役らぬ御殿柱の檜材
五、阿里山登るなら盛夏の盛り明けの雲海風吹き上げて、凉も冷えるが身も冷える
六、七ツ八曲り阿里山鐵道、ポッポポッポで嶺山越えりや、積んだ檜に霧が降る
七、夏の阿里山極樂境よ、渡る紅檜の風冷え冷えと、響も長閑にきこり唄
八、朱に夏に丹色の扉、飛ぶ人變ゆる奧庭が囀にや、香の煙が絶えはせぬ
九、嘉南大圳に湛へた水は何千何萬甲の田に引く水よ、千町り續こと潤れはせぬ
十、男裝上新高山は山も數ある高砂島で秀でて高さも日本一
（御西小唄の曲）

嘉義行進曲

二等賞　臺北　渡邊いさお

一、忍の西門色小町ちよいと誰れたの合傘に倚つくした美人郷美人郷
二、登る阿里山山の汽車、霧ら社も窓の下、雲の上行く神秘境神秘境
三、進ぶ新高手を取つて一萬餘尺の嶺伸び解いた谿から花が咲く花が咲く
四、[illegible]女の流林檜材解けたばかりに賀られもしやう探つて見やんせ奧深い〳〵
五、山の娘の戀の色誰に咲いたか緋櫻の月に口笛吹くばかり吹くばかり
六、霧社のためと散つた瓣義人興國の樹も赤紅く染つた色ちやもの色ちやもの
七、流す[illegible]かパッと散る嘉南大圳の親心受けて喜ぶ清水〳〵
八、登い所と捲くしたて知らず回歸の線しるし高く見えるも汽車の窓汽車の窓
九、廣い裸中金財布出してつきない黃金花米と砂糖の山ばかり山ばかり
十、嘉義はよい〳〵美人所木の香都ちや稀な所何日も木遣で日が暮れる〳〵

因みに審議の上一等當選者の選定を見合せ右の外三等各一人佳作小唄の部七名進行曲の部六名選定された

金箔付の 不良少年

【嘉義電話】嘉義市東門町八ノ四李金城（二[illegible]）は金箔付の不良少年であるが數年前より各所で竊盜を働いてゐた事發覺し二十九日午後五時嘉義市內東市場にて嘉義署の吉村邱兩刑事に逮捕され取調べの結果昨六年十月一日より今日迄市內北社尾四七七邸宅外十二ケ所より現金三百餘圓を竊取した事判明した

花蓮港より

▲東臺灣勝地宣傳協會が創立されその發起人會が開かれ第十九條よりなる會則と正副會長の選擧が行はれたさうして理事や幹事や評議員などは會長の指名一任に決した▲發起人會で問題となつたのは協會の名を東臺灣勝地宣傳協會とか勝地といふ字句を太魯閣峽と改めるとか宣傳といふ字は感じがよくないといふ議論もあつた▲內地では公園協會とか保存會とかいふ名稱が用ゐられてゐる、タロコはこれから生れやうとする場合であるから將來適當に改める場合あるを豫想して原案可決▲公園學者田村博士の見解ではタロコを中心とした公園地帶を北部の東海岸から宜蘭、蘇澳、臨海道花蓮港から中央山脈を經て臺中に出る範圍を包擁する大規模とある▲だから東臺灣勝地といふ大きい名稱の必要が生じた譯でまたこれを宣傳するのが協會の仕事で會員は廳下全部を範圍としその經費は負擔せねばならない▲會長は淺野廳長、副會長には宮崎街長、從來盡力して來た梅野清太郎氏が就任したが各支部には地方幹事や評議員などが置かれる、近く會長から指名推薦される▲タロコはかつて我社の臺灣八景投票に當選した歷史もあるので地方官民の意氣込みは素晴らしいもので今後の協會の活動振りが頼もしく思ひやられる

臺中ニュース

◇【臺中電話】臺中第三大隊初度巡視中の外山守備隊司令官は三十日午前八時臺中發臺北に向つた

◇【臺中電話】臺中第二中學校では新入學生百名の入學式を來る四日午後一時から擧行すると

◇【臺中電話】大阪三越では來る四月一日二日の兩日臺中公會堂に於て新流行品の出張販賣をなすと

龍潭

▲龍潭分室勤務の巡査部長徐秀灝氏は今回臺北警官練習所甲科へ入所の爲有志發起の下に二十九日午後四時龍元宮に於て送別會を開催當日會する主なるものは龍潭庄長黃聯役場職員分室主任坂元郵便局長、翁軌道所長、小山田首席訓導、邵公醫外百餘名あつて六時頃盛會裡に散會

埔里點滴

▲令名のある川村龍武公學校長は今回大湖公學校長に榮轉其の後任は桃園郡南崁口校長で川村校長の爲に三十一日午後四時能高大官に於て盛大なる送別會を開催

△「最新流行一九三〇年式新柄」と銘うつた呉服の出張大賣出しと云ふ宣傳ビラが舞込んだ、冗談ぢやない、何度山の巾の埔里だつて今年が西曆一九三二年であることに變りはない、一九三〇年式新柄だつたらもう古柄だ、それでも出張賣出しの店頭には相當の婦人客が殺到した模樣、やがて一九三〇年式の新柄？を裝つた御婦人方が街內を濶步し給ふことであらう

△魚池郵便局は昨年十一月三日新設され御米殿住出で事務を執つてゐたが先般來分室構に局舍を新築漸く竣功したので四月三日落成式を擧行の運びになつた、魚池け新築、埔里郵便局はお化粧のやり直しをやり兩者とも新裝氣分で局員大車輪で活躍すると

△埔里小學校は四月一日午前九時

桃園

[illegible]から入學式を[illegible]九時から入學式を大々的に擧行の豫定

▲千八百八十三上下ともに[illegible]伊東[illegible]は在任僅か一年九ケ月であつたが敎育及社會敎化方面に殘した功績は實に莫大なるもので今回新竹女子公學校長に榮轉したが郡民一同痛惜してゐる▲桃園街役場では昭和六年度にかける納稅優良區表彰式は三十日午前十時より役場樓上にて內田街長、市助役臨席の下に擧行したが表彰された區は左の通り▲中路第三區▲大檜溪二區▲埔子二區▲埔子四區▲大樹林一區▲[illegible]區▲中路二區▲小檜溪一區▲大樹林二區▲桃園街の桃園農會、國語講習所、國語練習所の聯合修了式は二十八日午後二時より公會堂にて郡守代理伊東[illegible]、[illegible]山北他多數臨席の下に擧行されたが終つて祝賀會に移り盛會であつた

花蓮港 濤聲

◇タロコ峽を中心とする國立公園候補地の宣傳協會が二十九日夜昭和館で創立會が開かれ東臺灣勝地宣傳協會と名稱して誕生したこの協會の仕事は國立公園たらしむるための調査研究宣傳施設これが運動等であるが地元の人士は常に物に馴れすぎてゐて一向に地方の有する勝景に對して關心を持たない國立公園の候補地と云ふことになり近く田村博士が觀察のため來花すると言ふ際になつて火の付くやうな騒ぎを演じてゐる◇然しいづれにせよこの度の勝景宣傳協會の創立に對しては誰しも見られたのは愉快であつた勿論國立公園は全國的且つ國際的な大きな問題であつて花蓮港にとつては或は築港以上の開發策となるかも知れぬ重大問題であり研究問題である◇この宣傳協會なるものの成立は敢て大終局か國立公園に入選すると否とによつて左右されるものでなく先づ最初は國立公園の實現のため全力を注ぐとして其後に於て一萬尺以上の高山を二十以上も有する日本一の高山國としてこの山嶽を紹介宣傳に努め又登山熱を高める事は國立公園問題を超越した永久の問題であるから郷土の誇りとして山嶽に對する研究宣傳をもつと徹底せしめる必要があらう◇日本山嶽會員理事マレーウオルトン氏が嘗て花蓮港の山を踏つてはじめてアルプスと言へるんだと花蓮港の山嶽美には折紙をつけられてゐるのである

廣告

內科・外科・產婦人科
齒科・レントゲン科
嘉義 同生病院
院長 醫學博士 鴨田久四郎
嘉義市驛通り 電話一〇六番

生徒募集
財團法人 私立 臺南長老教中學
第一學年約百十名　第二學年若干名　出願期限 四月四日
豫科 約六十名　試驗時日 四月五・六日
試驗場 臺南本校、臺中[illegible]堂、試驗科目（國語、算術、一般的知識）
願書用紙入學案內、貳錢郵券封入請求ノコト

生徒募集
私立 臺南長老教女學校
本科第一學年 約四十名　出願期限 四月三日
豫科 約五十名　試驗時日 四月五日
試驗場 臺南本校
願書用紙入學案內貳錢郵券封入請求ノコト

東亞の謎

(231)　作者　國枝史郎　畫家　伊藤順三

四組の自動車隊（一）

自分達を苛め指めた色達彪が、その自分達をうちやつて、地図を持ち去つたといふからには、その地図が重大の物である——といふことは次郎にも解つた。と、夫れに關聯して、小孩子の肌にあるといふ重大な地図、その地図のことが想起され、それに續いて持ち去られた地図が、その地図の寫しではあるまいか？——といふことが想起された。

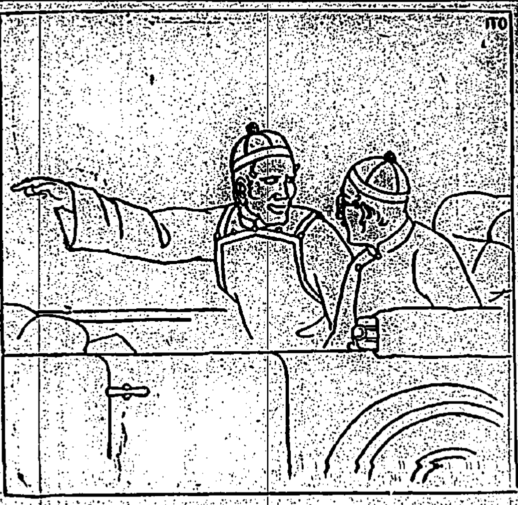
そこで次郎は手短かに、地図のことをダツトに話した。どうして孩子がその地図を得たか？まづこのことを手短かに話し、その地図を色達彪が持ち去つたことと、それに對する意見とを話した。

ダツトの表情は見る見る變つた。

「地図だ！その地図だ！さうして無いと！その地図を取り返さう！」

二人は戸外へ走り出た。

一つの露路へ走つて來た時、二人は異樣な光景を見た。



タンヌがピストルで射殺され、チングがこれもピストルで射たれ今にも息を引き取らうとしながら、ダツトと次郎との姿を見ると、

「巴林だ、やられた！あいつらにやられた！……巴林に孩子さんを奪はれた！」

かう叫んで死んだ事であつた。

× × ×

東孩子の鹵門から自動車が三臺沙漠に向つて駛り出したのは、その翌日の朝のことであつた。

一臺の自動車に乘つてゐるのは、巴林とさうして孩子であり、もう一臺の自動車に乘つてゐるのは、色達彪と彼の部下とであり、もう一臺の自動車に乘つてゐるのは、色達彪の數人の部下であつた。

× × ×

同じ日の夕方同じ東孩子の、同じ鹵門から沙漠を目差し、一臺の自動車が駛り出た。

ダツトと次郎とが乘つてゐた。

× × ×

同じ日岸倫とはかかはり無く、但し同じ方向の沙漠を、二組の自動車隊が駛つてゐた。

その一組に乘つてゐる者は、總下與と南部正雄と、泊の宿人の小孩子であつた。他に沙漠案內人が相當多數乘つてゐた。

他の一組に乘つてゐる者は、武村傳三と秀仁與と、武村の部下の吉五郎と、[illegible]の部下の支那人達であつた。

× × ×

四組の自動車隊が駛つて行く〳〵。

× × ×

春の沙漠は陽氣であり、美しくさへあり晴々しくさへあつた。大きな雲の影が砂の海へ映つて、ところ〴〵斑をつくり、其の斑が移つたり消えたりした。數萬匹の野鹿の群が、砂の色を茶色で彩ひながら、一地方から他の地方へ——食物の草原を發見するために、移動を敢行するのに、時々ぶつかることがあつた。野鹿に驚いた山羊が斷崖から、自動車を自分達の敵かのやうに思つて、角を振り立て襲つて來た、鷲の群に襲はされたりした。

四組の自動車は駛つてゐた。自動車の人達は根本に於ては、一つの大きな目的に向つて、突進をして行くのであつたが、直接の目的は四組ながら、各自みんな異つてゐた。

廿三ヶ月待て來なかつたが

景氣はいつ來るか（下）

めぐり巡て來る事はたしか

太田正孝

景氣は二十三ヶ月待つて出て來なかつたがめぐり〳〵つて來る事は確かである

「大正年間」は不景氣であつたが、ヨーロッパが戰つて染料が來ない、すると染料の値段が高くなつて來たので、自分で染料會社を作つて儲けた成金が殖えた、國家の財政も殖えて軍備は擴張され大隈內閣の時は八四艦隊の議が起り、寺內內閣には八六艦隊の[illegible]ら下り坂となり、ヨーロッパの大戰は止み歐洲から安い品物が入つて來て、日本の仕事は駄目になり漸次この狀態が緩和されて來たが幸ひにしてまだ不景氣の所まで行かずにあつた、この點について「日本の景氣は乙女の所まで來た、休戰の所で「大變だ！」と云つて渦木に[illegible]富士の頂天まで驅け上つた、之が大正九年三月の事である」—と故井上氏がうまく形容してある、やがて景氣の頂天を越えて先づ[illegible]の茂木家が倒れそれからどん〳〵下つて、國家の財布も縮めなければならなくなり、その最初は高橋內閣の時である、少しづつ下る中に關東の大地震は起り、須走口はおろか、更に下りに下つて琵琶湖の畔まで來てしまつた、國民はどうしたら上る景氣の線になるかといふ點で議論が噴出した

「景氣の上」げ方にも色々あつて、[illegible]が頭を上げた位の景氣か？それとも九天に向ふ景氣の如くするのか？緊縮した方がいいと云ふ學者と政治家がある、又相當の力に於て伸ばさなければならないと云ふ人もあつた、[illegible]以前から金解禁をした人もあり、之も結構であるが、この金解禁は丁度入婿のお金さんが嫁に行くのと同じ理由で失敗に歸したのである

十圓札には「この券引換へに金貨十圓と引換へ申し候」とあるが之を持つて行くと金貨にかへてくれなかつた、この時はお金さんがおかつた、金さんたる役目を果してゐなかつたが嫁入りをするやうになり十圓札を持つて行けば金貨が貰へるやうになつた、嫁入りには仕度が必要で、金そのものの値打には變りはないが日本の圓の値打は日本が外國から品物を多くすれば下るのである、例へ正金銀行に行つてアメリカから綿を買ふから弗を買つてくれと云ふと、その買ひ高が多くなればなる程、弗の値は高くなる、物は少くなると高くなつて二十弗の金が百圓、約五十弗に當つてゐても輸入が多くなると「恐らくは百圓持つて來るならば五十弗賣つて上げたが、今度からは百二十圓持つて來い」と云ふ

「國の力は」一國によつて表はれて來る、金解禁をしてもその人が立派であれば離緣話は出ないが、商は百圓が五十弗の値打がなくて、四十弗のものでしかなかつたものを、五十弗にしておくと金の値打が二割上つたとすると千圓のものは千二百圓拂はなければならないと同じで、日本は苦しくなつたのである、世の中は金と物との睨み合ひで金の値打が下ると、五圓のものは六圓となり、物が上ると金が下る、金解禁で金の値打が上り、物は十圓のものが八圓になり物を作る人は非常に大損となつた、十圓にしてゐたものが八圓になると暮しが苦しくなる

不景氣は三つの時期に分つ事が出來る、第一期は仕事をする人間（農工商）が品物を賣らうと思つても賣れない、何にも賣れなければ使つてゐる人が不必要となつて「失業者が」現はれる第一期は事業家受難時代であるが第二期になると失業者勞働者受難時代に入る、第三期に入ると金を貸した人が困つて來た、貸した金が取れない、コゲツキで、金融者受難時代である、かくの如く景氣が循環されない一つの原因として金解禁の問題がある、そこで金再禁止が行はれた、從つて物の値が上つて來た、本當の値打のある金であれば、下げやうと思つても下りつこはないが、金再禁止によつて正當のところまで下げ、物の値も下り過ぎたものは本當な所までに上げます、問題は非常に複雜して來るが世の中は買ひ手から云ふと、物價の下るに越したことはなく作る側の農工商になると下つては困るのである、世の中は一つの所許りで考へる事はいけない、物事は全部の人にぐる〳〵廻轉するから、下り過ぎたものを正當に上げて行く所に之に關係したものから金が廻つて行くのである

年金公債だけで生活する人は金再禁止は迷惑ですが、それ以外の山の「勞働者が」働けて、漸次景氣が出て來るのですから、年金だけで食べて行く人は減つて來て、さう云ふ人達は働かねばならなくなります、品物を買ふ人がなといひますが人間はこの世の中に來たのでいい着物を着たい、うまい物も食べたい、音樂も聞きたいのであるから、それを行ふ事は惡い事ではないが、買物は上手にしなければならないのであるが、品物を買はないと金が廻るやうであるが然らない、廻るものは品物だけで、貯金は殖えたものの、金解禁をしてから解禁前より十億圓も金は減じて居る、イギリスのケインスは一日に五シリングの物を買はなければイギリスには失業者が出來ると云つて居る、物を買はねば商賣が中止され、入る金の元までなくなつてしまふ、故に景氣は物を買ふ人間のある事が必要で同時に買ひ方の上手といふ事も大切である、勿論物を買はなければならぬと云ふのでなく働いて買ふ所に人類の向上があると思ふ（完）

身の上相談

相談相手もなく煩悶に陥る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい面談や面會はお斷りします

妻のある男から誘惑されて

私は中部某都市の女學校を卒業後暫く家事を手傳つて來ました今年二十歳の女子で御座います、私が學校を卒業する時分にケイ郎が時々遊びに來ました、母は彼を私の兄と言ひ私の遊び相手としました、私は兄のある事を嬉心に喜びうれしく思ひ兄と思つて交を厚へられたり色々世間の話を聞きました、その親密さが過ぎてゆく中に彼は異性に對する秘話などをきかせ將來を約束させました、然るに彼は妻のある身分です私と結婚する事は道德上から許されるでせうか、此の事が最近母の耳に入り母は責められてゐますが神前の誓ひを破るのも恐ろしいし先生私はどうすれば宜しいでせうか（悩める女）

神前の誓でも不正故斷りなさい

あなたの考へが足らぬための過ちと申すべきでせう、妻のある男と將來を約束するなどといふ事は、彼から誘惑されたとてどうして考へられたのですか、母親が兄さんとして紹介したのも妻のある男故に安心したからでせうそれにしても心の弱い少女を誘惑する彼といふ男は甚だ怪しからぬ人間です、彼ら神前で誓つた事だとて人間の道に外れた事を誓つたのは間違ひです、間違ひは改めねばなりません、また然ういふ惡しき男に誓ひを立て貰ける必要もありません、そんな約束をする前に一寸母親に相談すれば好かつたと思ひます假令男の方へ斷つて貰ひ之からは間違ひのない樣に充分お氣をつけなさい（係）

臺灣兒童の內地見學

第十二信　三月二十二日

昨日までの忙しい見學の疲れを癒すため豫定を變更して今日は鎌倉を見學することに手配りしました。始終天氣に惠まれ勝ちの旅は今日また[illegible]の小春風ぎて[illegible]やうやく樂しくの心持がする日でありました。九時に東京驛から東海道を藤澤に下り、江ノ島は海[illegible]から望み見て七里ヶ濱の[illegible]を[illegible]東へ走り、稻村ヶ崎に名將新田義貞の鎌倉攻めを偲び極樂寺[illegible]はトンネルですぎて長谷に下車しました。

× ×

[illegible]をたのんで[illegible]神社から長谷觀音の[illegible]へ赴きました。[illegible]は震災の[illegible]を恢復すべく今工事中でしたが、小暗い[illegible]に古色掬すべき[illegible]を拜しました。それから[illegible]國分寺のあとに露座の大佛を仰ぎ拜み小[illegible]の後長谷から鎌倉の[illegible]の下道をすぎ大塔宮を[illegible]り公園の[illegible]れし大[illegible]前を左に[illegible]を上りて鶴岡八幡宮の社前に[illegible]づきましたが[illegible]の下で記念の撮影をなし[illegible]宮に[illegible]で苑內で晝食をいたしました。[illegible]かい日、風一つない日、苑內では[illegible]の飛行機を飛ばせ空には[illegible]の飛行機がうなりを立てて飛んでゐました[illegible]かな[illegible]、ほんに休養の時を得たのでした。[illegible]に詣でては日光の[illegible]と對比して[illegible]史のなぞを解かうとする小史家もあらはれたのでした。

× ×

それから鎌倉宮に詣でました。大塔宮の御座所にあてられた[illegible]の前に立つて[illegible]い神殿の說明を[illegible]いて切腹するものは少くありませんでした。苑內から[illegible]にて名高い山や大塔宮の[illegible]所などしたといふ山や[illegible]川の[illegible]の話などきいて三時すぎ鎌倉を發して東京にかへりました。デパートメントストアの見學にとて三越に赴いて此日の見學を[illegible]りました。夜の[illegible]ブラに[illegible]の子供を[illegible]つたが[illegible]れた[illegible]は[illegible]いせいか[illegible]するものは少數でした。

第十三信　三月二十三日

四日間の見學を終へて今日はいよいよ退京の日です。[illegible]は一行を代表して總督府出張所に御挨拶に出かけました。一行は宿から東京驛に參りました。驛には子供たちの親族知己の方々が數百人見送りのために集まつてゐられました。そしてお土産物が澤山持込まれました。[illegible]な手に大きなお土産物を仕末しかねる子供さへできました。名[illegible]まれて汽車は[illegible]時の[illegible]行で午前九時四十五分、東京驛を發しました。

× ×

一行はみな元氣です。[illegible]さへありません。[illegible]の落ち付くと[illegible]ふ、[illegible]、[illegible]で[illegible]は[illegible]しいものでした。でも[illegible]は[illegible]んど[illegible]一行で[illegible]されてゐただけに他に[illegible]はかけませんでした。[illegible]に[illegible]の大[illegible]がゐましたが、子供たちの[illegible]が[illegible]に[illegible]になつて[illegible]ひに汽車中の[illegible]を[illegible]合ふのでした。

× ×

[illegible]までは昨日通つたところ國府津から汽車は上り坂、[illegible]に[illegible]つて[illegible]の川べりをすすみ[illegible]に出ました富士は[illegible]つて三合目以上は見えず、ただ[illegible]にただらかな[illegible]でその[illegible]を心に描くより外ありませんでした。[illegible]、[illegible]を[illegible]と[illegible]の間を沼津に下り富士驛も過ぎたが富士は[illegible]ないままでした。大宮の[illegible]、三保の[illegible]、清水港など[illegible]しつつ[illegible]多い[illegible]を靜岡につきました。

× ×

靜岡では田中[illegible]より[illegible]ハガキ[illegible]などを[illegible]られました。久能山の[illegible]を[illegible]り、大井川に[illegible]の[illegible]を[illegible]び三方ヶ原の古[illegible]を右に[illegible]名の今切をすぎて[illegible]、[illegible]よりで汽車は名古屋に入りました。名古屋に[illegible]つて[illegible]の[illegible]も見ることもできませんでした。[illegible]ひつかれた子供たちは頁香せまる[illegible]あたりからはぐつくり[illegible]込んでしまひました。[illegible]も比良の[illegible]も、[illegible]の中でした。[illegible]の[illegible]は[illegible]の方々に[illegible]れて汽車は[illegible]通り午後八時[illegible]分大[illegible]驛に[illegible]り込みました。下車して見ると[illegible]一入出迎て[illegible]れる入[illegible]

[illegible]がありませんでした。[illegible]依[illegible]先からも、子供たちの親[illegible]も知己も……、驛を出ても[illegible]ませぬ。

× ×

十四五分の間、驛の前に立つて[illegible]つ間に係は[illegible]までの自動車を交渉しました。ところ[illegible]の人も大[illegible]の方も、[illegible]の大[illegible]小[illegible]氏一家の方々も子供たちの[illegible]の方々も見えました。一行の利用した汽車が一ヶ月[illegible]り[illegible]急行であつたことを知らずに十分後大阪驛[illegible]の急行列車とのみ思ひ込んで別のプラットホームに待つ[illegible]から生じたナンセンス[illegible]であつたのです。

× ×

宿に九時すぎに落きました。[illegible]のためとあつて[illegible]を二分されて一部を[illegible]宿にさせたのは淋しい[illegible]でした。[illegible]に[illegible]も[illegible]ずに[illegible]でしまふ[illegible]も少くありませんでした。[illegible]

第十四信　三月二十五日

[illegible]子供たちを來る日も來る日も見學見學で引張りまはしました[illegible]は多少食傷[illegible]味で見學に興味をもたなくなりました。昨日までで今日は商業都市の大阪を象徴する大[illegible]の見學は了はりました。

デパートメントストアを[illegible]せしめ、[illegible]かづつでも[illegible]はしめやうと午前に各[illegible]に[illegible]取りをきめましせしめることに[illegible]。白木屋、三越を選んだものもあれば宿に近い[illegible]屋、大丸、十合ヶ[illegible]たちのもあり、[illegible]から千日前まで[illegible]いた組もあるといふ[illegible]で、[illegible]市場としての大阪の一面を見せることができました、

× ×

午後は[illegible]の休息として阪急電鐵で[illegible]池に[illegible]ひ大がかりのレビュー[illegible]十[illegible]を[illegible]せしめました。時間の不足で[illegible]に立たうともせぬ子供たちをせき立てて[illegible]へ[illegible]にかへりましたのは[illegible]

JFAK　三月三十一日

▲午前六時三十分　朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）

▲午前八時　全國氣象通報（東京）

▲午前九時三十分　家庭百科問答△男物冬服を黑に染めたいと思ふ△月下美人の南木を內地東京まで完全に送るには

▲午前十時　今日の家庭料理獻立△[illegible]肉のきめた卷へフレンチ・オムレツ

▲午前十一時　日用品小賣値段發表（臺北市公設西門市場發表）

▲午前十一時五十九分　正午の時報△氣象通報（臺北測候所發表）

▲午後零時二十分　晝間娛樂時間（レコード演奏）浪花節（一）[illegible]の肉屋又左衞門（下）梅中軒鶯童（二）[illegible]の小[illegible]　京山幸枝

▲午後五時　子供の時間（東京）物語「[illegible]」中根晃

▲午後五時三十分　九州民族講座（熊本）

▲午後六時　子供の時間（臺北）玩具交響曲（ハイドン作曲）ビクター管絃樂團（二）木のパレード（三）吉池の鐘グレナデイア・ガーズ吹奏樂團（四）闘牛士行進曲「エスパナ」（ヴアルトトイフエル作曲）（五）喜歌劇「輕騎兵」序曲（スッペ作曲）伯林國立歌劇場管絃樂團

▲午後六時三十分　講演「未定」

ハイドンの夕　二百年記念祭（東京）

▲午後六時四十五分　室內樂（東京）絃樂四重奏曲第七十七番（ハイドン作曲）アレグロ・ポコ・アダヂオ・カンタビーレ・[illegible]と變奏曲終曲・プレスト、ハイドン・クワルテット第一ヴアイオリン[illegible]、第二ヴアイオリン杉山長谷夫、ヴイオラ[illegible]、チエロ[illegible]

▲午後七時十五分　合唱（東京）（日本橋三越呉服店より中繼）聖譚曲「天地創造」より（ハイドン作曲）東京シンフオニック・コーラス、パイプオルガン伴奏大中寅二、指揮津川主一

▲午後七時三十五分　ピアノと管絃樂（東京）ピアノ協奏曲ニ長調（ハイドン作曲）ヴイヴアーチエ・ウン・ポコ・アダヂオ、アレグロ・アツサイ、ピアノ獨奏東伏見邦英伯、日本放送交響樂團、指揮萩原英一

▲午後八時　管絃樂（東京）交響曲第十一番「軍隊」（ハイドン作曲）アダヂオ＝アレグロ、アレグレット、メヌエット舞曲＝モデラート、終曲＝プレスト日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット

▲午後八時三十一分　奉天より奉天放送局

▲午後八時四十分　映畫物語（臺北）「暗の女」解說岡田天城、伴奏細田管絃樂團

▲午後九時二十分　時報、氣象通報（臺北測候所發表）、臺日ニユース、放送局編輯ニユース、公示事項告知事項、明日のプログラム發表

今年の女學校卒業生へ

婦人倶樂部四月號の「二流美容家のお化粧秘訣公開」など是非讀んで戴きたいもの、東都一流の美容家山野千枝子さんの「女學校出たてのお化粧」他數篇、みんな新時代のお化粧の秘訣を語る重要記事揃ひ、其他「流行春着の選び方・仕立方の急所」「和服にも洋服にも似合ふ婦人用新型前掛」など夫々の重要さを持つ名記事です◇同本號には重寶な「婦人手帖文範」誰にも出來る「諸流生花獨習カード」の二大附錄もあつて貴女方にスグ役立つ重要讀物が滿載してゐます。

新刊紹介

文藝消息

「[illegible]文學」第五號は三月二十六日發刊の筈になつてゐたが、當局の忌諱に觸れる所あつて、發禁となつた、尚その主な內容は左の如し

インテリの社會的意義（卷頭言）[illegible]題の積極性（[illegible]）[illegible]であつてはならない（[illegible]）[illegible]（[illegible]）創作××夜話（[illegible]）解決（[illegible]）[illegible]（[illegible]）モーロー車（[illegible]）貧乏人の僕（秋郎）××工場から（陣××）立身出世と[illegible]（[illegible]）詩七篇・人間の家を語る（[illegible]）

萬なかだち　求緣一件一回　金四圓拾錢　其他一回　金四圓七拾錢　[illegible]

ダンス　教師見習生募集　十八歲以上の婦人　日新町三ノ七七檢番隣　[illegible]

女給　敎名入用　南部行先記　新起町　カフエー銀河　電話八六九

生徒募集　各自の希望に任せてどんな方でも敎へる所　宮前町二の二　中央洋裁研究所

結婚は時期あり過ぎては及ばず　至急相談も致し　台北末廣町一ノ一七　公認相和會

店童入用　內地人十五才前後可成池方の方夜學させす　樂天地角　合資會社三成社　電話店

新學期　四月一日開始生徒募集　オリエンタル洋服講習所　[illegible]一ノ一五　魚住

募集　本年度高等女學校卒業生にて　記帳係採用　午前中本人來談　[illegible]町二　小林電氣部

洋裁教授　本島人婦人專門　四月一日開始　萬華驛前通　シンガーミシン會社

貸家　西門町市場裏四間半四間　[illegible]　稻井呉服店　電話一九七七・三五五〇

貸家　大正町四條通り奧八、六　四間半、二間　二戶　稻井呉服店　電一九七七・三五五〇

貸家　川端町[illegible]　[illegible]十圓　兒玉町二の三　電九五八　[illegible]

電話壹四壹番賣　[illegible]　電二〇一三　[illegible]

新入學・進級のお祝に

＝新築記念　大特價五圓五十錢（定價七圓五十錢　外に特製あり）但し特價は四月三十日迄＝

全國百貨店・書店にはどこにも取揃へあり・內容見本御申込次第急送◇

十萬人の手に成つた英語なら何でもわかる

冨山房の大英和辭典

市河・畔柳・飯島共著◇著者二十七年心血の書◇懸賞當選標語　市、畔、飯大英和◇

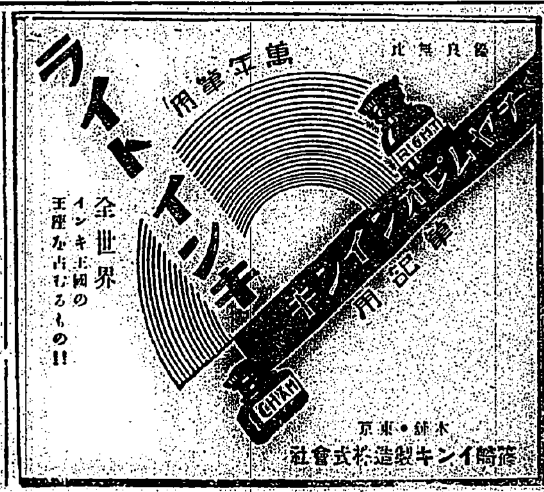
東京神田　振替東京一〇五番　冨山房

特約店募集

日本金錢自動分類器

事務に簡易化に自動分類器は誤りより投入せる貨幣を自動的に分類する本器を御使用あらん事を御奨め致します

東京市下谷區西町四十三　日本金錢分類器製造元　松本操製作所　電話下谷二五九五　振替東京六四一五



萬年筆用
ライトインキ
全世界
インキ王國の王座を占むるもの!!
優良無比
記錄用
RIGHT
CHARM
東京・本所
篠崎インキ製造株式會社

四月號　定價五十錢

鶏の研究

內容：鶏と性能▼多産鶏座談會▼[illegible]

發兌　東京丸ビル六九六　振替東京七三六二　鶏の研究社

ぬかご　四月特大號　七十五錢

風月（滿洲陣地便り）……六山人

長編小說　赤外線……龜井利九

[illegible]……みつぞう

[illegible]……姑洗子

發行所　東京丸の内　ぬかご社　振替東京二〇九二

入學志願者募集

千代田女子專門學校

國語・家事・技藝・無試驗檢定アリ

本校六西本願寺　寄宿舍アリ　東京・麹町・中六番町

職業

大阪市東區淡路町　[illegible]

通信教授　**バイオリン尺八**　マンドリン及ハーモニカ三味線　以上各科規則書進呈　[illegible]　大日本音樂會

ベビーゴルフ

●器具一式製造直賣　正式ゴルフボール　カタログ進呈

東京下谷御徒町二ノ八　青木製作所

廣告は宣傳の近道なり

奥様へ密告

お松どんが、ヒメ香水つけて……と

だが流石は奥様です

フン、と外で、しかしつつましく笑つた

あれはお歯、仁丹をのんでる香りですよ

ちとお前も、お松の嗜みに、お見習いよ

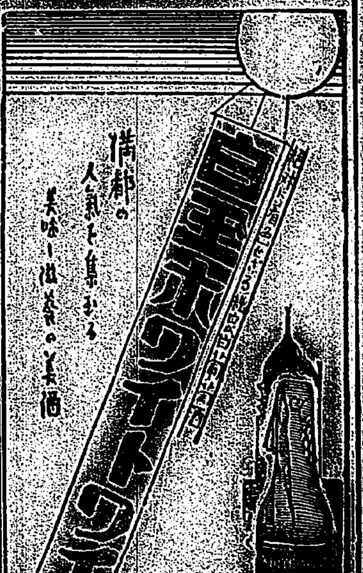
目下大懸賞空籤なし大賣出中

タバコのみの

出歯スモカ

よだれダラダラ時間をかけてそれでも落ちなきやスモカを使へ

定價十五錢　藥店小間物店にあり



滿都の人氣を集める
美味・滋養の美酒
白玉ホワイトワイン

笛吹けど踊らぬ……
日銀利下後の財界
一國の事情や政策で
景氣は生み出せぬ
島田臺銀頭取談

總會と同時で二十九日歸臺した臺銀島田頭取は「やあ暫くぶりだネ」と例の潑剌たる元氣を漲らせて往訪の記者に次の如く語る

內地の金融界の狀勢……さうだね先般の日銀の利下げは

現政府 の金融政策の現はれとも見ることも出來るか、あれは當時政府側の答辯にもあつたが如く前政府は飽くまで金本位支持のために政策的に引上げたものであるが現內閣に至つて政策が反對になり金再禁で金利維持の必要といふより理由が消滅したから下げたまでで必らずしも現在の金融狀勢なり市場の實勢を反映したものでない、從つて民間側としては

大勢は 日銀を通じての金利政策即ち二厘利下げの影響を無視は出來ぬがそれが實勢の反映でないだけにオイソレと踊つてはゐない、事業界は勿論證券市場すら却つて落著いてゐるやうなわけで……一體日銀利下げを直ちに通貨膨脹とかインフレーション政策の現れだなどとし直ちに證券市場や事業界を煽つて景氣が出るやうに期待するのは間違ひで、僕はいつも云ふやうに昔はいざ知らず、今日國際經濟時代にあつては

一國の 國內事情や政策を以て景氣を生み出すことは不可能だといふことである

積極的榮養療法も
消化機能を毀ちては危險
宜しく英國を習へ

民政黨內閣の緊縮政策に長い間不況をしのび、よく我慢して來た

國民が積極 政策の政友內閣を迎へて景氣到來を焦つてゐることは同情出來るが景氣の立直りといふやうなことは丁度病人に對する醫師のやうなもので例へて云ふと民政黨は病根を消極的に絕食療法によつてやらうとしたが、現內閣は反對に食餌療法でゆかうといふのである、即ち積極的に榮養を與へて體力充實を以つて病根に打勝たうとするのだが、これとてもやたら食はしては消化機能を毀して却つて重大事を招來する、此點英國を習ふべきで英國民は政府の政策をよく諒解して物價の昂騰、納稅負荷を我慢して先づ國の財政の建直しに勉め今や國の信用が高まつて爲替も安定に近く貿易は改善されつゝある從つて我國としてもかゝる際徒らに景氣を人爲的に策することは却つて我が財界の

健實回復を 妨げるもので政府當局としても非常にやりにくいことになる

預金利下は
なか〳〵厄介
發券制度改正が
先決重大問題

貸出利下げに對しての預金利下げは此際內地でも仲々の問題で、なにしろ

郵貯 は二十七億圓にもなつてゐるが一般銀行預金は減つてゆく一方でこの上利下げをやるとなるといよ〳〵資金枯渇となる恐れから目下ヂレンマの狀で第二次日銀利下げも大勢決定的のものと云はれてゐるがそれより政府の通貨政策の見地からしても重大なのは保證發行擴張を手段とする發券制度の改正で、現在では日銀の如きに例を見ても發行高十億圓限度に對し

準備 は四億四、五千萬圓而して保證準備により許される限度は僅か一億二千萬圓といふからあとの四、五億圓といふものは常に限外發行によらねばならぬといふ變則で、變則である上に發行稅が可成り高率故に從つて通貨供給のコストが高まつてゐるといふことになり政府の低金利政策に相反するといふ理由から改正の要が高いのであるが自分らは之れが先決重大問題だと思ふ

玖馬で
產糖額を制限
一九三二、三年度—二百七十萬噸

【大阪三十日發本社特電】ニューヨークシンボーン商會發二十八日發砂糖會社發電によればキューバ大統領は一九三二、三年度の產糖額を二百七十萬噸に制限する旨發令をなしたがアメリカその他向きの輸出割當額はまだ決定してゐない而してこの產糖制限は國際協定に關するものでなくキューバ單獨の制限で當初は二百五十萬噸乃至二百三十萬噸と噂されてゐたが破產をなさず自然に放任する時は三百萬噸の產糖ある事明かである之によつて多少の效果はあるものと見ねばなるまい

神戶の
爲替强調
三十三弗臺

【神戶三十日發電通】今朝入電の米國は一十五仙方昂騰を報じ當地市場も昨後場に引續いて强調を呈[illegible]

昭和會の
內地見學團
三十一日出發

臺北の內地人食料雜貨商を以て組織する昭和會は漸次基礎も出來て來たので今回その店主の一部を利用し內地見學を思立ち會長濱田商店主を始め酒卷、城山、雨田、時山、田中、前田、平川、金谷、各戶の諸氏即ち一行十名は三十一日午前八時二十八分臺北驛發大和丸に乘船二日門司上陸福岡、宮島を經て五日大阪着觀商品の製造元を訪ひ見學し京都、名古屋を經て東京に赴き十八日同地で解散する豫定となつてゐる

春茶の出廻遲る
最近の天候不順のため

本年は一月以來の天候が逆調で正月頃は例年に比し非常に暖かで此の具合なれば春茶の出廻りは可なり早かるべしと豫想されてゐたが二月に向ひ三月に進むに從つて漸次逆に

冷氣を加へ 最近に至り天候甚だ不順で茶芽の發育を阻害したからこの調子では意外に出廻りが遲れる模樣である、取引開始は包種茶類として例年最も早く開業する新竹州茶商が日支時局問題の關係で昨年の秋茶は全く取引中止の姿であつたからこれが本年の春茶に如何に影響するか疑問とされてゐるが時局問題は漸く小康を得た形であるから多分春茶取引は例年通りに行けるであらうとみられて居るが

取引開始の 時期は例年通りに早いか或は形勢觀望氣味で多少遲れるか今の所不明である、相場は世界的景氣の推移が決して好況に轉換したとは認められぬが對米爲替相場と銀相場の關係が前年同期に比し輸出品たる茶に對して採算有利であるからこの點だけでも相場は幾分上騰を辿るだらうと豫想されてゐる、然し四圍の環境からみて俄かに樂觀は許されず緊張を要する次第である

豫定の如く
進む日月潭工事
第六、第七工區も近く本工事に

日月潭工事の現場監督、視察から歸つた遞信部囑託松本技師は次の如く工事狀況を語つてゐた

今回は水頭谷の大林組の工事現場を行つてきたが工事は凡て豫定通りと云ふより寧ろ凡て豫定以上に進行してゐる即ち第二工區の大林組は凡て掘削で全隧道延長一千六百三十二間の中第一號隧道では右に百三十三間、左に八十四間、第三號隧道では右に三十二間、左に五十七間既に計三百六間掘つてゐる第三工區の鹿島組も全長一千四百二十五間の中、約百間掘進してをり第四工區の今宮組も全長一千四百二十一間の中百五十四間進んでゐる、第五工區の高石組も全長一千九百廿九間の中六、七、八隧道併せて三百間も掘つてゐる、第六工區、第七工區は目下準備工事に着手しており近く本工事に着手することになつてゐる、要するに工事は順調に進んでゐるが唯魚池、埔里邊りの景氣が一般に豫想した程のものでないが此の節とは大いに時代が異るのだから仕方もあるまい

二期作の平均に對比すれば籾收量二十七石一斗三升六合即ち十九割四分九厘の[illegible]

中壢郡の
水稻競作會

新竹州中壢郡の第二回街庄聯合水稻競作會出品點數は第一期並第二期作丸約種に限り七十點之が耕地防風林設置、良苗、耕種の巧拙、坪當植付株數及び二百株の收量、籾の乾燥步合等審査の結果甲當籾收量第一期作最多六十六石一斗三升七合、最少三十五石三斗二升六合、平均四十五石六斗九升五合、第二期作最多七十四石三斗七升九合、最少廿三石二斗七升六合、平均三十六石四斗三升八合にて前期に比し旱害と病蟲害の爲一期作平均に於て十三石五斗二升七合即ち二割二分六厘、第二期作十三石六斗一升三合即ち二割六分一厘の減少を示してゐるが郡下一[illegible]

通り

一等　中壢街劉榮華

二等　平鎭庄葉步陞、觀音庄羅拜金、平鎭庄黃梅榮

三等　中壢街黃德昌、觀音庄[illegible]、楊梅庄[illegible]、平鎭庄[illegible]

四等　中壢街陳貴邦外九名

米界關係者の
泉芳德氏
送別會

臺北米穀業組合、同代行會社、各移出商同業組合、臺北籾摺同業組合の米穀組合では二十九日午後六時より大稻埕江山樓に於て今回高雄市助役に榮轉した泉芳德氏の爲に送別會を開催したが會するもの八十餘名頗る盛會で泉氏の前途を祝し[illegible]泉氏挨拶を述べ九時頃散會した

新竹州中壢郡の
種牝豚飼育競技會
廿八日授賞式擧行

新竹州中壢郡各街庄畜產組合聯合の第二回バークシャ種牝豚飼育競技會授賞式は二十八日擧行されたが

審查は 昭和六年四月から昭和七年三月迄の長期間に亙り行はれたもので相當當業者の興味を惹起し血統を貴び從來等閑に附せられた動物性飼料として[illegible]の給與と自給を促し爲に種牝豚の選擇に留意し[illegible]改善上に劃期的進境を示してゐるが尙改善を要すべき點が多くある、即ち豚舍內の排泄水は傳染病發生の危險を伴ふ恐れあり[illegible]仔豚生後一ケ月迄は種牝豚に依る壓死防止の爲適宜舍內に

保護柵 を設け出入口は開閉自在として常時運動に便ならしむる事、種牝豚舍に付自然のまゝの運動場を設け防暑の爲樹木を植え水浴場を設け豚體の[illegible]を保たしむる事、運動不足は[illegible]給與し生野菜の添加を必要とする事等養豚上留意すべき要點である、尙今回の授賞者左の如し

（一等）楊梅庄[illegible]、平鎭庄[illegible]

（二等）新屋庄[illegible]、楊梅庄[illegible]、平鎭庄[illegible]、中壢街[illegible]

臺南糖業試驗所
位置面積等未定

愈々臺南市に設立を見る事となつた糖業試驗所はその用地を市內竹篙厝（臺南師範より縱貫道路に沿ひ約十五丁、同道路より西方の現蔗園）と定めその面積百四十一甲を指定しその所要地主である[illegible]製糖との間に新化糖業科耕地の交換契約を終つたと稱せらるるが同地域は平坦地として極めて便利よく臺南市に接近し物資補給その他の好條件に惠まれて居り新年度に入ると共に係員來南の上圖場其の他の建築區分を行ひ諸般に本館工事に着手する段取りとなつて居ると

（三等）[illegible]

臺中米價（三十日）　蓬萊米三等一期八、五五錢、二期[illegible]九、三〇錢、九四三等九、六〇錢、在來米一三、一〇錢、蓬萊米出來高九千二四八袋[illegible]

滿蒙向セメント
出荷問題紛糾
滿鐵から聯合會に警告

【大阪三十日發本社特電】滿蒙向セメント出荷問題は紛糾の末[illegible]內地扱と決定し[illegible]輸出扱[illegible]種々の[illegible]補充生產を許すならば相當安價で滿蒙出荷を行つても採算的であるに不拘現行五圓三分（三月現在）高率減產を實行しつゝ當面の消費者たる滿鐵もセメント聯合會若くはセメント會社のこの態度に慊らず內地扱となしては次の如き理由よりして相當[illegible]する事となり近く[illegible]理事は聯合會當事者と會談する事となつた、即ち

一、輸出扱は內地扱に比し[illegible]現在最低二十錢安値である（輸出扱其他の便宜的方法による）[illegible]

[illegible]の利益（生產コストに對し一割五分に當る）を收めてゐる[illegible]

[illegible]ケイシンセメント（能力百萬樽五年度對滿蒙出荷一萬三千噸）の製品を利用する模樣である

ハバナ行
運賃引上

【大阪三十日發本社特電】郵船のキューバ、ハバナ行き往航貨物運賃は四月一日から引上げを實施の筈同航路補助は今年四月一日切替へとなり年額五萬圓から四萬五千圓に削減される

支那の砂糖輸入稅
增徵と稅關扱
領事館商工會議所より交涉

【大阪三十日發本社特電】支那が年額五千萬圓の海關收入を目指して斷行した砂糖輸入稅の引上げは布告と實施との期間が餘り短期內で天津邦人砂糖取扱業者は見越輸入を急いでゐたが三井、三菱、增田等主なものだけでも現在引上げ前日たる四月一日到着後に到着すべきもの約四萬三千俵ありその陸揚稅額でも二百萬兩の增納になるので有取扱業者は總領事館、商工會議所等を通じて二十九日以前二十八日までの品は從前通りの率で課稅されたき旨交涉中の所天津稅關長は二十八日付を以て例へ一日前に到着のものと云へども陸揚手續を終了せぬものは新稅率により課稅する旨回答して來た依つて我總領事館商工會議所に於て、天津側の交通不便を理由に[illegible]とすると共に上海の總稅務司に對し國民政府メイズ氏と交涉して右目的貫徹に努められたき旨電報した

我が精糖の
對支輸出激減せん
關稅增徵を當業者悲觀

【大阪三十日發本社特電】四月一日から實施される支那の砂糖關稅引上のため相當の見込輸出がなされたが今後の輸出につき內地當業者の

悲觀振 りはかなり甚だしく、即ち精製糖は一擔につき二兩九分の關稅を課せられてゐたが四月一日から五兩八分即ち從來の二倍となり此の增加分を全部

消費者に負擔さする時は需要の減退を來すことになるから[illegible]

一部分 を[illegible]

著々と [illegible]

本島への投資勸誘
却々至難の問題だ
人氣は矢張り臺灣より滿蒙に
松木電力社長語る

二十九日歸臺した松木電力社長は三十日早朝より出社諸般の業務を指揮してゐるが往訪の記者に對し經談的に極めて朗らかに次の如く語つてゐた

素破拔 かれ先手を打たれてすら〳〵と運んだのは何が幸するやらわからないものである。[illegible]

何日迄 [illegible]

臺灣を もつと宣傳する必要が大いにあり矣と感じられてならない。[illegible]

今日の 政治家はどうし[illegible]

政黨關係が激しくなつたのでどうしても各方面から投資を勸誘せねばなるまいと思つてゐるが却々骨の折れる問題である。[illegible]

滿洲の石炭は
內地炭業共同で採掘

【大阪二十九日發本社特電】滿洲[illegible]

內地側 の希望を綜合すれば[illegible]

採炭費 の[illegible]

以外新礦、北票其他の新礦を開發するに對しては內地炭業者合同にてこれに當ることを適當としそのためには曾つて山東礦業と外務省の斡旋で內地炭業者の協同設立をした如く先づ拓務省滿鐵等の斡旋を希望してゐる

東西南北

▲全島商業大會が愈々四月二日三日、臺北で開催され四日は一行阿里山登山といふプログラム各地實業團體の出席者は大抵一日から二日頃にかけて臺北に集合することになつて居り花蓮港の中村、古賀、小川、吉村、福井、玉置の六氏の一人[illegible]商工會長と語合せをなし一日朝の急行で臺北に赴くことになつてゐる▲花蓮港商工會からは別に議案を出さないけれども[illegible]阿里山と共に國立公園の候補地となつたタロコ峽を此の大會開催の好機會に大に宣傳しやうとするのが用向きの一つ築港で大に勢ひづいてゐる花蓮港の實業家の意氣込みは凄じいものがあると共に島內各地實業家の理解を得て置かなければならぬことも多々あるやうだ▲松木電力……何度內地へ行つても身體だけは一向に瘦せもせず相變らずデップリと太り過ぎる位に太つてゐる▲總會で[illegible]を押さうとした者の計畫がすつかりばれてしまつて然もその張本人が元會社に居たことのある者と判つた時は流石に[illegible]ピックリしたねと▲[illegible]

原石採取
日月潭取入口
鹿島組に落札

電力會社では日月潭工事用の砂利製造の爲に武界取入口に於ける原石採取の入札を去る二十八日行つた[illegible]結果二十六萬九千圓で鹿島組が請負ふこととなつた

臺灣農家便覽

改訂第五版近く出づ

臺灣農友會出版にかかる臺灣農家便覽は大正十三年第四版を出して[illegible]

北支滿洲への
積極的配船で
早くも船腹消化懸念さる

【大阪三十日發本社特電】滿洲新國家の成立とともに大阪商船では[illegible]

新竹州所得稅
徵收成績

新竹州に於ける昭和六年度[illegible]

金地金
買上げ値段
前週より十錢安
今迄の買入七百餘萬圓

【大阪三十日發本社特電】政府の金地金買上げ値段は前週に比し十錢下げ一匁七圓二十五錢と決定二十八日大藏省から發表[illegible]

商況
三十日

臺米相場

正米市場

堂島米況前場

堂島米況後場

大阪中の島標準

大阪當限受渡內容

大阪期米

東京期米

神戶期米

堂島前場兩建玉

株況

大阪短期

大阪長期

東京短期

東京長期

東京銀行貨株

東京株況前場

昨日の市況

株式	小甘
綿絲	保合
期米	不勢
砂糖	弱含

糖況

大阪定期

穀肥

神戶豆粕

神戶市中相場

大連特產

魚類卸相場表（三十日）

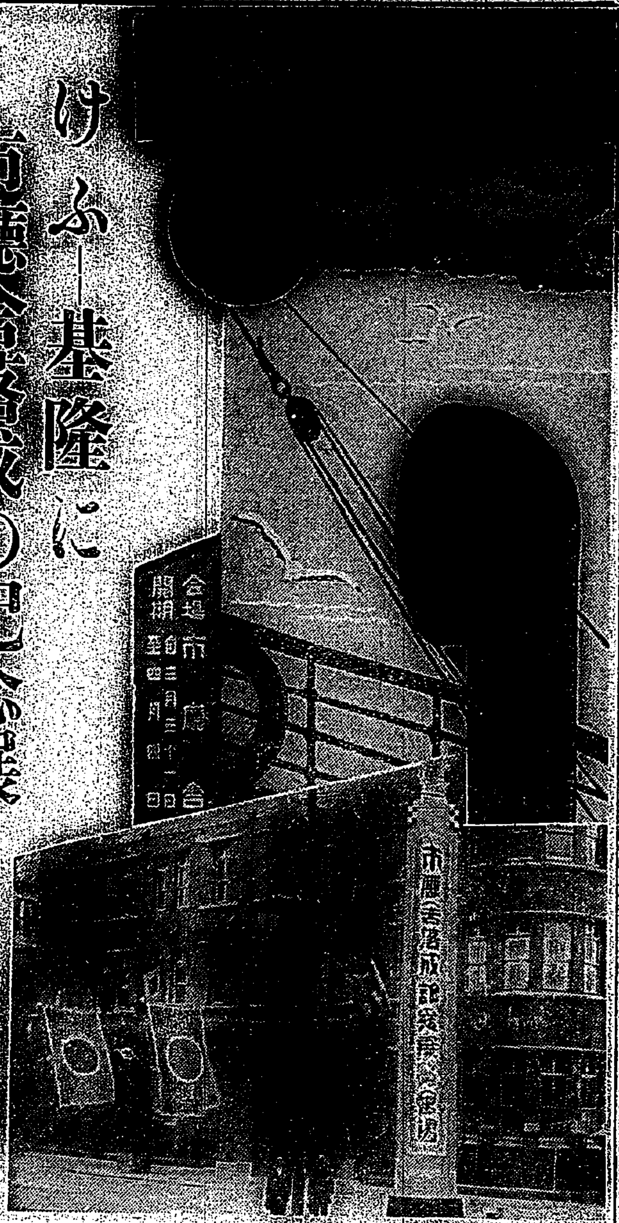
[illegible]

けふ―基隆に 市廳舍落成の記念展

國際大港都への意氣込を見せて

會期 三月三十一日より 四月四日まで

東洋にそれありと謳はるるグレート・キールンの具現の令に燃え指揮將率歩一歩そが建設の道程を進みつつある基隆市民は先づ陣容を整へんとて市政の中心機關なる大廳舍を建築し、工費二十萬圓、起工後二十一ケ月で竣功した新廳舍がそれで三階建、總坪延べ八百二十坪、壯麗なクリーム色のタイルで張り廻され堅牢と能率增進を旨とし特に衞生及防火設備に留意し耐震的構造をもつて成れる近代式建物が港頭を壓して聳えてゐる、そこで市民はその開廳に先んじて國際港都たらんと飛躍しつつある市運の將來を祝福し中外に對し市勢の現實の動きと向上の過程を紹介し、市民としてもその過去、現在、未來を一堂に展覽し港市に對する限利な再吟味をなし省思するところあらんとて新廳舍に市及市と關係ある各方面の資料を集めて一般人士に觀覽の便宜を與ふることにしたのが恰も市內官民の希望に反映し、全市的協賛援助と市係員の多大な努力とによつて續々出品應募者あり、設備萬端遺憾なく整ひ、內容充實したる落成記念展覽會が出來上がり三十一日から五日間開會し一般の縱覽に供することとなつた



寫眞 （上）は記念展觀會のポスター （下）は展覽會會場たる新廳舍の入口

會場案內

會場內各館配置の大要は左の通り―

△一階　水產館（罐詰工場、魚食宣傳場、珊瑚加工場）海事海運館

△二階　市勢館、港勢館、海洋館

[illegible]

△三階　教育館、[illegible]館

內容は基隆港が內外航路の起點として通商上の關門で北部台灣の貿易港として漁港をかね且つ築港中に屬し、商工業にももちろんこれ等に關する參考品を網羅してゐる、ここに觀覽者の爲め配布にその特色の數々や概況を紹介しやう、詳しくは實地に徵せられたし

表玄關で 愛嬌を振り撒く

呼物のロボット

正面に三十年後の基隆市大俯瞰圖を掲げ大基隆市の將來を髣髴せしめ直下に基隆港模型大模型を置いて現狀を一目瞭然たらしめ、呼物大の水兵姿で紅顏のロボット君がウインクし、來觀初見參振りよろしくウエルカムの挨拶し宣傳ビラを撒いてゐる

海事、海運館

軍艦の實物模型

ロボット君に會釋しつつ先づ一階海事海運館に入る、そこにはガラン燈臺模型があつて照明が明滅し、ネオンサインによつて航路を示す、世界一周圖があつて世界の航路、海運物產の分布を示し、SOSの無電が飛び、船舶の[illegible]明器が光る、原始時代の船舶の起源から現在の世界船舶發達過程を物語る數十のポスター及模型がある、各種軍艦の實物模型、最新式船外機船の實物は觀衆を眺らし其他多數の陳列品は完全に海事、海運に關する新知識を把握させずにはおかない

水產館

食魚宣傳の 即席料理

漁船、漁具、造船材料、魚類標本、漁業實況の模型をはじめ、圖表ポスター、寫眞等で內外水產業の內容と實際を詳記し、珊瑚加工、罐詰製造工場を設けてその工程を實演し、魚食宣傳場で入場者に即席料理を試食せしめ、研究調味料を頒呈する

水族館

海の世界を

それより二階にのぼる、そこには全會場の壓倒的出品なる水族館があつて鹹水、淡水を湛へた大小魚槽が四箇あつて亘蟹、銀[illegible]と鯛の綫を縫り海中の遊泳、姿態を[illegible]たらしめ彼等の棲容、深海たる神秘振りを展開し、神妙な海中風景を如實に覗取し得るが、ここに至つて觀衆は昭和の浦島太郎となつて龍宮に遊ぶの想ひがある

市勢館

大基隆百年の計

基隆市發展の過程を辿ること昔から現在の基隆八景を繪畫にして風光的遊覽地基隆を紹介し、基隆市の[illegible]、沿革、遺物、現況及將來を示する百數十枚の繪畫、ポスター、寫眞、統計圖表及歷史的な實物をならべ戶口、經濟、交通、衞生等の各分野に亘つて具體的に且つ理論的に說明してゐる、變つたところでは炭礦の設備、炭層構造模型、本島唯一の加工工業なる肥料及製粉工場、次に各種食料品、消防器具等の實物、模型を[illegible]すところなく網羅してゐる

教育館

各學校成績品の粹を蒐む

小公學校圖畫、習方、裁縫、手藝、手工等の成績品、中學校、夜學校幼稚園等の教育參考品を悉く網羅し、過去、現在に亘つて教育の普及狀態及一般教育の狀勢に關する圖表、ポスターが掲げてある、教育館の[illegible]をもつて實驗室に充て會期中活動寫眞、素人芝居、舞踊の手踊りがある

本社の 參考品陳列場

新聞、活版、石版、寫眞の各工程が一目瞭然

二階昇降口に面したホール中央に七坪半の陳列臺を設け新聞部、活版部、石版部、寫眞部の各工場に於て使用する數十種の器物及び製品を陳列して朝夕刊讀者に配達する本紙及グラフがいかなる工程を經るものなるかを明瞭にして社會人の新聞知識に資し殊に「基隆支局活動圖」「新聞が讀者の手に渡るまでの略圖」「基隆支局市內配達狀況圖」を掲げて本社と基隆支局との關係、市內基隆讀者に本紙に對する參考資料を提供してよりよき諒解を求めてゐる、手前味噌ながら「新聞が讀者の手に渡るまでの略圖」は本社編輯局及工場の組織、其の運用及ニュースの取扱方を系統的に圖示し精確なる說明を加へて新聞生產の內容を一目瞭然たらしめ、市內配達狀況圖には區域別に朝夕刊の配達時刻及配達夫の配置を掲げて配達に對する本社の責任を明にし、來觀者には希望によつて當日朝夕刊一部を贈呈することとし相當多數を用意してゐる

この偉容 ―落成した全島一と云はれる基隆市廳舍の堂々たる外觀―

港勢館

展覽會の大眼目 雄を競ふ各種出品

眞先に觀衆の目を惹くのは電氣裝置によつて運轉し作業の實際を紹介する繫船無比の彪大な港灣設備の模型でその現物は日本一の稱がある、基隆合同廳舍模型圖は二年後に基隆驛頭を壓して聳立する最高百七十尺四階建の巨大な建築物で港灣關係の十二箇廳を一廳舍內に收容せんとするものである　其他各種の港灣施設、三十年後の港勢圖表、築港計畫第一期及第二期より第三期までの基隆港大平面圖がある、特に基隆港模型と照應した燈臺、浮標、信號旗、海港燈臺等港務に關する概要な實物圖表で紹介し、[illegible]模型で造つた基隆港の大模型に芳香を漂はしてゐる植物檢查に關する全般的知識を流せる中に各種果物の實物標本は甘酸の味覺を喚り基隆港[illegible]入植物の現品及沒收禁制品を陳列し、貿易統計表、入港船圖表、ポスター、寫眞で港務の概要を紹介し且つ通關手續上屆、食糧、[illegible]港灣行政と經濟海港の特殊性を一般に周知せしむる等基隆港に關係をもつ人士の一瞥を惜んではならぬものが多々ある、就中ネオンサインを利用した計器具は目新しいものの一つで觀衆の步をとどめしむるに足る

其他の出品

にはセロチック製の子供の家「模範衞生小屋」「メートル宣傳」がある、會期中の屋外催として子供角力、模型飛行機競技、艦船競漕、ペーロンツン競漕、旗行列、提燈行列、假裝行列が次から次へと催されまた會場に近き公會堂では市內各商店數十軒の名產品販賣市が開かれる、入場者に限り市內遊覽バス三回券十錢及港內遊航券十錢を發行出して地方觀覽者の便宜を圖つてゐる

海洋館

最新式海洋調查器具數十種をならべて海洋の概念を與へ、潮汐、氣象に關するポスター、圖表を掲げて海洋物理を紹介し、海洋通信、世界海業航路の大要を明かにしたるほか印度產大蛸甲羅とか南洋產の竹、藻細工等の實物である特に海洋氣象に關しては記述文と圖表とによつて漁業者其他海上生活者の參考となるべき研究と指導とを與ふることに苦心した跡が見える

一巡しての感……

港灣色彩が濃厚で 眞に大成功

展覽會に對する基隆市內の人氣は今やクライマックスに達し寄るとの話で持ち切りでその出品は市內各公署をはじめ會社、銀行、商店、個人は勿論、內地及外國港灣都市から異國的香りの高い出品もある、概觀したところ會場港灣的色彩が濃厚で港市廳舍落成を祝賀し且つ永く記念するに相應はしく且意義づけてゐるが出品數は實物、模型及標本七百餘點、繪畫、寫眞、圖表一千餘點に及び專門家の研究資料となり且一般の知識啓發上有意義なるは勿論これを機緣として各地との商取引が結ばれることは申すまでもないが興味的に見ても好奇心を滿足せしむるに足る（支局一記者）

展覽會 コント集

△會場正面の壁に異彩を放つてゐる「三十年後の基隆」なる圖は都市計畫部が基隆構想を纏めてこれを土木課の柏原君が心血を傾けてつくり上げたもの吉岡市尹が自慢するだけあつて市の出品中では一寸白眉の大物である、これも市の衞生課で下見をやつた時分やれ溝渠が見えないの遠くの方を走るの方が大きいのとやいのやいのと云はれたのだが何んと云つても良く將來の基隆を現はしてゐる

△今月の月例會で協議會員にこれを御披露に及んだ所老人組とんとがなさそうな風だ、これは昔の時代おやないと來た、尤も、他の子供がひとかどの人間になつてあの旭ケ丘のゴルフリンクに雄姿と現はれるかと思へば一寸情なくなると仰言る方もある、市內、野口の爾御大が何處かしきりと首を捻つてゐるので良く聽いて見ると之はまた火葬場が見えないと云ふのだ、この圖の中で先づ吾々に最も用のあるのが火葬場と墓地だからねと眞劍な顏付

△元江時五郎氏は例のニコニコで乃公の都市計畫も案を貶した奴は誰だ？この圖も私案の重要部分が全部とり入れてあるんだからねと口には出さぬが得意氣である、[illegible]として願く三十年後の基隆圖の照には書きつくされぬ數々の悲喜交々のエピソードがあるのをみのがさないで

△溝みの觀齊木勸業課長の頭には此の頃めつきり白髮が增えた樣だ、この展覽會は昨年十月の協議會月例會議題に上され[illegible]の打合會を經て今日に至る迄實に五ケ月、それに僅かな豫算で他に恥かしくないだけにやらうと云ふのだから骨が折れる

△三十日に知名者關係者を招いて落成式をかねて下見をやつたが市役所にばかり御馳走になつてはいかんと云ひ出したのが山內氏、こんな立派な廳舍が出來上つて展覽會迄やつて市民が默つてゐる譯にはゆかぬとあつて第一小學校講堂で今度は市民發起の祝賀會が開かれる、その流れが大供連の提燈行列があるから面白い、これも小學生が提燈行列をやるのに大供が默つて見てゐるだけではと云ふ趣旨からださうなかその元氣誠に愛すべしだ

△祝典の中に藝妓の手古舞が一役加はつてゐるが最初の計畫は市役所の方で藝妓が手古舞をやつて市中行列させる段取りだつたが、[illegible]とのプランだつた、[illegible]にたつて[illegible]まつた、と[illegible]てしまつたんださうな、で市民は藝妓オンパレードを拜觀するの光榮のみしか有せない次第となつたのである、切角拜觀する人ぞ幾人か！

基隆濤聲

▲會[illegible]航路の更新が民間の通りだとすれば大阪に於て妥當と見るか本島人荷の所謂雜貨の七分通りを占むる大阪との直航航路が欲しい尤もこれは商船郵船の基隆線と衝突するからチト難問題だが、でないと大阪雜貨の神戶經由に餘計な時間と諸掛を要し且つ荷物が破損することになつて失ふところ多大である、基神線だと大阪出しの荷物は一週間乃至十日目に着いて、途中の[illegible]積替費用が省け荷傷みがない、航路撥据も三角形の二邊はその一邊よりも長しと云ふ判り切つた理窟に基いて自由直航主義に就き[illegible]を廢止されたので基隆發高雄行は縱貫鐵道によるものを增加したのは收入政策から云ふとそれでもよいが、これまで開城丸で南に對しては濟まないが[illegible]なら辰馬がバラスト代りの噸一圓以下で引受けてゐるしかし商船にも高雄行東廻りがあつて辰馬のやや不定期でない、と云つて樂觀してゐるか、地元の基隆商人は西廻りの開城丸が無くなつても良いとも惡いとも云はぬ

▲內閣の更迭は船會社にも、殊に[illegible]に影響する民政內閣の天下では定期船の商船一等ボーイはトントン買入りがないので政府も苦々しく思はないでもよささうなものだとこぼしてゐたが、政友內閣になると商船の一等ボーイが眞つ先に紋付を脫ぎ[illegible]の一等ボーイが泣き出すといふのは本當だ、そこで總選擧のときは船舶所有者は乘船員に投票し航海中の者は不在投票までやる

『政治は生活なり』とはかかることに云ふなんめれ▲そこで近海郵船[illegible]ではボーイ連が人氣維持のため、その得意とする午前入港を主張してゐる、船長連曰く夏期航海でも一定の速力で走れば三回に二回は午前十時半までに入港してお目にかける、さうなると放つて置いても午前に入港するのを時々速力を減らして遲く入港しないでよささうなものだとサ▲荷主や運送屋は午前入港大歡迎で、定時の午後一時半入港は荷役上から云ふと[illegible]荷役後に段取りをつけ[illegible]四時間しか荷役ができないが、午前入港だと六七時間荷役ができると云つてゐる▲定期航路經營の理想から云ふと人間社會の生活樣式と一致する未明入港夕刻出港の夜航主義が本當で[illegible]夜中航海時代にはそれが[illegible]

[illegible]

だまされるな 新藥や新發見の療法
淋病と小便檢査
淋病患者は種々の廣告に迷はされてはならぬ。一番注意すべきは小便の檢査である。素人で淋病を知るには、小便をコップに採つて見ると糸屑樣のものやゴミの樣なものが浮いたり沈んだりしてゐる。それが淋菌なのである。どんな大家の[illegible]に掛つて藥を服んだり注射をしても、コップで小便の檢査をして糸屑樣の淋菌が直ちに減じない樣では無効である。有田ドラッグの淋病藥を服用すれば直ちに痛みが去り、膿が止り、コップに小便を採つて見ると翌日より淋菌が目に見えて減じ、的確なる効能が顯はれ全快するのである。

淋病と梅毒の併發症
梅毒の併發を知らずに淋病のみの手當をして居るから、いつまで經つても治らない
「かさ氣と自慢氣のない者はない」と云ふ諺がある。[illegible]

有田音松鑑製 りん病 ばいどく 請合藥
百圓進呈
帝國大學醫科大學病院 英米獨佛醫科大學病院
[illegible]

完全 梅毒驅毒療法
ヨコネ、カンソは切らずに治る
服藥直に効果を顯はし、ヨコネ、カンソを治し、ヨコネを切らずに治す强烈なる驅毒素で、しかも何等副作用を起さず、血液や淋巴に潜在する諸毒を大小便と共に體外へ排泄し完全に驅毒化して治癒の目的を達するのである。
有田ドラッグの梅毒藥の主成分は驅毒劑として定評あり[illegible]
故に二期三期の梅毒も本劑の强烈なる驅毒作用によつて全身の[illegible]（スピロヘータ）を撲滅し完全に驅除化して全快するに至るのである。
初期で[illegible]一身を亡すのみならず子孫まで遺傳し一家を不幸にするに至る。一日も早く本劑を服用し全快の喜びを得られよ。

まぎらはしき ニセ藥 賣る者あり
藥箱並に藥瓶に
本舖 大阪內本町二 東京日本橋本町三
「有田ドラッグ」「有田音松鑑製」
この文字無きものはニセ物なり
有田ドラッグ 全島專賣所

他の藥店に販賣を許さず
有田ドラッグ專賣所にて有田音松鑑製を御買取あれ
台北市本町二丁目 有田ドラッグ專賣所
台北 新起町三
北 大平町三
基隆 哨船頭
宜蘭 街南門
新竹 東門市場通
台中 榮町四
嘉義 驛前
台南 錦町一
高雄 山下町

花王石鹸
花王石鹸
花王石鹸
花王石鹸
花王石鹸
花王石鹸

決裂を傳へられた 停戰會議峠を越す

數日中に正式調印か

【上海三十日發聯合】日支停戰會議は小委員會と並行し明日午前十時から開催されるが、後日の取極めなる一句も支那側代表は個人的には賛意を表してゐる模樣で、政府の回訓は多少強硬らしいが結局承認の外なかるべく、幾度か決裂を傳へられた停戰會議も今や既に峠を越したと見らるべく數日中には正式調印を見るものと期待されるに至つた

停戰に關する 英公使案全文

大體日本の主張を容る

【上海三十日發電通】停戰會議で目下討議の基礎となりつつある英國公使案は本文五條附屬書四通より成る左の如し

本文

第一條　日支兩軍は總ての形式に於ける敵對行爲を中止すること

第二條　支那軍は後日取極あるまで附屬書第一に記す地點に止まること、然し右は支那軍の支那領域內に於ける行動に對する永久的宣言を意味するものにあらざることを支那側に留保す

第三條　日本軍は附屬書第二に記す期間內に附屬書第三に記す地點に撤收すること、日本軍は地方の情況が日本軍の減兵を許し租界內に撤收を許すに至りたる時は、速かに租界內に撤收すること

第四條　日支及び英、米、伊、佛六國官憲に依り混合委員會を組織すること

第五條　本協定は調印の日より效力を發生す、本協定は日本文支那文英文を以て各六通を作製すること、本文に疑義を生じたる時は英文に依ること

附屬書

第一、支那軍の停止すべき地點の指示

第二、日本軍は本協定調印の日より一週間內に附屬書第三に記する地點への撤收を開始し六週間以內に之を終了すること、然し[illegible]兵、傷病は容認兵と共に殘存し得ること

第三、日本軍の撤收すべき地點の指示（この地點に就ては小委員會にて協議中で日本側は[illegible]閘北の線を主張す

第四、混合委員會は本協定の實行を監視するに於て必要なる場合には空中偵察をなし得ること

[illegible]右の外調印に際し支那側は日本軍撤收後の地域の警備に就ては特別警察隊を以て當る旨を聲明することになる

本文第二條に 論議起らん

日本削除を主張か

【上海三十日發電通】停戰に關する英國公使案は大體日本の主張を容れてゐるが本文第二條で「本協定は[illegible]」と[illegible]の取極めに何等かの制限を附さんとの意向と見られるので、我方は右を全然削除するか、日本側より本協定は[illegible]に於ける[illegible]行動に對する永久的宣言を意味せずと聲明する必要あり、三十一日の正式會議でこの點論議するものと見らる

國民義勇軍の 巢窟を襲ふ

不敵な陰謀がばれる

一味六十六名を逮捕

【奉天二十九日發本社特電】[illegible]の指令により滿洲新政府を顚覆し[illegible]すべく[illegible]前後より數回に亙り奉天城を襲擊せる東北國民義勇軍はその都度我奉天憲兵隊に探知され非常な痛手を受けたが、我憲兵隊本部では右主謀者が奉天城內に潛伏しをるものと見なし數回に亙つて彼等の巢窟を襲つた結果、三月二十四日迄に一味六十六名を逮捕した、本件の主謀者は東北國民義勇軍[illegible]外三名で彼等は一、國民より軍資金をうけ奉天附近一帶の有力なる匪賊團と連絡し、東北國民義勇軍約三萬を組織し、奉天城を占領し、漸次[illegible]都市に及ぼすべく三月初旬[illegible]より奉天への送電線を切斷せんとしたが我憲兵隊に發覺され、一味の[illegible]になつて失敗した、三月八日更に奉天城外の燒打ちを計畫し一千の義勇軍南門に進擊各所に放火した

一、彼等は[illegible]電氣職工電線工夫と義勇軍とを協同せしめ、數回となく高壓線の切斷を敢行したが此に失敗に終つた[illegible]三月七日大東門外の支那[illegible]を襲擊破壞せんとしたが發覺され捕へられた

一、而して右義勇軍は城外攻擊に約七百二十挺の槍及び火藥五十貫[illegible]火線多數を隱匿中三月四日我憲兵隊の手に押收された

彼等の陰謀實行は右の如くで憲兵隊では三月十六日[illegible]軍曹以下十九名を奉天城外工業區の義勇軍巢窟に派し、多數の證據品を押收した、その內には[illegible]、[illegible]編成表、奉天城襲擊計畫書等多數の陰謀書類があつた

學習院卒業式

澄宮殿下御優等にて

賞杯をうけさせらる

【東京三十日發電通】目白の學習院では三十日午前九時半天皇陛下御名代として梨本宮守正王殿下台臨の上第四十二回卒業式を擧行したが四月より陸軍士官學校に御入學の澄宮殿下には成績御優等で中等科四年を御終了遊ばされ華族會館寄附の賞杯を受けさせられた

農安の匪賊 總數七萬となる

吉林軍と激戰中

【新京三十日發電通】農安を包圍せる匪賊は其後勢力增大し總數七萬となり、二十九日午後二時その第一線は農安城外二百米まで迫り城壁上の吉林軍と激戰をなしつつあり、午後二時半遂に我農安領事分館員四名、警官二十三名は匪賊包圍の中を脫出新京に避難した、城內には千五百の吉林守備隊が踏止まり應戰しつつあり急報に依り之が救援のため我[illegible]○○大隊はハルビンより[illegible]は新京より夫々三十日午前五時農安に向つた、我飛行隊も[illegible]爆擊を開始した又馬占山、張海鵬兩氏も我軍と協力して匪賊を討伐すべく夫々軍隊を派した

匪賊ぞくぞく 農安に集結

我飛行機爆擊を行ふ

【新京三十日發電通】我軍飛行機は今朝來農安附近匪賊の爆擊を[illegible]に行つて居り午後一時[illegible]を爆擊したので匪賊は[illegible]潰走した

◇

【長春三十日發聯合】獨立守備隊○大隊○○は清水少佐指揮今朝六時三十分農安に向つた

吉林軍に歸順

廿二、廿六の兩旅

【奉天三十日發電通】久しく抵抗を續けてゐた反吉林軍の[illegible]二十二旅、二十六旅約八千五百は吉林軍に歸順し完全に改編され東鐵南部線の沿線警備隊となつた

歸順の誠意なく 反吉林軍を討伐

長谷部○團が前進

【奉天二十九日發電通】丁超、李杜軍の反吉林軍は現に歸順を申出つつあるも我要求たる兵力集中に應ぜず、更にハルビンにも來らず恐らく歸順[illegible]

陸軍進級決定

四月十日頃發表

【東京三十日發電通】陸軍では三十日午前十一時より陸相官邸で三長官會議を開き四月十日頃發令さるる陸軍大異動に付き協議し正午散會したが同會議で決定せる主なる進級左の如し

朝鮮軍司令官　中將　林銑十郎

任陸軍大將

第一師團司令部附　少將　安藤紀三郎
下關要塞司令官　同　井上忠也
工兵監　同　杉原美代太郎
砲工學校長　同　岩越恒一
旅順要塞司令官　同　大谷一男
第七師團司令部附　同　井上[illegible]
第五師團司令部附　同　猪狩亮介
[illegible]局長　同　林桂
第三師團司令部附　同　古川三郎
關東軍參謀長　同　三宅光治
支那駐屯軍司令官　同　中村孝太郎

任陸軍中將(各通)

航空本部部員　航空兵大佐　伊藤周次郎
近衛野砲兵聯隊長　砲兵大佐　西村[illegible]
野戰重砲兵第六聯隊長　同　平松銀十郎
技術本部部員　同　多田禮吉
[illegible]聯隊區司令官　步兵大佐　中村[illegible]
造兵廠作業部長　砲兵大佐　津田[illegible]
陸軍大學兵學教官　同　中島今朝吾
野戰砲兵學校教導聯隊長　同　山室宗武
近衛師團司令部附　步兵大佐　長山正毅
技術本部第二部長　工兵大佐　松井命
軍務局軍事課長　步兵大佐　永山鐵山
大阪憲兵隊長　憲兵大佐　水野保
航空本部第二課長　[illegible]
第二十師團參謀長　航空兵大佐　佐野光信
步兵第二十三聯隊長　步兵大佐　森五六
參謀本部課長　同　大川[illegible]
步兵第八聯隊長　同　小畑敏四郎
同　同　溝口[illegible]
上海派遣軍參謀副長　同　岡村寧次
關東軍司令部附(ハルビン特務機關長)　同　土肥原賢二
步兵第三十聯隊長　同　坪井善明

任陸軍少將(各通)

第七師團軍醫部長　一等軍醫正　出井淳三
[illegible]軍醫學校敎官　[illegible]
東京帝大敎授　同　中村順一
同　同　[illegible]田凡次
醫務局衞生課長　同　尾井貞吉

任軍醫監(各通)

朝鮮軍獸醫部長　一等獸醫正　橫山[illegible]
第一師團獸醫部長　同　[illegible]
同　[illegible]井一

任獸醫監(各通)

尙新大將新中將の大部分は現職に留まる筈

四月五日頃 奏任級の異動發表

督府內課長州事務官は大部分入れ替か

[illegible]總督の[illegible]二十九日は本年度の[illegible]日僅かに二日間に迫つて居るので、六日間にわたる旅の疲勞を拭ふ暇もなく午後十一時過迄平塚長官より主に補助金に關する方面の政務について聽取するところがあり[illegible]非常な激務に當りながら少しも疲勞の色を見せぬと云ふ精力振りである、而して年度內に始末をつける可きものの處理に忙殺さるる譯である、總督長官共上京期日は特別議會の開期決定次第決定するが大體に於て四月中旬の見込であるので、それ迄に[illegible]以下の島內官場の手直しが行はれるものと見られる、仄聞するところによると總督は月更まると直く人事に關する事務を敢行する段取りとなつてゐるらしいので發表は先づ五日頃となる可くその內容については窺知し得可くもないが三、[illegible]級どころの勇退者は一名もなく、寧ろ上つてゐる事務官二三及び部課長級七、八名の退官は實現する模樣で府內課長州事務官級は大部分入れ替となり理事官級も相當範圍の異動があるらしいが今回は色々な弊害を防止する爲島內一齊に行ふ方針であると

臺北州下の 小公學校教員異動

三十一日附で發表

臺北州下小公學校職員の整理異動は愈々三十一日附を以て發令せらるることになつたが今回は師範學校新卒業生配置の必要の外[illegible]の內容の刷新の爲め大々的に異動退職を斷行したものである、即ち退職の標準は恩給其他の支給により生活上の脅威を來さざるものといふ點に置くの外、無資格者は勿論[illegible]者を退職せしめ又[illegible]なる年功による惡例を排除し適材適所といふ方針をとり相當左遷も行はれる模樣である、即ち新に採用されるものは師範の新卒業六十五名、退職する者は五十名、校長級の異動七十名、訓導の異動六十名に達する、臺北市に於ては新設の校長補充及永樂公學校へ[illegible]校長の[illegible]に[illegible]小[illegible]校、東園公學校[illegible]長の異動が行はれる

大溪街に優勝 旗授與さる

【新竹電話】新竹州大溪郡の第二回水稻耕作競技會及び第一回パークシヤ[illegible]品評會褒賞授與式は三十日午前十時より大溪公會堂にて擧行、徐水副會長の開會の辭、大溪街の優勝旗返納[illegible]技師の審查[illegible]會長の褒賞並に再び大溪街に優勝旗を授與し、次いで[illegible]技師の知事訓辭代讀來賓[illegible]大溪街長[illegible]の祝辭[illegible]

ピストル強盜 銀行を荒らす

支店長以下を縛り

一萬二千圓を奪ふ

【京城三十日發電通】本日午後一時四十分京畿道利川郡長湖院[illegible]一銀行支店にピストル強盜侵入し支店長以下行員を縛り上げ行金一萬二千圓を奪つて逃走した

各校合格者

臺北商業學校、臺北工業學校（[illegible]花蓮港、澎湖廳は未定）臺北一中、臺北第一高女、基隆中學校は三十日左の如く本年度入學試驗合格者を發表した

臺北商業

[illegible]

臺北工業

機械科

[illegible]

土木科

[illegible]

應用化學科

[illegible]

電氣科

[illegible]

建築科

[illegible]

專修科

[illegible]

臺北第一中學

[illegible]

臺北第一高女

[illegible]

基隆中學校入學試合格者

基隆中學校の入學試驗合格者は三十日左の通り發表された

[illegible]

三十六名の 鮮人を射殺

間島の琿春縣に

三百の共匪蜂起

【京城三十日發電通】間島琿春縣大荒溝では二、三日前より約三百の共匪蜂起し、同地在住の鮮人三十六名を射殺した事件あり、急報に依り同地領事分館警察より[illegible]出動すると共に咸鏡北道警察部よりも三十名の武裝警官隊出動し、約二百の警官隊は共匪を包圍し四十六名を檢擧した

訓示傳達式

[illegible]臺北市では三十日午前十時三十分から市職員を市尹室に集め南新總督の訓示傳達式を行ひ同十一時散會した

臺北州敎育會 總會開かる

臺北州敎育會は三十日午後一時から[illegible]會議室において總會を開催した、[illegible]郡守、校長[illegible]出席、會長中瀨知事、那須敎育課長臨席、古賀視學から昭和七年度[illegible]

共榮會表彰式

【板橋電話】[illegible]共榮組合會の第一回[illegible]表彰式は三十日午前九時から[illegible]公會堂に於て[illegible]

カフエ・ゴロの藪蛇

喧嘩をふつかけたのが 柔道二段の猛刑事

二十九日夜十一時頃臺北市西門町のカフエ・ミツヤでいい年配の男が酒に醉ひを買つて大見得を切つてゐた「ヤイ、俺の喧嘩を買ふ野郎はゐねいか」と大聲な氣焰に外の客人は醉ひも醒まし相手が何分[illegible]町小田[illegible](假名)と言ふ名うてのカフエ・ゴロなので營業者も後のたたりを恐れて手が出せず、すつかり立すくんでゐたところ、小田は[illegible]を聞けてゐるのが南署の腕利の柔道二段の猛者刑事とも知らず、刑事に近づいて喧嘩を吹きかけたのでやがて物凄い立廻りとなり、意氣地なくも小田は逃げ出したがとうたうカフエ・トンボに追ひつめられて「御用」の一本[illegible]二十五日のお灸をすゑられた

吉野丸より(來航)

[illegible]風波なく平穩なり、三十一日正午基隆[illegible]、[illegible]技師、小川[illegible]官外多數(三十日基隆無電)

袋の底には 劣惡な米を混入

臺灣米の聲價を墜すとて

不正商人を告發か

移出米檢查に關しては檢査所側で嚴重なる檢査を行つてゐるが何分多數の米袋のことではあり、或は出漏となるないとも限らないので往々之を狙つて不正手段に出づる移出業者があるその甚だしい一例として臺北の[illegible]の移出業者[illegible]は數日前一日間に三百數十袋の移出米の檢查を受けたが、その殆ど十袋の口には上等米を入れ袋底には劣惡なる米を混入してゐたのを檢査員が幸ひにも之を發見して未然に防ぐことを得たのであるが、斯る不正手段をとるといふことは獨り臺北州移出業者の恥辱となるのみならず、延いては臺灣產米全般の聲價を失墜せしむる原因ともなるので檢査所側では大いに

憤慨して所有主に[illegible]をなすと同時に、今後再び斯る[illegible]の出でざる樣之を告發する意向である、先般臺中州に於て[illegible]業者が三十袋の不正米を出した際は臺中州同業組合では同業者の名折れなりとし[illegible]により該商人を[illegible]せしむるに至つたが、此度の場合は臺北州同業組合では未だ此の程度まで徹底してゐないが、斯る惡商人は絶對に排斥すべきであると當局は語つてゐる

[illegible]除斥したものは左の六名である

[illegible]

[illegible]表彰式後引續き役員會を開き左記昭和七年度事業の協議をなした

一、事務講習會開催
一、研究會開催
一、講習會開催
一、組合員[illegible]協議會開催
一、優良役職員[illegible]
一、產業組合要覽發行

佛豫算案可決

【パリ三十日發電通】フランス上院は本日絶對多數をもつて一九三二年度政府豫算案を可決した

北一師五年生 內地見學旅行

臺北第一師範學校小學部普通科第五學年生五十一名は中山、渡邊兩敎諭引率の下に來る四月二日臺北驛發內地見學旅行の途に就く事になつたが、東京、大阪、神奈川、栃木、奈良、三重、愛知、滋賀、廣島、福岡の各地方にわたり、伊勢の大廟、桃山御陵、橿原神宮、明治神宮を拜し、各地の敎育、地理、歷史及び產業上の實地見學を行ふ由

內地視察團員募集

日本赤十字社臺灣支部[illegible]愛國婦人會臺灣本部にては既報の如く本島社員及び會員のため內地視察團を組織することとし團員募集中であるが締切期日も間近くなつたので參加希望者は此際至急同支部へ申込[illegible]

官吏の賞與を 首相が奮發

年度末に最高一ヶ月を

【東京三十日發電通】前內閣は緊縮政策のため官吏の年度末賞與を一昨年は高等官を止め、昨年は高等官判任官以下全部を止めて仕舞つたが、犬養首相は緊縮政策の立前から財源に餘裕あれば必ずしも年度末賞與を[illegible]するものでないと言ふに決定し、從つて判任官以下は[illegible]、傭人に至るまで最高一ヶ月までの年度末賞與を各省大臣所の都合に依り多少の賞與を出すこととなつた

特別廣告

刑妻フヨ儀兼而病氣加療中之處藥石効無ク三月[illegible]日午前七時死去候間生前ノ知友各位ヘ謹告候也
追テ[illegible]

昭和七年三月三十一日

夫　田淵武吉
大迫用之進
藤木成治
小石光彥
郭國仕
闕山[illegible]
周福[illegible]

恨みお作 ◇ 晴[illegible]
[illegible]芳乃館

裸一貫 ねえ[illegible]
[illegible]世界館

漢文臺灣日日新報

使戰鬪行爲確實中止

規定已通過停戰會議

二十九日上海電。停戰正式會議。午後一時二十分散會。發表聲明書如左。本會議於午前中開之。幾分進步。第一條戰鬪行爲。確當使其中止之規定通過。本會議延至木曜日午前。此乃欲考慮種々未決定之問題。其間欲開小委員會。

興安省欲廢藩道縣

使自治制完成

廿八日閣議決定

二十九日新京電。興安省統治方針。因同地方從來王侯平民區別懸殊。且近外蒙古。思想的所有重大影響。故二十八日之閣議。議論百出。討論三時間。結局以廢藩道縣爲原則。使自治制完成。俾漸進的實現云。

興安省分爲三分省

分省長各已任命

於齊王之下統治各地

二十九日新京電。二十八日閣議。確定興安省官制。同省分爲東分省、南分省、北分省三者。地域以興安嶺爲中心。東南北爲各分省統轄區域。分省長任命如左。東、郭勒春。南、業喜海順。北、凌陞。又此等各分省長。於興安局總長齊王之下。統治各地云。

反吉林軍陽奉陰違

我軍謀攻擊之

彼即向依蘭退却

二十九日奉天電。李杜。丁超。反吉林軍三千。有山砲四門。蟠居於同賓方正方面。表面歸順。裡面續行反抗。我長谷部天野兩◎團。集全力謀包圍攻擊之。反吉林軍。早已向依蘭退却。依蘭附近。有多數鮮農。事以爲憂慮云。

丁超李杜等

無歸順意

開始討伐

二十九日奉天電。丁超李杜諸反吉林軍。雖聲明歸順。然我要求之兵力集中。並哈爾賓皆不來。恐無歸順之意。吉林軍本日向方正前進。我長谷部◎團先頭部隊。亦向進中。

農安匪賊本據

卅一日早朝

決定進擊

三十日新京電。邦人避難後之農安。依吉林軍千五百名維持。然恐遭匪賊襲擊。我軍欲徹底的討伐之。哈爾賓。奉天。新京等。三十日中出動。三十一日早晚。欲衝敵之本據。又空軍亦參加。將猛擊之。

兩廣綏靖公署

主任任命

十日南京電。昨日行政

停戰交涉

特別小委員會

三十日上海電。停戰交涉特別小委員會。三十日午前十時。在英總領事館開會。

日本　田代少將、阿部、佐藤兩中佐

中國　戴戟、殷中耕外二名

出席。就最難關之日本軍撤收順序事。依日華兩國政府回訓。緊張討議。

南京要人與調査團

第一回協議會

二十九日南京電。調査團與南京政府要人之第一回協議會。二十九日。在行政院長汪兆銘官邸開會。調査團聽取中國諸報告。今後亦將繼續云。

朝鮮軍司令官

中將　林銑十郎

任陸軍大將

學習院卒業式

澄宮殿下

優等卒業

三十日東京電。目白學習院。三十日午前九時半。天皇陛下御名代梨本宮守正王殿下台臨。舉第四十二回卒業式。四月將入陸軍士官學校之澄宮殿下。以優等成績。畢業中等科四年。受讚辭及華族會館寄贈之賞杯。

虹口中國商店

開聯合大會

決定開店

二十九日上海電。事件以來。共同租界虹口中國商店閉店。昨日聯合大會結果。決定一齊開店。同時就房租稅金之減免。決濟之延期。及復業融資等問題。新設復業委員會。作製實行案云。

已有八國

正式回答

對滿洲國通告

二十九日新京。對滿洲國之建國通告。俄國及利多尼亞。一兩日前。各由哈爾賓總領事。以口頭通告外交部。謂對新國家成立有好意思。至今日回答者。該國以下八國云。

陸軍進級

來十日將發令

三長官會議

三十日東京電。陸軍於三十日午前十一時。在陸相官邸。開三長官會議。協議四月十日頃將發令之陸軍大異動。正午散會。同會議所決定進級者。有林中將任大將之外。將官數十名云。

各省強硬要求復活

大藏省取絕對不許方針

與政友會積極政策相反

三十日東京電。二十九日豫算閣議。高橋藏相。提示七年度實行豫算。意外緊縮。與政友會之積極政策。產業開發計畫殊相反。各省所要新規要求。被其大削減。各省卽開省議。立強硬要求復活之方針。而二十九日午後前田商相。三土遞相。訪高橋藏相。又黑田大藏次官。藤井主計局長處。各省次官、經理局長。會計課長等。相次擁至。交涉復活。然大藏省旣於定案。須仰一億四千三百萬圓之赤字公債。若再許復活。則因滿洲事件其他公債累積。公債不能發行。絕對不許復活。強硬拒絕要求。折衝困難。三十日之閣議。豫算能否就緒。事勢甚危。然一、二千萬圓之復活。想難免也云。

基隆市衙

落成式

與會參百餘名

基隆市役所新廳舍落成式。去三十日午前十時。在同會議室舉式。市內重要官民。及臺北關係者三百餘名臨席。定刻藤田市土木課長。報告工事。富田市尹式辭。平塚長官代理小川土木課長。中瀨知事代理岩瀨內務部長述告辭。松本築港所長。近江諸氏述祝。次披讀加藤前市尹。切田高商校長。蔡中高雄兩市尹。潮州郡守。坂本商銀。佐藤前助役諸氏祝電。次開宴。酒數巡。山林要塞司令官。發聲三唱基隆市萬歲。衆和之。盛況裡散會。該廳舍係三層樓。建工費凡二十萬圓云。

竹州小公校

建築工事

新竹州小公校。現値建築中之諸工事。按六年度末竣工者。卽大湖小學校建築中之宿舍工事。建坪四十五坪。苗栗第二公校舍之增築。坪數六十二坪。自客歲以工費三千八十六圓興工以來。工程進行迅速。以外中壢郡下大崙公校之新築事務室。坪數三十坪。新竹郡湖口庄下北勢分教場之校舍新築。自客歲夏季以工資五千九百餘圓。進行工事。坪數一四八坪。以上各按三月末日竣工。應四月一日起開校之使用云。

南州山地

開發調査隊

作成報告書

旣報臺南州產業調査會。關于開發山地。決定先調査新化。曾文。新營。嘉義四郡。爲是州郡職員。組織調査班。本月二十二日起十日間。各出差所定山地。著手調査。于去三十一日歸州。作成報告書後。開主要部磋商會。決定緊急著手之順序云。

督府六年度中

水產振興補助金

交付四萬九千圓

總督府爲圖本島水產業振興。于六年度。計上補助金四萬九千圓。而至年度末。補助金大體交請。其主要者。基隆西村商店大型漁船建造五千三百圓。基隆冷藏庫一萬五千圓。其他雜魚大謀網二千圓。其他經簡焙乾裝置。共同販賣所。貯冰庫。共同倉庫。各交付若干補助金。殆已出盡。以外對基隆漁港施設。補助六萬七千圓。當此不況時。由此補助金。水產業者。大受其恩惠。其資斯業振興上。亦自不少也。

嘉郡下小學

共學認可七名

嘉義郡下本年小學校共學兒童。左記七名認可。南靖小學二年生黃勝雄。大林小學一年生林炳文。蒜埔湖小學一年生范明強。阿里山小學一年生林金川。陳氏金蓮。吳氏寶鳳。黃永秀等云。

臺南招魂祭

一日忠魂碑前

臺南州殉職警官招魂祭。訂來四月一日午前十時。於臺南公園忠魂碑前舉行。今川坂口正副委員長。現已發柬通知一切殉職家族。及南州下郡部各警察課。又在鄉軍人。官民等。同日亦要參與典禮云。

北州警察

招魂祭

臺北州警務部主催警察招魂祭。訂四月一日午前九時。在臺灣神社內舉行。中瀨知事。友部警務局長。奥山警務部長其他各課長關係者。豫定多數出席。且希望遺族多往參拜。

總督蒞任第一日

午前參拜兩神社

同十時十分初登廳

二十九日蒞任之南總督。翌朝九時發官邸。池田秘書官、小川專屬、中瀨州知事隨行。同十分到臺灣神社。先到安武文教局長、江藤社會課長等出迎。山口宮司先導至拜殿參拜後。山口宮司說明。次到社務所少憩。同三十三分出發。四十五分到建功神社。對本島開發功勞者表敬意。由是蒞總督府。平塚長官各局長官房各課長出迎。于公室會見長官各局長官房各課長。十時十分。對府內高等官。地方長官。在北各官衙長。爲別次訓示。平塚長官代表一同謝詞。十時半終了。

外國領事團

訪南總督

南總督。去三十日初登廳。駐臺外國領事團。林氏國總領事。英國領事。美國副領事。袁氏國副領事。荷蘭名譽領事。松尾美國領事館通譯等一行。於午前十一時。訪南總督于總督公室。總督偕能澤。池田兩秘書官。越村通譯。會見領事團。由林總領事代表一同。述歡迎辭。其對于是。南總督述謝辭。同二十分告畢。同日下午一時。能澤秘書課長。爲總督代理。偕越村通譯。歷訪各領事館答禮。謝其過訪。

時評

○胡漢民氏爲盟主。西南五省。謀宣布獨立。此種消息若眞。畢竟是勇於私鬪。

○但國民政府之歲費。一多由粵派供給。分裂之兆。由來已久。非始自今日。

○蔡廷楷之家語。仍不失武人氣慨。不知果有馬革裹屍之覺悟否。必也有蘭州如之勇敢。而始能引起吧杜

○二十九日閣議。高橋藏相所示豫算。意外緊縮。慨自金再禁以來。大養景氣雖爲救時藥石。然而罪水大落。入超強盛。正貨繼續流出不少。藏相於積極的政策之中。而示之以緊縮。畢竟是老成謀事。

○大抵金融爲物。極端消極使之萎縮不可。積極而妄爲通貨澎漲。亦必非得宜。有執兩用中。其庶幾耿。

○穀價騰貴。水租黃減。嘉南大圳本年總會。想不至如從來之滋鬧。

○臺南放送局之開局。謹爲遙表祝意。

○加俸減。愁雲一掃。陳情團之解散。自是當然歸結。

○願世間無失業者。又俸給生活。人人得如官吏克達到主張目的。

○臺南州下入學兒童增加。而學級不增。雖因財源難於浥注。爲教育當局者。宜更煞當利害得失之程度如何。有以緩和之也。

總督初登廳訓示

說明統治根本方針

恭以帝國之沛款。明治大帝自夙倦于世界之平和。倪々于友邦之交誼。至今一貫不渝。輓近不幸與隣邦。雖生一時數隙。而帝國之公明措置。今則廣爲國際諒想。排去各種障碍。俾國運進暢之前路洽如。而擔任東洋平和之帝國使命。愈益加重。當此之際。不肖拜大命。承乏臺灣總督。寫念職責極大。今蒞斯土。心覃治道。力致政務。與諸子共以精研淬礪。發效悲々匪躬之節。期得奉報聖恩之萬一。顧本島當在帝國南門之樞要。其施設經營。所要深慮者也。夫大本者。必要使爲明徵。本立道通。群僚衆民之必知悉者。實本島領有之精神。一視同仁。遍布皇澤。使與內地無軒輊卽是矣。普及教育。啓發島民智能德操。俾我聖上至仁至慈之盛意透徹。涵養剛健國民精神。內臺人融和。遂遍同享康福。正爲本島治務之要諦。然此事困屬至難。歷代總督。皆基此精神。雖夙夜不懈。勗收其實績。然尙未得十分成果。殊爲遺憾。蓋由于風土人情錯綜。而言語習慣亦駁雜。指導啓發之至難使然也。然本島領有之精神[illegible]荷顯彰較著。有司諸僚克[illegible]盡之。無一處境。[illegible]事之務。以是力守。[illegible]一意。奉體聖旨。各[illegible]大和之意氣。鍛鍊剛健精神而進。矯矢輕佻詭激之思想。涵養醇厚中正美風。以從統制治化之根軸。固可期而待。本島改隸以來。僅經三十七年。其間官民克以協心戮力。開發是務。遞來行政司法機關皆大備。教育盛行。產業大興。交通衞生等。亦發達有可觀者。然此後尤須更整革諸般之制度。使臺灣運用之妙。擴張自治機能。以圖民意暢達。開發資源。貯積本島富力。致誼善隣。伸張貿易。振興教育。普遍啓發民衆。更確本島地理上之位置。如果完國際交通要衝之必然使命。其俟此後之努力。全復不少也。諸子宜顧時勢之趨向。闡明事理。善爲順應人情。

永寧漁夫廿餘名

出漁東石海面不歸

郡警察課向各地查探

臺南州新豐郡永寧庄灣裡人蘇大退外八名。去二十六日下午四時頃。分乘二隻竹筏。又同庄下鯤鯓人陳港外十四名。去二十七日下午三時頃。乘五隻竹筏。各出漁于東石海面。豫定翌二十七日薄暮歸港。然至二十九日薄暮。不見歸來。於是各家族非常憂慮。將情報告郡警察課。託其援助。搜查附近海岸。亦不見蹤跡。該海岸一去二十七日起暴風。海面波浪頗高。想係遭難。亦未可知。目下向各方面查探中云。

中壢新郡守

廿八日到任

新任中尾中壢郡守。去二十八日午後二時十八分中壢著列車赴任。受官民多數出迎。卽入郡役所。在郡守公室。接見官民。終對郡職員一同訓示。同氏奉職在內務局地方課。有一年七個月。夫人現分娩回近云。

新竹州二日

茶業磋商

新竹州。于來四月二日午前十時半。假竹東公會堂。召集茶產地郡勸業主任。街庄長或街庄產業技手五十餘名。開茶業磋商會。其磋商事項。一、街庄別七年度茶苗生產豫想本數。二、同茶苗所要豫想數。三、差別過不足本數。四、其處分及對策。五、茶苗買賣價格協定件。六、階段茶園更新茶園效王檢查施行件。七、街庄茶業技術員設置補助件。八、木春茶採摘賃協定件。九、一心二葉採摘勵行件。十、本年度街庄茶業改良合作業改良組合或街庄茶業改良獎勵事業施行件。其他見學指導者。一、階級茶園作製耕植。綠肥栽培。二、優良茶苗養成等。

春茶因天候不順

阻碍發育出貨或緩

價稍好轉仍要緊張

本年自正月以來。天候逆調。一月比例年溫暖。爲是豫想春茶登市。或早于前年。然自二月至三月。氣候甚不順。遂至阻碍茶芽發育。長此以往。出貨或意外遲緩。至于買賣開始在包種茶商。例年早開始之滿州茶館。初爲日華時局問題關係。自昨年冬以來。買賣全中止。因而本年春茶。將如何影響。殊爲稀間。然時局已得小康。故春茶買賣。料如例年之交易。唯其時期。或早于例年。或以觀望形勢多少遲緩。現全不明。一直價格如何。觀世界的景氣推移。決未有好轉環者。唯對美藏兌價及銀水關係。較前年同期。對輸出品茶于探算上爲有利。只此一點。價格或稍趨于向上。然觀四圍環境。尙不許樂觀。仍要相當緊張云。

南新總督歡迎會

全島官民六百餘名

開於臺北鐵道旅館

旣報南總督之歡迎會。去三十日下午四時半。全島官民六百餘名。會於臺北鐵道旅館。式場如例。假同旅館餘興場。席上首由佐佐木市助役。宣告開會。次則松木電力會社長。代表主催者一同。登壇述歡迎詞。略謂南總督此回拜大命。於昨日蒞任本島。本日官民合同。克仰資臨。爲一同最欣幸之處。其次則述同總督過去之爲內閣書記官。累進爲文部次官。振興文教之略歷。及爲勅選。則以交友俱樂部之領袖。見重於院內。而在外則組織談話會於日本俱樂部。多年向政界社交界活躍。其間或遊歷海外。或於昭和四年。親巡察本島各地。熟通島情。爲島民一同所歡喜莫措者。今也時局重大。鑑臺灣位置。及特種事情。須官民一致努力於防備之充實。資源之開發。外策南支南洋交通貿易之振興。則增進相互便益福利。時下端蒙之熱商。圖南壯志。易被閑却。是則有待於新總督之經綸若策。甘對於是。南總督致謝禮如左。本日辱承官民各位寵宴。深引爲榮。本官今茲拜臺灣總督重任。[illegible]而已。（下略）

右終。南總督。由西澤市尹。前導出式場。入食堂開宴。食堂大食堂而外。更分作南北兩食堂。宴酣仍由松木氏。舉杯來祝總督健康。總督亦返祝一同健康。將到南北兩食堂乾杯。盡歡至九時過。盛況裡散會。

小兒遊戲中

溺死便桶內

高雄州鳳山郡仁武庄大社字蜈蜞潭人林山豬之長男林吟生。年四。去三月二十八日午後三時頃。在房中戲遊。爲家人不慎。墜落便桶內斃命。乃立報該地派出所。二十九日午前十時。郡警察課王利巡查部長並渡邊警察醫。谷時巡査等。急赴現場檢證。後命其收埋云。

惡警官收賄

送檢察局

旣報高雄州鳳山郡警察課勤務乙種巡查陳古。年三十五。發爲收賄事件。受取調。結局判明無其犯者。又陳之收賄件數。僅六件。金額二百四十餘圓。去三十日附一件書類。送交臺南檢察局。賄賂者。卽鳳山郡鳥松庄人吳記及同郡大竂庄人簡日外數名。而陳自客年十月頃。凡數回與賭博現行犯。各不檢舉。得受賄五十圓或二十圓。于鳳山街三角窓派出所。薪金月俸四十圓。而家庭有十五歲以下七人子女。及老母妻等。計十名。欲養此多數家族。且爲歡官。外面亦要至或程度之交際費。爲是生活甚感困難。且在村落。丞職不知不覺。自然可得爲非機會。又一家九人。皆賴陳薪金爲活。今一且若有罪。家族九人。陷于無可糊口。故一般對於本島人官吏之境遇。表同情云。

賭徒十名

一串速入羈署

嘉義警察署刑事張三輝。去二十九日午前零時半。犯人搜索中。至市內北門町五丁目陳牛之宅。捕獲一團十名。聚賭擲投。現留置警察署。姓名如左。山下町前科一犯范三鳳。年三十六。北門町前科一犯白國牌。年三十。宮前町前科十犯潘德應。年三十七。元町前科二犯陳當齡。年二十六。元町前科三犯黃有。年三十六。西門町前科二犯鄭振錫。年四十七。元町前科一犯黃其南。年三十三。西門町人林興坤。年四十三。同陳故。年三十五。朔日町人吳封謝。年五十五等云。

臺南

防瘧區域

臺南州當局。今回爲防止瘧疾之發生。依防遏施行規則。於去二十九日。指定新豐。新化。曾文。北門。新營。嘉義。東石各郡下之瘧疾發生地。爲防遏區域。照前命所屬區內居住人民。每月採血服藥。並採伐能生蚊類之樹木。期間自來月一日起一箇年間云。

試驗場地

督府糖業試驗場。決移臺南後。其用地久在選擇中。近經決定以東門町農事試驗場之隣接地充之。是地屬竹藪中。面積計四十餘甲。職員宿舍。亦欲建築於是。現北門迎居民深以爲喜。蓋東門町本淑寞之區。自汽動車驛設置後。已漸繁昌。今該場更設於是。其振興可期。邇來其處之新商舖。屢見疊出云。

高市籌中小商工業

金融機關信用組合

著手募集組合員百名

高雄市。爲計畫籌設中小商工業者金融機關。期金融圓滑。最近由市勸業員及商工會幹部。其他關係者。會集磋商結局。按近日中。更招集町委員。著手募集組合員。該名稱。決定爲橋信用組合。組合員先募百名。一口出資金九圓。一人以均限三口。總出資額一千五百圓。更借低利資金一萬五千圓。及組合員存金。充組合貸付金。貸出額一組合員最高限三百圓。利息日步二錢以內。又將組合。得以爲[illegible]之間。至市補助[illegible]一千五百圓。專務理事。由市推薦[illegible]龜井保太郎。監査役市來吉至。宮川精九郎諸氏。若希望加入爲組合員者。可向市役所勸業課申入云。

賭博常習犯

罰金九十

蘇澳郡蘇澳庄蘇澳二十四番地。林阿坤。年四十二。去二月六日早。在北方澳呼盧喝雉。開賭風至。當場逃亡。其後隱匿在羅東郡羅東街二百七十六番地俗稱大耳成之處。此番被神崎江南刑事。及黃還查探知。去二十七日捕到警察課。由司法係訊問後。處以罰金九十圓云。

詩壇

寄懷呈天隨博士二首　五十嵐海洲

栖眞林下笑吾愚。且喜平生不受汙。甚欲風流樂柔翰。須從何處下工夫。

客窓寂寞無聊。何處從然入耳新。到手尺書先一誦。斜陽天末想伊人。

田園

息影田間世慮删。如今誰復濟時艱。荷鋤憶起陶家叟。我亦悠々帶月還。

寄菊池蘇澳郡守　羅官

宦海風波起。官歸繫我思。欽君爲令日。作宰與民宜。故舊雖無物。將離卻有辭。寄言餐飯重。作健慰相知。

全島聯吟大會

春寒

詞宗　[illegible]選

左十八　黃[illegible]高

淡煙輕颺落花風。[illegible]

右十八　[illegible]

[illegible]

右十九　黃坤松

[illegible]

三十日

英美爲水　三弗七仙四分一

金塊行情　廿九日

上海金塊　六七五兩

銀塊行情　三十日

倫敦現物　一七片一六分一

同先物　一七片一六分一

紐育現物　三〇仙一八

同先物　三一仙一四

對外爲水　三十日

大連現物　七三圓五〇錢

同先物　七二圓七五錢

[illegible]

漢文臺日案內

藥種商

洋服

服地

雜件

國服地ご麻布

[illegible]